

社会科学ゼミナール

※社会科学ゼミナールの各科目は、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51282	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	新田 一郎	法学部	月5	117	1年 文科 理科
講義題目 戸籍の社会史 目標概要 明治～昭和初期の或る一群の戸籍を題材に、資料からいかに問題を析出するか、いかにして調べを進めてゆくかを、さまざまな留意点とともに例示的に学ぶ。戸籍の表面には或る具体的な人間関係が、背景をなす社会制度・法制度に条件づけられて投射されている。表面と背景、それぞれの細部に徹底的にこだわり、戸籍において交錯する「個人」と「制度」を多面的かつ立体的に把握することをめざす。 履修希望者が15名を大きく超えた場合は、小テストを課して選考することがあるので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。 評価方法 授業中のパフォーマンスおよび期末レポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51283	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	宍戸 常寿	法学部	火2	515	1年 文科 理科
講義題目 古典で読む憲法 目標概要 現代立憲主義の源流となる西洋政治思想の古典を読み、理解を深める。 評価方法 出席、報告、質疑応答等を総合的に判断する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 古典で読む憲法 著者(訳者) : 曾我部真裕・見平典 出版社 : 有斐閣 ISBN : 978-4-641-13185-9 ガイダンス 特に行わない。							
51256	A	社会科学ゼミナール (法・政治)	福岡 安都子	教養学部(前期課程) 法・政治	金2	117	1年 文科 2年 文科
講義題目 シュトライス『ドイツ公法史入門』講読 目標概要 ヨーロッパを代表する公法史家ミヒャエル・シュトライス (Michael Stolleis, 1941-) の近著、『ドイツ公法史入門』(Öffentliches Recht in Deutschland: Eine Einführung in seine Geschichte 16.-21. Jahrhundert, C.H. Beck 2014) を講読する。 シュトライスの中核的な業績に17世紀から現代に至るドイツにおける公法の発展を通史的に描く四巻本の大著があるが、その精髓を一冊にまとめたのが本書であり、憲法、行政法、租税法といった広い意味での公法とそれについての学問がドイツにおいてどのように発展してきたかについて俯瞰図を提供してくれる。成文憲法成立以前の“憲法”がどのようなものであったのかであるとか、大きな歴史的事件を通じて法がどのように変化していくのかなど、外国の読者にとっても興味深い点を多く含んでいることは、本書が既に英語やフランス語を含む各国語に翻訳されていることからもうかがわれる。 著者一流の明晰なドイツ語で書かれた本文は、初めてドイツ語で何か学問的なものを読んでみたいという者に非常に好適と言えよう。もちろん、ドイツ語未履修の者が、英訳版 (Public Law in Germany: A Historical Introduction from the 16th to the 21st Century, Oxford University Press, 2017) などの助けを借りつつゼミに参加することも妨げない。 参加希望者は第一回目の授業の際に初年次ゼミナール文科の小論文を持参し提出すること。学年又は所属科類の関係で初年次ゼミナール文科を履修していない場合には、同科目の課題である小論文と同等のもの(社会科学のいずれかの分野におけるテーマで、履修を希望する授業の内容と関連するものを一つ選び、それについて、既存の研究や議論を可能な範囲で踏まえた上で検討し、かつ自身の考えを加えて、約4000字程度にまとめたもの)を第一回目の授業までに作成し、第一回目の授業の際に提出すること。 評価方法 全回出席を前提に、講読の準備程度や小論文の成果に基づき総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 書名 : Öffentliches Recht in Deutschland. Eine Einführung in seine Geschichte. 16.-21. Jahrhundert 著者(訳者) : Michael Stolleis 出版社 : C. H. Beck ISBN : 978-3-406-65943-0 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50289	A	社会科学ゼミナール (国際関係)	古城 佳子	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	114	1年 文科 2年 文科
講義題目 国境なき国際政治を考える 目標概要 現在の国際関係において、主権国家だけでは対応できない課題が増加している。これらの問題は、グローバル・イシューと呼ばれている。これらの問題に対応していくには、主権国家の能力に限界があることが指摘されている。この問題をいち早く指摘し非国家主体の影響力を論じたストレンジ『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち』（櫻井公人訳、1998年）を読んだ上で、更に文献を読み進み、グローバル・イシューへの対応を検討する。 評価方法 受講者数は20名を上限とする。受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。 授業への参加度と課題の小論文により評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち』 著者（訳者）：ストレンジ（櫻井公人訳） 出版社 : 岩波書店 絶版になっているので、文献は用意する ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50290	A	社会科学ゼミナール (社会・社会思想史)	橋本 摂子	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	火2	118	1年 文科 2年 文科
講義題目 質的調査の方法 目標概要 社会調査は、量的調査と質的調査の二つに大別されるが、本授業では、質的調査（聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、ライフストーリー分析、等）の方法、および質的データの分析手法について習得する。 社会調査士【F】科目。 評価方法 授業中に出される諸課題、レポート等。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							

人文科学ゼミナール

※人文科学ゼミナールの各科目は、「方法基礎」単位未取得の学生を除いて、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50768	A	人文科学ゼミナール (哲学・科学史)	岡本 拓司	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	水5	115	1年 文科 2年 文科
講義題目 ポツダム宣言受諾の過程に関する近年の研究を読み、戦前期日本の諸様相に関する理解を深める 目標概要 戦争を終了させることができるのは交戦国のうち降伏を決意した側である。通常、優勢である国が降伏を決意することはないため、戦争を終結させるか否かを決めるのは敗北しつつある側である。何を敗北とみなし、何を戦争終結の理由とするかは、国や状況、時代によって異なるが、第二次世界大戦当時の日本では、こうした判断はどのようになされたのであろうか。このときの判断には、明治維新の際の建国の理念や、それ以降に日本が経験した出来事のほとんどすべてが影響を及ぼしていた。ポツダム宣言受諾の過程に関する近年の研究を読み、近代の日本が経験した唯一の敗戦がどのように成立したか、そこから読み取れるものは何かを考察する。適宜映画も利用し、またドイツの事例も参照する。 評価方法 レポートを2回程度課す。これに演習中の発表の内容を加味する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50291	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	岩本 通弥	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 柳田民俗学の知と社会構想 目標概要 日本政治思想史の川田稔によって執筆された『柳田国男一知と社会構想の全貌』ちくま新書、2016年を、輪読のテキストとして使用することによって、狭義の民俗学の枠を超えた、いわゆる柳田学の全体像を概観する。柳田の知の体系化と社会構想が、なぜ「民俗学」なのかを、考える。 なお、履修希望者が20名を超えた場合は、小論文の試験を実施して選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。 評価方法 授業の参加度と期末レポート 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 柳田国男一知と社会構想の全貌 著者(訳者) : 川田稔 出版社 : 筑摩書房 ISBN : 978-4480069283 ガイダンス 特に行わない。							
51281	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	福田 正宏	文学部	火3	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 考古学入門：考古資料を読み解く 目標概要 考古学には、二つのおもしろさがあると思う。一つは、遺跡の発掘により知られていなかった歴史を掘り起こすこと、もう一つは、遺跡に遺されたモノの由来や特徴を徹底的に調べあげて、人間の営為を解き明かすことである。考古学者たちは、世界中の遺跡で、人類がどのように道具を使ったのか、何を食べたのか、あるいは何を求めたのかを、あらゆる方法を用いて考える。古今東西の文献を渉猟することあれば、年代測定や動植物遺体の同定などに関連した理化学的データにあたることもある。だが、遺跡にのこされた生々しい「人間臭さ」を、文字化された情報や数値化されたモデルだけから読み取ることは難しい。だからこそ、考古学者はわざわざ現地へ赴き、歩き回り、土に触れ、遺物と対峙するのである。 この授業では、開学以来の東京大学による考古学研究を紹介するとともに、実際に遺跡や遺物に触れることで、現代考古学の分析・思考過程の一端を伝えたい。実技をとまうので、履修希望者が15名を超えた場合は、初回授業内で簡単なレポートを作成・提出してもらい、それをもとに選考を行う。受講許可は第2回授業までに掲示によって告知する。 評価方法 参加状況(50%)、ミニレポート(1回:10%)、最終レポート(40%)の内容から評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50769	A	人文科学ゼミナール (歴史学)	岡田 泰平	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 史学史を読む——近現代アジア史の視点から—— 目標概要 とりわけマルクス主義が、大きな物語としての力を失ってきただけから、「歴史」の書き方が模索されてきました。本授業では、歴史学とは何か、という古い問いを、近現代アジア史を中心に考えていきます。中国や朝鮮半島の歴史という分厚い業績があり自律した歴史分野ではなく、むしろ日本の歴史学では周辺の地域を主たる対象とします。20世紀の歴史学の流れを、近現代アジア史を対象として捉えていくことを目的とします。基本的には、日本の戦後歴史学を跡付けることとなりますが、とりわけ80年代以降については、日本語訳された日本外の研究者の研究も扱っていきます。 以下のようなテーマを主に考えていきます。 1. 社会史の基本的な概念である、階級、人種・エスニシティ、ジェンダーが日本における近現代アジア史研究にどのように現れ、どのように展開してきたか。 2. 90年代以降にいわれる戦後補償運動が高揚した。その結果、近現代アジア史研究はどのように変わったのか。とりわけ、植民地の捉え方にどのような変化が生じたか。そしてまた、過去の植民地と現在の国民国家はどのように関係しているのか。 3. 「歴史家の機能は、過去を愛することでもなく、自分を過去から解放することでもなく、現在を理解する鍵として過去を征服し理解すること」(カー『歴史とは何か』33頁)だとすると、21世紀型グローバリズムの時代において、私たちにとっての課題とは、何であるのか。 評価方法 ・受講者にもよりますが、たぶん2, 3回は課題文献についてのレジュメを切ってもらいます。 ・発言が重要ですので、なるべく出席してください。 ・期末課題は史学史を抑えつつ、自らの関心事に沿った課題で書いてもらいます。 ・ですので、出席点、レジュメ、期末課題で成績をつけます。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50770	A	人文科学ゼミナール (文化人類学)	福島 真人	教養学部(前期課程) 文化人類学	水5	8-206	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文化の衝突－諸文化の衝突、対立、ダイナミズム (学際的観点を中心に) 目標概要 現代のグローバル化する社会において、多くの異なる価値体系や文化が共存することが求められている一方で、メディアなどでは連日そうした価値の対立を示す出来事が多く取り上げられている。それは民族紛争、宗教対立といった問題にとどまらず、たとえば福祉政策や科学技術をめぐる論争に至るまで、そうした対立、論争、そして紛争はあらゆるところに姿を現している。そしてその多くは、さまざまな形で、われわれのアイデンティティとよばれる、心理的性質にも関係している。しかし、たとえ現在対立をしている宗派や民族、あるいは思想、科学的論争も、過去において常にそうだったわけではないのは、歴史的な由来をたどってみると分かるはずである。他方、その対立が深刻化すると、いわゆる民主主義的討議といったものだけでは解決が難しくなるのは、宗教や民族紛争といったケースのみならず、より世俗的な論争にもいえることである。この背後には、こうした対立を生み出す、われわれの「価値」の構造というのが、単に表面上の理屈や理論に基づくだけでなく、われわれの身体自体に深く根ざすものであるという認識の必要性が存在する。 このゼミでは、宗教から政治、科学技術にいたるこうした一連の価値の対立の構造と過程を、分野横断的に概観しながら、その中にある、共通のダイナミズムと解決の(不)可能性について、第三世界を中心に、その文化の多様性とダイナミズムを研究する文化人類学を中心に、随時歴史学や科学技術社会論(STS)の成果も取り入れつつ演習を行うものである。 特にこの授業では、宗教、政治、科学といった異なる領域を横断的に支える価値／身体／所属する共同体といった構造が、いかにこうした対立を支え、そのダイナミズムが一見異なる領域の間に興味深い相似性を示すことを理解することをその最終的な目的とする。 評価方法 授業期間中の発表 授業中のディスカッション レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50292	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	深澤 晴奈	教養学部(前期課程) スペイン語	火2	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語テキスト分析 目標概要 本コースは、初修スペイン語の文法知識を確認しながら中級レベルのニュース記事を読み取り・読解・解釈し、スペイン語の表現能力の向上を目標とするものである。テキストを用いて、スペイン語圏のニュースを題材に、文法、語彙、聞き取りの練習をおこなう。初級文法テキスト等を参考にしながらあらかじめ文法及び語彙の予習をしてもらい、授業では文章の訳を提示し各々の訳に対する解説をおこなうことによってスペイン語の知識のより確実な習得を目指す。加えて授業では音読やスペイン語作文にも取り組んでもらう。初級文法を終え、さらにより総合的なスペイン語能力の向上を目指している積極的な学生の参加を期待する。 評価方法 積極的な授業への参加と質問・コメント及び提出課題への取り組みを通じて総合的に評価をおこなう。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Es noticia(ニュースを聞こう！中級スペイン語) 著者(訳者) : Satoko Nakajima, Sachi Sato, David Taranco 出版社 : 三修社 ISBN : 978-384-42016-6 C1087 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50293	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	品田 悦一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火2	116	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 斎藤茂吉『赤光』を精読する 目標概要 近代短歌史上の金字塔『赤光』を分担して精読し、茂吉という歌人の虚像を斥け、実像に迫る。 評価方法 発表の出来映えと討論における発言を総合して成績評価を行なう。ただし、発表が不首尾だったなどの理由で補足レポートの提出を希望する場合は、これを妨げない。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『赤光』 著者(訳者) : 斎藤茂吉 出版社 : 新潮文庫 ISBN : 978-4101494210 「私選茂吉秀歌500首」を配付する ガイダンス 特に行わない。							
50294	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	小林 宜子	教養学部(前期課程) 英語	火2	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中世イングランドの詩と文化 目標概要 中世の手書き写本に残された作者不詳の宗教詩や恋愛詩、中世後期を代表する詩人ジェフリー・チョーサーのバラードなど、中世イングランドの様々な短詩を、その背景となる文学的伝統や作品が生み出された当時の歴史的状況などを考察しながら精読する。原詩は中世の英語で書かれたものだが、教材には詩の現代英語訳や語注が添えられているので、中英語の知識は履修の前提とはならない。詩の読解と並行して、その文化的・社会的背景を知る手がかりとなるような資料や画像を参照するとともに、原詩の朗読や関連する音楽のCDを聴きながら、音の芸術としての詩に備わる言葉の響きやリズムへの感性を養い、人間の内面や季節の移ろい、信仰や霊性、死生観など、多様なテーマを捉えた詩的表現の豊かさを味わっていく。 評価方法 授業中の発言と発表、課題のレポート、および定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50425	A	人文科学ゼミナール (テキスト分析)	田村 隆	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	火3	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 山水会教科書で読む『源氏物語』葵巻 目標概要 『源氏物語』葵巻を演習発表もしくは輪読形式で読み進める(受講者数による)。 旧制第一高等学校の国語・漢文系教員の懇話会は山水会と命名され、その名は新制東京大学教養学部を受け継がれて今日まで続いている。一高校長を務めた杉敏介『南山歌集』61頁に載る昭和6年5月起草の「一高山水会記」には、「予曰く水清くして山翠なり山水会と為す如何」とある。今学期は、山水会によって昭和28年に駒場で編まれた『源氏物語』の教科書(葵・賢木、矢島書房)をテキストに、当時の本文や注釈を基に今日の読まれ方とも比較しながら物語を味読することを目指したい。 評価方法 演習発表時の資料と学期末のレポートによる。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51067	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	矢田部 修一	教養学部(前期課程) 英語	金2	E25	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Prologによる言語構造解析 目標概要 プログラミング言語Prologを用いて日本語・英語などの言語の構造を解析するシステムを作ってみる。言語の構造には、人文・社会科学の研究対象としては珍しく、かっちりした規則によって捉えられる側面がある。その側面的一端を分析し、理解することがこの授業の中心的な目標である。そして、論理型プログラミング言語Prologの仕組みを理解し、それなりに使いこなせるようになることが副次的な目標である。 評価方法 学期中に何度か提出してもらった宿題の出来具合に基づいて成績評価を行う。より詳しいことは初回の授業で説明する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Prolog and Natural-Language Analysis (Digital Edition) 著者(訳者) : Pereira and Shieber 出版社 : Microtome Publishing URL : http://www.mtome.com/Publications/PNLA/prolog-digital.pdf ガイダンス 特に行わない。							
51068	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	大森 拓哉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	金2	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 心理学統計法 目標概要 物事を客観的に判断するための一つは、証拠となるデータを集め、分析することである。この授業では、人間行動や社会現象一般のデータを用い、的確な分析ができるようになるための基礎を学ぶ。その中でも特に「心理学で用いられる統計手法」および「統計に関する基礎的な知識」を学ぶ。講義は、EXCELを用いて、実際のデータの収集・分析・考察を講義と演習によって行う。演習は一人一台のPCを使用して行う。 *履修希望者が40名を超えた場合は、授業初回時間内の小レポートにより選考するので、初回授業に必ず出席すること。受講許可は第2回目までに掲示によって告知する。 評価方法 出席、授業中の課題、最終課題の合計点で評価する。 出席点20%、課題点80% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51164	A	人文科学ゼミナール (データ分析)	荒井 良雄	教養学部(前期課程) 人文地理学	金3	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地域調査・地域分析の方法 目標概要 地域を理解・解明するための調査法、分析法の入門的な講義・実習を行います。フィールド調査、地図の読解と作成、地域データの収集・分析、統計データの利用などの内容を含みます。授業の一部は実際にフィールドへ出かける野外実習にあてます。なお、履修希望者が20名を大きく越えた場合には、小論文の試験によって選考を行う場合がありますので、初回授業に必ず出席してください。選考を行った場合、受講許可は第2回目以前に掲示によって告知します。 評価方法 実習の成果物(レポート)および最終レポート(各自がテーマを設定して作成)を総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

自然科学ゼミナール

※自然科学ゼミナールの各科目は、2014年度以前の入学者は履修することができないので、注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50195	A	自然科学ゼミナール (身体運動科学)	石井 直方	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月4	K402	1年 文科 理科
講義題目 アドバンスト・フィットネス 目標概要 定期的にトレーニングやスポーツを行っている学生やトレーニングに興味を持つ学生を対象に、最新のトレーニング科学の知識を講義と実習を通じて提供する（定員25名）。 *履修者の決定方法等については、UTASシラバス「履修上の注意」を参照すること。 評価方法 出席、レポート、受講態度などから総合的に評点する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51257	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 元	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 身近な植物を通して、植物の生き方を考える 目標概要 駒場キャンパスにどのような植物（草木や樹木）が生育しているのかを調べる。また、駒場キャンパスに生育している植物を実験材料として、器官、組織、細胞レベルでの形態を観察し、それらの形態は植物にとってどのような意味があり、生き方とどのような関係にあるのかについて考える。 評価方法 レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月1日12時20分から50分までの時間、21KOMCEE East 生命科学実験室							
51258	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	山道 真人	教養学部(前期課程) 生物	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 野外生物学：生態と進化の数理モデル実習 目標概要 基礎知識を学ぶ講義と、数理モデルの構築・解析・シミュレーションを組み合わせ、野外の生物群集と進化の動態に対する理解を深める。 休日を利用して実施する集中講義では、数理モデルを用いた個体群生態学・群集生態学・進化生態学・集団遺伝学の基礎を紹介し、実習にその知識を役立てることを期待する。休日を利用して実施する数理モデル実習では、野外の生物現象に基づいて数理モデルを構築し、シミュレーションを含めた解析を行う。休日を利用して実施するこれら講義・実習に参加できない場合は、履修できないので注意すること。 数理モデル実習のため、受講者数を15名程度に制限する。受講希望者が受講可能数を超える場合は、レポート課題により受講者を選抜する。その他、詳しい内容はガイダンスにおいて説明・指示する。ガイダンスは、10月2日（火曜）昼休みに、106教室で行なわれる。 評価方法 グループ発表・参加姿勢 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 数理生物学入門—生物社会のダイナミクスを探る 著者（訳者）: 巖佐庸 出版社 : 共立出版 ISBN : 978-4320054851 ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月2日 昼休みの時間帯、106教室							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51291	A	自然科学ゼミナール (生命科学)	和田 洋一郎	アイソトープ 総合センター	金1	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 放射線影響と利用 目標概要 アイソトープ総合センターにおいては、生命科学から数理科学まで広範な領域にわたって専任教員による研究が行われている。同時に、全学センターとして学内の放射線利用者への教育や、放射線を使った先端的研究支援を行い、学外に向けては原子力発電所事故の被災自治体や地元教育研究機関と協力して、除染・測定を含む学術的活動を継続的に行い、帰還を支援している。当センターはこれらの活動を通じて、被災地住民にとって真に重要な課題を明らかにし、これに取り組むために従来の学問の限界や枠組みを押し広げる努力を行っている。放射線影響、特に低線量の内部被ばくメカニズム解明やそれに対する防護については未知の点が多く、集学的な対応が必要であることから、その全貌を把握する系統的機会は少ない。そこで、本講義においては可及的に多様な視点から放射線が生体に及ぼす現象を平易に解説することを目的とする。また、当センターは生体イメージングや、α線核種を用いた医薬品開発など、先端的なアイソトープ利用の拠点としての役割も果たしているため、最新の学問的潮流を踏まえて、放射線の有効利用の現状と次の展開についても解説する。特に、アイソトープ総合センターの教職員が取り組む研究とその成果をとりあげるにより、現実的な課題から最先端の科学研究に至るまで概観することを本講義の目的とする。 「放射線影響と利用」では、(受講希望者が多数の場合には、)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。 評価方法 それぞれの講義のうち幾つかを選択した上でレポート提出を求め、最終回に予定している測定演習の成績と総合して理解度を判定、評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50295	A	自然科学ゼミナール (化学)	平岡 秀一	教養学部(前期課程) 化学	火2	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 有機反応機構を考える 目標概要 本ゼミナールはSセメスターに開講された「有機反応化学」を発展させ、実際に報告されている様々な有機化学反応を題材に、その反応機構を考える授業である。「有機反応化学」では、有機化合物の立体構造や安定性、基本的な有機反応とその反応機構を電子論的に考えられることを学んだが、本講義ではなぜそのような反応が起こるのか、もしくはある生成物がなぜ優先的に生成するのかを、軌道の相互作用、中間体もしくは遷移状態の安定性をもとに定性的に議論し、合理的な解釈へ至る方法を学ぶ。本授業はSセメスターに開講された「有機反応化学」で学んだ内容が必要になることがあるが、「有機反応化学」を履修していない学生でも、意欲があれば大いに歓迎する。過去に開講されたクラスでも「有機反応化学」未履修者が履修していたが、問題なく最後まで参加していた。なお、「有機反応機構を考える」では、受講希望者が多数の場合には、選抜を実施する。履修希望者は第1回目の講義に必ず出席すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。参考として、過去のクラスにおいて、受講者の選抜が行われたことはない。 評価方法 出席および各回の講義における発表、質疑応答により評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51285	A 1	自然科学ゼミナール (化学)	石北 央	工学部	水5	118	1年 理科 2年 理科
講義題目 エネルギー変換の化学～理論からデバイスまで～ 目標概要 植物による光合成から太陽電池や燃料電池、光触媒に至るまでのエネルギー変換に関連した最先端でホットな化学についてみなさんと一緒に考えていきます。若手教員2名が、基礎的な事項からわかりやすく様々なアプローチで講義します。化学といっても、実際には物理、生物・バイオ、材料、環境等多岐分野に渡ります。そのような「これからの化学」を垣間見ることができます。 【担当教員】 石北 央 (先端科学技術研究センター・工学部応用化学科) 高鍋和広 (工学部化学システム工学科) 評価方法 出席、レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51289	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	小木曾 啓示	数理科学研究科	火2	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 代数幾何学入門 目標概要 代数幾何学の初歩を具体例とともに学ぶ。 評価方法 レポートと出席、発表による。 教科書 教科書は使用しない。 書名 : Undergraduate Algebraic Geometry 著者(訳者) : Mles Reid 出版社 : London Mathematical Society ガイダンス 特に行わない。							
51290	A	自然科学ゼミナール (数理科学)	加藤 晃史	数理科学研究科	月5	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 群と対称性 目標概要 本ゼミナールでは、自然界に存在する様々な形態の対称性や周期性を数学的に記述する群の概念の基礎を学ぶ。また、将来、物質科学などでも必要になる結晶群や、群の行列表現と指標などにもふれる。具体例を通して、受講者が主体的に課題に取り組めるようにする。 「群と対称性」では、(受講希望者が多数の場合には)、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施する。履修希望者は本講義の受講を希望する理由をA4用紙1枚程度に記載し、第1回講義の際に提出すること。選抜結果は、第2回講義前までに掲示する。 評価方法 出席・発表・質疑応答・レポート等により、内容の理解度およびゼミへの貢献度を総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Algebra in Action: A Course in Groups, Rings, and Fields 著者(訳者) : Shahriar Shahriari 出版社 : American Mathematical Society ISBN : 978-1470428495 必要な部分についてはプリントを配布する予定 ガイダンス 特に行わない。							
51280	A	自然科学ゼミナール (情報科学)	伊東 乾	情報学環	火4	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 新しい学際情報学・・・ブロックチェーン、自働運転、セキュリティ 目標概要 2010年代に入って急速に発展しつつある幾つかの「新しい情報分野」について、数理的な基礎、応用上のポイント、法的、経済的な面からの解決すべき問題、倫理的な課題など、文理横断的な観点から＜2020年代以降の必須学際情報学＞を念頭にカリキュラムを準備する。進んだ学生には自らの創意に基づいてソースコードに習熟するアドヴァンスト・コース班を分けて対処する考えだが、必修科目と同様の観点から初学者の理解を大切に考える。 評価方法 メールで提出されるレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51286	A	自然科学ゼミナール (基礎工学)	杉山 正和	工学部	木5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 半導体エネルギーデバイス：半導体の基礎物理から考えるLED、太陽電池、パワートランジスタ 目標概要 太陽電池、発光ダイオード、電車や電気自動車の電力制御、そしてスマートフォンなどの省電力デバイスにおいて高効率のエネルギー変換や情報処理を行っているのは半導体デバイスである。本科目では、半導体によりこのような機能を発現できるメカニズムを固体物理や熱力学の観点から学ぶ。 評価方法 講義終了後に提出するレポートによる。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51287	A 1	自然科学ゼミナール (基礎工学)	松田 雄二	工学部	水5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 未来の社会空間学概論 目標概要 2050年には世界人口の3人に2人が都市居住者になることが予想されており、日本のみならず多くの中進国でも人口減少と高齢化社会が進行する。また温暖化によって、今以上に自然災害や資源問題が深刻化し、人々が暮らすために必要な空間や機能にリスクが上乗せされていくことになる。このような未来を考えた場合、わが国のみならず、グローバルな視点においても、社会基盤学、都市工学、建築学が果たすべき役割は大きい。 本講義は、こうした近い未来に迫るであろう重要な課題を解決するべく、空間をデザイン・利用・制度設計するうえで必要となる重要な理論を体系的に学び、あわせて中長期的な課題解決をはかるうえでの求められる実践方法、検証方法などについても、考察を深めることを目的とする。 評価方法 出席点とレポートの総合点で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51288	A	自然科学ゼミナール (基礎工学)	山下 淳	工学部	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科
講義題目 知能ロボット入門 (集中講義：10月13日(土) 9:30～17:00・10月14日(日) 9:30～17:00) 目標概要 宇宙開発で用いられるローバ（惑星探査車）に代表されるように、自律的に行動する知能ロボットは人間が直接アクセスできない場所などで活躍しています。 本講義では、センサ情報を用いて外界を認識し、知的に動作する知能ロボットの創り方について、実際のロボットを操作しながら学びます。授業の後半では、グループに分かれて製作した知能ロボットを用いてロボットコンテストを行い、創り上げたロボットの性能（＝知能）を競いあいます。授業の最後には、製作した知能ロボットの工夫点などをまとめたプレゼンテーション実習を行うことによって、授業のふりかえりをを行います。 ロボット工学は、精密工学、航空宇宙工学、人工知能、情報科学、機構学、運動学、制御工学、計測工学などの幅広い内容を含む総合的な学問です。本授業は、ロボットの基礎知識の学習、知能ロボットの製作、ロボットコンテスト、プレゼンテーションなどを含んだ欲張りな内容です。多くのことを学習したい意欲的な受講生を歓迎します。 本講義では、受講希望者が多数の場合には、受講を希望する理由書に基づき選抜を実施します。履修希望者は、受講希望理由書に必要事項を記載し、9月29日(土)までに電子メールで提出して下さい。選抜結果は、10月2日(火)までに電子メールでお知らせする予定です。 受講希望理由書 ・提出締切：2018年9月29日(土) ・提出宛先：(UTASシラバス【授業の目標・概要】参照) (精密工学科 山下 淳) ・メールの件名は「知能ロボット入門受講希望」として下さい。 ・Word版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.docx ・PDF版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.pdf ・Text版：http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture/2018/introduction-robotics/application.txt 受講希望理由書は、http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/~yamashita/lecture-j.html#2018introduction-robotics からもダウンロードできます。 受講希望理由書の必要事項 ・氏名（例：駒場 花子，こまば はなこ） ・学年（例：1年生） ・科類（例：理科I類） ・学籍番号（例：123456A） ・領域（推薦入学の場合）（例：領域3） ・メールアドレス（例：123456@abc.ac.jp） ・受講希望理由（自由に記述して下さい） 評価方法 出席、講義の積極性、レポートなどから総合的に判断します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51284	A	自然科学ゼミナール (物理学)	鈴木 庸平	理学部	木4	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地球惑星環境研究の最前線 目標概要 我が国の学術水準は、科学の3大フロンティアである宇宙・地底・深海の極限環境から試料を直接採取し、地球や惑星の形成および生命の起源や進化を研究することが可能である。一方で、人類活動による地球温暖化や環境汚染、資源・エネルギーの持続的な利用、自然災害への対処等の問題についても、研究による解決策が求められている。本科目は、地球惑星環境について研究を行っている教員陣により、研究の最前線についてわかりやすく講義する。 評価方法 出席とレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

「英語中級」「英語上級」について

【科目概要】

「英語中級」は指定されたクラスのみが履修できるもの（指定クラス型）と全クラスに開かれたもの（全クラス型）がある。「英語上級」はすべて全クラス型である。1Sセメスター、1Aセメスターに開講される、指定クラス型の「英語中級」を履修し単位を取得することで、前期課程修了要件の総合科目L系列：既修外国語の取得に関する単位を充足することができる。（※ただし、英語以外を既修外国語として選択した者、英語を初修外国語相当として履修する者はこの限りではない。）

S2ターム、A2タームの授業を含む、いずれの授業もセメスター開始時に履修希望の登録を行い、希望者が多数の授業については抽選を行う。各セメスターに履修できるのは指定クラス型、全クラス型をそれぞれ1コマまでである。

○履修の削除について

全クラス型授業の登録は削除できない。指定クラス型の授業は、同じセメスターの全クラス型授業に登録を認められた場合のみ削除できる。

○2年生の履修について

2年生が抽選登録できるのは、全クラス型のみとなる。ただし、追加募集の対象となっている場合に限り、指定クラス型も履修することができる。

【抽選登録】

「英語中級」および「英語上級」はUTASで希望登録を行う。所定の期間中にUTASログイン後の【抽選対象科目希望登録】画面から希望する授業を登録する。

特定の授業に学生の希望が集中した場合に抽選が行われ、外れた学生は下位の希望順位の授業に振り分けられることになる。希望を登録していない授業に振り分けられることはない。ただし、希望したいいずれの授業にも振り分けられないことはある。

○追加募集について

学生数に余裕のある場合は追加募集を行う。追加募集授業の履修登録方法は、追加募集対象授業の発表時に指示する。追加募集の対象となっていない授業については、担当教員の許可を得ても履修登録は認められない。

（注意事項）

- ・総合科目L系列の英語には、「英語中級・セメスター制授業」、「英語中級・ターム制授業」、「英語上級・セメスター制授業」、「英語上級・ターム制授業」の4種類の授業がある。同一教員による同一種類の授業を複数履修することはできない。
 - ・英語上級は各授業のシラバスに記載された習熟度レベルに到達した者を対象とする。
 - ・Sセメスターの際には、抽選登録または追加募集登録する際に、初年次ゼミナールが自身のクラスに割り当てられる各2曜限には登録しないこと。
 - ・TLP生は、TLP履修者用の科目と重複する曜限にも登録しないよう注意すること。
- なお、一度当選した科目は履修登録を削除することはできない。

総合科目Ⅰ 言語・コミュニケーション

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50369	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	RICINSCHI Dan	火3	158	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60039	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims 目標概要 This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of models and analogies. 評価方法 Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50370	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火3	156	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
講義題目 Cambridge History of the Cold Warを読むⅠ 目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のフランスと地中海についての章を読み、1945～75年のフランスと地中海沿岸諸国をめぐる冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。 評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60040	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火3	156	1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 Cambridge History of the Cold Warを読むⅡ 目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のインドシナと中東についての章を読み、1945～79年のインドシナと中東における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。 評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50371	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	火3	103	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60036	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 英語で世界を見聞きする 目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 評価方法 授業への参加度およびテストによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50372	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	火3	150	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60037	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 現代政治思想の Orientation 目標概要 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。 評価方法 授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者）：Andrew Heywood 出版社：Palgrave, 2017 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50373	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火3	108	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60042	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 英語で日本近現代史を読む 目標概要 外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法 発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50374	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	WONG Michelle	火3	10-308	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60038	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 TED Talks and Discussion 目標概要 The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through watching TED Talk videos and doing various discussion activities, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently. 評価方法 50% Assignments 30% Vocabulary tests 20% Participation 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50375	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	火3	154	1年 文一二(24,26) 理一(1-5)理二三(1-4)
60041	A 2					1年 文一二(27)文三(19) 理一(9-10)理二三(7)
講義題目 英語によるコミュニケーションの実践 目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。 評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60％、最終回の試験40％。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）：Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社：Pearson Education Limited ISBN：9781447936879 ガイダンス 特に行わない。						
50443	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	火4	154	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60086	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目 英語によるコミュニケーションの実践 目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。 評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60％、最終回の試験40％。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）：Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社：Pearson Education Limited ISBN：9781447936879 ガイダンス 特に行わない。						
50444	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	火4	103	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60092	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目 英語で世界を見聞きする 目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 評価方法 授業への参加度およびテストによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50445	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火4	156	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
講義題目 Cambridge History of the Cold Warを読むⅠ 目標概要 Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のフランスと地中海についての章を読み、1945～75年のフランスと地中海沿岸諸国をめぐる冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。 評価方法 授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60090	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	小川 浩之	火4	156	1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目Cambridge History of the Cold Warを読むⅡ 目標概要Melvyn P. Leffler and Odd Arne Westad, eds., <i>The Cambridge History of the Cold War, Volume II: Crises and Détente</i> (Cambridge: Cambridge University Press, 2010) のインドシナと中東についての章を読み、1945～79年のインドシナと中東における冷戦の歴史について学ぶ。1週間で読む英文は5～8ページ程度である。 評価方法授業での発表、質疑応答と議論への貢献、毎週提出する要旨から総合的に評価する。 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						
50446	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	WONG Michelle	火4	10-308	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60087	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目TED Talks and Discussion 目標概要The primary goal of this course is to improve your confidence in using English to converse on a range of familiar and unfamiliar topics. Through watching TED Talk videos and doing various discussion activities, you will expand your vocabulary as well as develop communication strategies to express yourself more accurately and confidently. 評価方法50% Assignments 30% Vocabulary tests 20% Participation 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						
50447	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	牛村 圭	火4	108	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60091	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目英語で日本近現代史を読む 目標概要外国人の日本史家による近現代日本論を精読する。英語で書かれた日本歴史の論考を読むという新鮮な刺激を味わいつつ、学術論文の叙述をも随時検討したい。受講に際して、専門的な日本史知識は必要としない。あくまでも英文精読の題材として用いる。 評価方法発表を含めた平常点、学期中実施の語彙力試験、そして期末の筆記試験による。 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						
50448	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	RICINSCHI Dan	火4	158	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3) 理一(34-35)
60093	A 2					1年 文一二(15)文三(6) 理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目Science Stories: From Textbook Fundamentals to Critical Evaluation of Claims 目標概要This course will provide a case study series of stories with scientific content whose educational messages are valuable with respect to both the relevant underlying science as well as to the critical evaluation of claims made. Basic concepts and terminology, diagrams and formulas as found in textbooks will be studied in conjunction to applying a scientist's critical thinking toolkit, using adequate English language. The course is expected to be useful to not only students intending to major in sciences, but to all who would like to develop an understanding about how to read and evaluate science stories from mass-media or other sources. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on three fronts: (i) comprehension of the studied scientific topics, (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various angles and (iii) developing critical thinking ability by evaluating the claims made from viewpoints of logical consistency to scientific facts, acceptability of evidence from viewpoints of authority and statistical significance, adequacy of models and analogies. 評価方法Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50449	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	Williams David	火4	102	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3)理一(34-35)
60088	A 2					1年 文一二(15)文三(6)理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目Critical Discussion and Thinking 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Each week students will focus on one topic and critically examine and consider an English language text in a group. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a range of contemporary topics of domestic and international significance, and be able to reflect better on their own culture. Students will find that the skills acquired in this class will help them to express themselves in other areas of their academic studies; it is hoped the class will be an encouragement to see English language as an investment for the future. 評価方法 This course will be taught exclusively in English. Assessment for this class will be based on four aspects: (i) a series of role sheets filled out for the discussion circle (50% approx.) (ii) weekly vocabulary test (15%) (iii) one in-class presentation (15%) (iv) final examination (20%) 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						
50450	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	大井 赤亥	火4	150	1年 文一二(11-12,14)文三(1-3)理一(34-35)
60089	A 2					1年 文一二(15)文三(6)理一(36-37)理二三(20,22)
講義題目現代政治思想の Orientation 目標概要 19・20世紀から現代にかけての代表的な政治思想（イデオロギー）について、それらが生じてきた歴史的背景、掲げた目的、達成や現状について、英語圏で使用されている標準的な教科書を通して理解を深める。具体的には、20世紀の思想と体制を大きく規定した、①共産主義、②全体主義、③リベラリズム（「リベラルな平等」および新自由主義）、④デモクラシーを取りあげ、それらの内容を理解し、議論を行う。これらの思想内容に習熟することは、政治概念についての基本的教養をもたらすのみならず、現代世界の動向を把握するためのシティズンシップ教育としての目的も帯びている。 評価方法授業内でのプレゼンテーション（40%）、レポート（40%）、出席（20%）によって判断する。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Political Ideologies (Sixth Edition) 著者（訳者）：Andrew Heywood 出版社：Palgrave, 2017 ガイダンス第一回授業日に行う。						
50576	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	水2	112	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15)理一(14)理二三(9-10)
60146	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16)理一(19-20)理二三(13)
講義題目こころの異常についての英文を読む 目標概要こころの異常について書かれた英文を読むことを通して、そうした現象についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。 評価方法小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						
50577	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	水2	158	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15)理一(14)理二三(9-10)
60150	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16)理一(19-20)理二三(13)
講義題目短編作品を深読みする 目標概要 短編作品を精読した後、その背景にある社会的状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックなものについても検討し、さまざまな視点から作品を味わっていく。 評価方法平常点（授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況）40%、試験と小テスト60% 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50578	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	水2	152	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60145	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語によるコミュニケーションの実践 目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。 評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：Cutting Edge Third Edition 著者（訳者）：Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社：Pearson Education Limited ISBN：9781447936879 ガイダンス 特に行わない。						
50579	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アルヴィ なほ子	水2	103	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60148	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 /Frankenstein/を読む 目標概要 Mary Shelleyの/Frankenstein/を読むことを通じて、英語の読解力を高め、また、/Frankenstein/の神話を持つ、人文学、科学両方に与えた今日的重要性について理解する。2018年は /Frankenstein/出版200周年の年で、世界各地で様々な学術的な催しが開かれ、また多くの大学の授業でも取り上げられている。まだ20才になる前にMary Shelleyが書いた1818年版を読むことで、英語の小説の読み方を学ぶだけでなく、10代の若い文学的な感性が当時の最新の技術や政治的状况に如何に敏感に反応したか、そしてその小説が文学という範囲を超えて読み継がれ、現代においてその重要性がますます認識されているかを考察する。 評価方法 毎回の課題提出と授業中のアクティビティなど40%、レポート20%、試験40%とする予定です。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：Frankenstein 1818 Text (Oxford World's Classics) 著者（訳者）：Mary Shelley 出版社：Oxford UP ISBN：978-0199537150 URL：http://www.rc.umd.edu/editions/frankenstein/1818_contents ガイダンス 特に行わない。						
50580	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	高橋 英海	水2	150	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60147	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語で世界を見聞きする 目標概要 英語はいまや英米豪などの英語圏のみの言語ではなく、事実上の世界の共通語であり、世界への扉である。本授業では、世界の中の英米豪以外の地域、特にアジアや中東・アフリカ地域から発信されるニュースなどの視聴覚教材を見聞きしながら、世界への視野を広めるとともに英語の理解力を高める。 評価方法 授業への参加度およびテストによる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50581	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水2	156	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
60149	A 2					1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語で読み解く現代社会 目標概要 この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造 (Reinvention)」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法 授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Reinvention 著者 (訳者) : Anthony Elliott 出版社 : Routledge ISBN : 9780415682848 ガイダンス 特に行わない。						
50582	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水2	151	1年 文一二(1-3,5,7)文三(14-15) 理一(14)理二三(9-10)
講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：ミステリー短編 <i>Baby-sitting Ingrid</i> を題材に 目標概要 Larry Collins のミステリー短編 <i>Baby-sitting Ingrid</i> を読みます。主人公の麻薬取締捜査官 Kevin が、愛する女性 Ingrid を殺した麻薬密売人 Louie を追う執念の物語です。 この講義の短期的な達成目標は、（１）英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、（２）それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、（３）その言い回しを自分でも使ってみたい（または使えそうだと）思えるようになること、 の３つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 評価方法 毎週の課題提出（30％）＋毎週の小テスト（70％） 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60151	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水2	151	1年 文一二(9-10)文三(16) 理一(19-20)理二三(13)
講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ『奥さまは魔女』を題材に 目標概要 アメリカのTVドラマ Bewitched (邦題は『奥さまは魔女』) のエピソードを１つか２つ選んで、じっくり丁寧に見ます。人間の男性 Darrin が魔女 Samantha と結婚し、様々なトラブルに巻き込まれながらもなんだかんだ楽しく生きていくお話です。 この講義の短期的な達成目標は、（１）自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、（２）それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、（３）その言い回しを自分でも使ってみたい（または使えそうだと）思えるようになること、 の３つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 評価方法 グループ発表（30％）＋毎週の小テスト（70％） 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50657	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	アルヴィ なほ子	水3	103	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60174	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 /Frankenstein/を読む 目標概要 Mary Shelleyの/Frankenstein/を読むことを通じて、英語の読解力を高め、また、/Frankenstein/の神話を持つ、人文学、科学両方に与えた今日的重要性について理解する。2018年は /Frankenstein/出版200周年の年で、世界各地で様々な学術的な催しが開かれ、また多くの大学の授業でも取り上げられている。まだ20才になる前にMary Shelleyが書いた1818年版を読むことで、英語の小説の読み方を学ぶだけでなく、10代の若い文学的な感性が当時の最新の技術や政治的状况に如何に敏感に反応したか、そしてその小説が文学という範囲を超えて読み継がれ、現代においてその重要性がますます認識されているかを考察する。 評価方法 毎回の課題提出と授業中のアクティビティなど40%、レポート20% 試験40%とする予定です。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Frankenstein 1818 Text (Oxford World's Classics) 著者（訳者）：Mary Shelley 出版社 : Oxford UP ISBN : 978-0199537150 URL : http://www.rc.umd.edu/editions/frankenstein/1818_contents ガイダンス 特に行わない。						
50658	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	西川 杉子	水3	150	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60176	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 <i>History Today</i> を読む 目標概要 イギリスで出版されている歴史の教養雑誌 <i>History Today</i> に収録された小論文を読み、世界各地域の文化・歴史を学ぶ。<i>History Today</i> については図書館に入っているの、参考にするとい。 評価方法 毎回の小テストおよび授業への参加度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50659	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平林 祐子	水3	152	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60173	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 英語によるコミュニケーションの実践 目標概要 英語で他人とコミュニケーションを取ること（自分の意思を伝え、相手の意思を理解する）、さらにそれを通じて共同で何らかの課題を達成することを、実践を通して学びます。今後の皆さんの人生においては、日常生活、学習／研究、ビジネスなど多様な場面で、英語によるコミュニケーションが必要になることが今よりもっと増えるでしょう。そのためのトレーニングとして、英語の4つのスキル（reading, listening, speaking, writing）を使って、実際にありえる多様な場面でのコミュニケーションを実践する科目です。 評価方法 毎回の授業（宿題も含む）での実践と発表／提出物60%、最終回の試験40%。グループで作成するものについてはグループ全員を同じ評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Cutting Edge Intermediate Third Edition 著者（訳者）：Sarah Cunningham, Peter Moor and Jonathan Bygrave 出版社 : Pearson Education Limited ISBN : 9781447936879 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50660	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水3	151	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ『奥さまは魔女』を題材に 目標概要 アメリカのTVドラマ Bewitched(邦題は『奥さまは魔女』)のエピソードを1つか2つ選んで、じっくり丁寧に見ます。人間の男性 Darrin が魔女 Samantha と結婚し、様々なトラブルに巻き込まれながらもなんだかんだ楽しく生きていくお話です。 この講義の短期的な達成目標は、(1)自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだな)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 評価方法 グループ発表(30%) + 毎週の小テスト(70%) 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
60171	A 2	英語中級 (クラス指定ターム型)	平沢 慎也	水3	151	1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：ミステリー短編 <i>Paranoia</i> を題材に 目標概要 Stephen Frey のミステリー短編 <i>Paranoia</i> を読みます。主人公 Emily はアメリカ次期上院議員の妻。文字通りの「被害妄想」で、ある日、ウォール・ストリートでニューヨーク・タイムズのカメラマンが夫に向けたカメラを銃と勘違いし、「きゃあ！ピストル！」と叫んで大騒動を起こしてしまいます。そんな Emily がヨーロッパに行くために乗った飛行機で、横に座った男性がまたしてもどうやら銃を所持しているようです。これもやはり妄想なのか、それとも…というお話です。 この講義の短期的な達成目標は、(1)英語で書かれた文章を読んでいて出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは？」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみたい(または使えそうだな)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 評価方法 毎週の課題提出(30%) + 毎週の小テスト(70%) 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50661	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	坪井 栄治郎	水3	10-101	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60175	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 ことばと認知 目標概要 ことばと認知の関係について書かれた英文を読むことを通して、両者の関係についての理解を深めるとともに、読解力の向上を図る。 評価方法 小試験の点数と授業中のperformance(質問された時の解答の出来、授業への参加・集中度)に最終授業時に行う試験の成績で評価。最終試験で6割、小試験と授業中のperformanceで4割の評価比率。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50662	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	三吉 美加	水3	158	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60172	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目 短編作品を深読みする 目標概要 短編作品を精読した後、その背景にある社会的状況、歴史、文化などについて知識を深めていく。また、シンボリックなものについても検討し、さまざまな視点から作品を味わっていく。 評価方法 平常点(授業時の積極的姿勢とグループワーク時の発言、予習状況) 40%、試験と小テスト 60% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50663	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	加治屋 健司	水3	153	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60177	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目英語で読む芸術理論 目標概要オックスフォード大学出版局の概説書シリーズの『芸術理論』を読みます。184ページの薄い本です。英語の語彙を増やすこと、一定量の英語を読むのに慣れること、英語を通して未知の対象を確実に学ぶことを目標とします。 評価方法小テストの結果と授業中の発言によって最終的な成績を付けます。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Art Theory: A Very Short Introduction 著者（訳者）：Cynthia Freeland 出版社：Oxford University Press ISBN：192804634 ガイダンス特に行わない。						
50664	A 1	英語中級 (クラス指定ターム型)	岩佐 将志	水3	156	1年 文一二(16,18)文三(10) 理一(23,25)理二三(15,17)
60170	A 2					1年 文一二(19-20)文三(11-12) 理一(26,28)理二三(18)
講義題目英語で読み解く現代社会 目標概要この授業では、現代社会の動向を社会的な視点から考察している英語文献を題材とし、英文読解の訓練を行う。ここで取り上げるのは、現代社会を「再創造（Reinvention）」の論理が浸透する社会と捉え、独自の議論を展開している社会学者の著作である。本書では、現代の個人や組織が絶えず自らを作り変えるように迫られている様子が、さまざまな事例を通じて描かれる。本書を読み解くことを通じ、その洗練された議論に触れると同時に、そこで用いられる幅広い語彙や表現を習得することを目指す。 評価方法授業内の発表、小テスト、期末エッセーから総合的に判断する。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Reinvention 著者（訳者）：Anthony Elliott 出版社：Routledge ISBN：9780415682848 ガイダンス特に行わない。						
50051	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月2	149	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目元祖ミュージカル（サヴォイ・オペラ）の台本を読む 目標概要『オペラ座の怪人』の約100年前、ロンドンのサヴォイ劇場で初演されて以来、今でも英米を始め英語圏で人気の高い元祖ミュージカル的コミック・オペラがある。風刺の利いたウィリアム・ギルバートの台本（・歌詞）と、軽快で親しみやすいアーサー・サリヴァンの曲による一連の「サヴォイ・オペラ」は、ドイリー・カート歌劇団により100年以上上演されてきた伝統があるが、英米の主要大学、主要都市にある同好会によるアマチュアの上演も盛んだ。このレパートリーの中から、「芸術のための芸術」を標榜した19世紀末の「唯美主義」を痛快に皮肉った『ペイシェンス』を近年の上演映像を見ながら台本を読み、イギリス的ユーモアを味わう。勇ましい軍人たちに代わって、良家の令嬢たちに取り囲まれているのは、憂愁の詩人バンソーン。彼に強力なライバルが現われた。二人の争いの結末は？台本、曲ともにサヴォイ・オペラ屈指の傑作。 評価方法試験の成績に出席、平常点を加味する。 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50052	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	月2	10-203	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 Let's Read and Discuss 目標概要 The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, '<i>The Embassy of Cambodia</i>' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery. It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students. 評価方法 Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退2回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席は不可。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Embassy of Cambodia 著者(訳者) : Zadie Smith 出版社 : Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN : 978-0-241-14652-1 ガイダンス 特に行わない。						
50053	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	月2	10-308	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 Professional presentation skills 目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint. Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on. This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class. 評価方法 Preparation 30% Presentations 70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50054	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月2	152	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む 目標概要 あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)』は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。 評価方法 授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3～4頁分の英文の和訳）。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50055	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	月2	10-201	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 はじめてのニュース英語 目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 評価方法 シャドイング・授業参加・試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Seeing the World through the News 3 著者（訳者）: Timoethy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0 ガイダンス 特に行わない。						
50056	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀田 隆一	月2	153	1年 文一二(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 英語を通じて見る言葉の変化 目標概要 英語を中心に言葉の変化について論じる本を、グループで読み、議論する。英語や言語一般への向き合い方について、改めて考える機会としたい。 評価方法 出席、指名された箇所の要約・発表課題、定期試験を総合して評価する。定期試験では、既読箇所について和訳、内容把握、意見論述を中心とした問題を出す。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Language Change : Progress or Decay? (4th ed.) 著者（訳者）: Jean Aitchison 出版社 : Cambridge University Press ISBN : 9781107678927 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50057	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	月2	154	1年 文一(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 Writing Myth, Reading Culture: An Introduction to Folklore 目標概要 This course will provide students with a foundation in working in English to conduct folkloric studies. Working through a series of comparative case studies, your class activities will be based around group discussions, screenings, in-class readings and student-led work - each designed to help develop your verbal, written and analytic skills in English language. Students will examine folklore from a cross-cultural perspective, exploring myths and legends from the geographical East and West. As well as assessing the role of folklore from both contemporary and historical viewpoints, the class will also introduce students to methodological approaches in the investigation of folklore. You will be required to write a research paper and give short presentations in English, as well as to undertake various homework tasks throughout the course (readings, creative assignments, compiling research etc.). 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50058	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月2	K402	1年 文一(25,28) 文三(5,7,20) 理一(8,13)
講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M2 目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to education etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5% or 1x25% depending on class size) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50100	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	堀越 庸一郎	月3	152	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 楽園はどこにある—Ronald Blythe, <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)を読む 目標概要 あなたの楽園はどこにありますか。日本人の楽園はどこにあるのでしょうか。イギリス人の楽園は村にあります。「愛すべき農村」のイメージ。都会と違って恐ろしいことは何も起きない、知らない者が侵入してくることもない、皆が皆をよく知っていて、親密な人間関係のなかで、多少の悶着も厄介ごと、すべてユーモアと笑顔と、ゆるいキリスト教的モラルで乗り越えられていく、そういう居心地のいい楽園。そこで繰り返される生産のサイクル。春、夏、収穫、冬。今年も、来年も、いつまでも。いつかこんな薄汚れた都会を離れて、緑に囲まれたコテージに住み、そういう「本当に確実なもの、本当に大切なもの」を手に入れるんだ。都会に寓居するイギリス人はそうやって、永遠の楽園としてのカントリーライフを夢見ている。 『エイケンフィールド：あるイングランドの村の肖像 <i>Akenfield: Portrait of an English Village</i> (1969)』は、そういう「楽園」の実際の住民たちの談話を、作家ロナルド・ブライズ Ronald Blythe がまとめたものです。1960年代後半、戦後のイギリス社会が経験した大変革がようやく落ち着き、19世紀から続く大農業恐慌がようやく終わり、農村社会が豊かになり始めた頃、イングランドのある農村に住んでいた、実在の住民たちの声です。 話し言葉を書き起こしたものが多くの部分を占めているので、そういった部分はアカデミックな硬い英語ではありません。むしろ、この時代や地域に独特の言い回しや方言がある程度書き込まれているので、そのへんが面白いところです。世の中には、公的な文書や研究書、あるいは文学作品などの「真面目な」文章よりも、小説やエッセイなどの「気楽な」文章の方が圧倒的に多いわけで、そういう硬くない英文を読むための読解力や知識の習得を目標のひとつとしています。それから、授業内容は基本的にテキストの精読になります。テキストをきちんと精読するためには作法があり、それはそのテキストが「気楽な」エッセイであろうと「真面目な」研究論文であろうと、また千年前に書かれた古英語の文書だろうと、同じです。この「作法」をお伝えしたい、そういう授業です。 評価方法 授業中の和訳に対する評価、および学期末レポート（3～4頁分の英文の和訳）。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50101	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小田 悠生	月3	107	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 国際人口移動の基本概念と現代世界の諸課題 目標概要 この授業では、平易な英語で書かれたテキスト、新聞記事、さらに専門的な論文を併用しながら、一般読者向けの報道から、入門者向けの概説書、難易度の高い専門書まで速読できる力を身につけます。中心とする指定教科書は、いわゆる「新書」相当のものであり、各自の専門分野・前提知識を問わず、アカデミックな文章を読解することができるようになることが目標です。 リーディングのテーマは、国際人口移動です。移民とは誰を指すのかといった基本的問題に始まり、現代の世界において国境が持つ意味といった問題まで、様々な 이슈 について考えてみましょう。 評価方法 出席回数が三分の二を満たさない場合、単位は認めない。 毎回の宿題提出：30% 授業内課題への取り組み：30% 定期試験：40% 教科書 次の教科書を使用する。 書名：International Migration: A Very Short Introduction. 2nd edition. 著者（訳者）：Khalid Koser 出版社：Cambridge: Oxford UP, 2016. ISBN：978-0198753773 ガイダンス 特に行わない。						
50102	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月3	113	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 英語で社会問題をディベートしよう 目標概要 Let's debate about social problems in English この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。 評価方法 出席率（欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする）、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50103	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	岩崎 徹	月3	149	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 古典ミュージカルの台本を読む 目標概要 シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の舞台を20世紀半ばのニューヨークに置き換えたミュージカル『ウェストサイド物語』は、今年が生誕100年にあたるレナード・バーンスタイン作曲、ジェローム・ロビンズ振付のダンスとともに最高レベルの作品で、現代の古典となった。授業では、アーサー・ロレンツの書いた舞台版の台本を映画版と比較しながら読む。シェイクスピアの原作との比較は翻訳を使用するが、シェイクスピアの台詞（原語）も随時参照する。『ウェストサイド』を批評するための英語資料も使用する。 評価方法 試験の成績に出席、平常点を加味する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Romeo and Juliet / West Side Story 著者（訳者） : Norris Houghton (introduction) 出版社 : Laurel-leaf Books ガイダンス 特に行わない。						
50104	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	メズールール ジェルマン	月3	K402	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 Introduction to Social Inequality Studies M3 目標概要 This course will explore a range of social issues and situations faced by people in different societies around the world. Through learning and discussing these issues, students will develop their comprehension and communication skills in English. The course is designed to help you learn and understand important sociological issues, in English. You will learn new vocabulary, and also practice your English discussion and presentation skills. The exact topics covered will be decided in class, through discussions and votes, and could include: Social Stratification Inequalities of Race and Ethnicity Gender Inequality Access to education etc. Students will gain a better understanding of basic sociology, as well as use critical thinking to discuss possible solutions to some of the main social inequalities covered in the class. 評価方法 25%: Digital Portfolio 25%: Presentation (2x12.5%) 25%: Timed-essay in class 25%: Active participation and contribution to the class 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50105	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	月3	10-303	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 カート・ヴォネガット『スローターハウス5』を読む 目標概要 アメリカ合衆国の作家カート・ヴォネガット（Kurt Vonnegut）の『スローターハウス5』（<i>Slaughterhouse-Five</i>、1969年）を講読します。多読と精読とを組み合わせてなるべく学期中の読了を目指し、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2週目以降は毎回20ページほどのペースで進めていくので毎週の予習にある程度の時間がかかる授業であることは覚悟しておいてください（こちらからもできるかぎりのサポートはするつもりです）。受講希望者は初回の授業までにテキストを入手し、最初の章の書き出し4～5ページほどに目をとおしてきてください。時間があればジョージ・ロイ・ヒル監督による映画版（1972年）も授業中に扱います。 評価方法 平常点（出席、予習、発表、議論への参加度など）が4割、数回行う小テストが3割、期末の持ち帰り試験あるいはレポートが3割を基本として総合的に判断します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Slaughterhouse-Five 著者（訳者） : Kurt Vonnegut 出版社 : Dial Press ISBN : 978-0-385-33384-9 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50106	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	志子田 祥子	月3	10-203	1年 理一(15,22,27,31-32)
講義題目 Let's Read and Discuss 目標概要 The aim of this course is to help students improve their reading and communication skills in English, through a range of student-centred activities designed to stimulate responses and promote social interactions in the classroom, including pair/group work and discussion. We will read a contemporary British author Zadie Smith's novella, '<i>The Embassy of Cambodia</i>' (2013) as the core textbook. Set in Willesden, north-west London, it is an absorbing story about the life of a young migrant worker from the Ivory Coast, filled with resonant imagery. It is hoped that carefully reading this novella together will help students to develop their reading fluency and to learn to enjoy authentic texts, as well as will open up new horizons for students. 評価方法 Active class participation and significant contribution (approx. 30%); successful completion of a series of activities and assignments, including presentations and vocabulary quizzes (approx. 70%). 理由の如何にかかわらず、授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の早退は欠席とみなす。遅刻・早退2回で欠席1回とみなす。3回以上の欠席は不可。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Embassy of Cambodia 著者(訳者) : Zadie Smith 出版社 : Hamish Hamilton/ Penguin Books ISBN : 978-0-241-14652-1 ガイダンス 特に行わない。						
50174	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	井上 博之	月4	10-303	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 カート・ヴォネガット『スローターハウス5』を読む 目標概要 アメリカ合衆国の作家カート・ヴォネガット(Kurt Vonnegut)の『スローターハウス5』(<i>Slaughterhouse-Five</i>, 1969年)を講読します。多読と精読とを組みあわせてなるべく学期中の読了を目指し、ある程度の分量の英語を継続的に読む能力を身につけること、細部に注意を払って英文を精確に読めるようになること、会話文などから口語的な表現を学ぶこと、小説を読むおもしろさを実感してもらうことなどが授業の目標となります。あくまでも語学の授業なので今まであまり小説を読んでこなかった学生の受講も歓迎します。比較的平易な英語で書かれた小説ではありますが、2週目以降は毎回20ページほどのペースで進めていくので毎週の予習にある程度の時間がかかる授業であることは覚悟しておいてください(こちらからもできるかぎりのサポートはするつもりです)。受講希望者は初回の授業までにテキストを入手し、最初の章の書き出し4~5ページほどに目をとおしてきてください。時間があればジョージ・ロイ・ヒル監督による映画版(1972年)も授業中に扱います。 評価方法 平常点(出席、予習、発表、議論への参加度など)が4割、数回行う小テストが3割、期末の持ち帰り試験あるいはレポートが3割を基本として総合的に判断します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Slaughterhouse-Five 著者(訳者) : Kurt Vonnegut 出版社 : Dial Press ISBN : 978-0-385-33384-9 ガイダンス 特に行わない。						
50175	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 光	月4	153	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 英語の小説を聴きながら読む 目標概要 朗読の音声聞きながら、小説を読むことによって、聴解力と読解力の向上を目指します。小説は、説明文と日常会話から構成されているという意味で、外国語を学ぶためには最適の教材です。今回使用する教材には、20世紀初頭のアメリカを舞台として「善人」が多く登場します。善意が幸せを呼ぶこともあれば、裏目に出ることもあり、人生について考えてみたい人、心の洗濯をしてみたい人、「善人」は胡散臭いけれど、だから興味があるという人、そもそも英語で短編小説を読むという体験をしてみたい人、を歓迎します。 評価方法 定期試験と授業時の質問に対する回答状況をふまえて、総合的に判断します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : O. ヘンリー 短篇集 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-15126-7 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50176	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	石井 クンツ 昌子	月4	113	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 英語で社会問題をディベートしよう Let's debate about social problems in English 目標概要 この授業の最終目標は英語で自分の考えやアイデアを発表する能力を身につけることである。日本と米国の様々な社会問題についてディベートする。各トピックの議論への準備を周到にして、ディベートにより英語のリスニング、スピーキング、プレゼンテーション能力を養う。また、米国の社会問題を扱ったドキュメンタリー映画を視聴し、スモールグループディスカッションを行う。 評価方法 出席率(欠席は3回までとし、4回以上の場合の評価は「不可」とする)、ディベートとデリバリー技術と内容、ディベートへの準備、ディベートとディスカッションへの積極的な参加、ディベートの勝敗、授業態度と英会話セッションへの参加 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50177	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	月4	103	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 Creative Thinking 目標概要 Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity as said to be in today's competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action 評価方法 Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50178	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	高橋 和子	月4	10-201	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 TOEFL/TOEICの後は、名作を英語で読もう 目標概要 本授業では、授業前半でTOEFLやTOEICのreading問題を扱う。授業後半では、英語を学ぶ大学生ならば理科系・文科系に関わらず、一度は英語で読んでおきたい名作の名場面を取り上げる。随時、名作の中心場面の映像(映画)の視聴、ディスカッション・プレゼンテーションを取り入れることによって、バランスのとれた英語力育成を目標にする。 評価方法 授業参加度: 60%、出席 (TOEFL/TOEICのreading問題、名作に対する課題を含む)、ディスカッション、プレゼンテーションの成果を含む。 定期試験・レポート: 40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50179	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	月4	10-308	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 Professional presentation skills 目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint. Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on. This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class. 評価方法 Preparation 30% Presentations 70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50180	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	加藤 恒昭	月4	155	1年 理一(16-18) 理二三(5,23-24)
講義題目 科学エッセイを読む 目標概要 <i>The Best American Science and Nature Writing 2017</i> に収録されている科学エッセイ（非専門家向けのエッセイ、分野は偏らないように選択）を読んでいくことを通じて、論述のための構文と文章構成および科学関連語彙に関する理解を深める。週2,000語（4-5頁）程度ずつ読み進んでいき、1-3週でひとつのエッセイを読み終わる。議論の流れを掴みつつ、大事な部分を丁寧に読んでいくことを心がける。該当箇所はプリントにて配布する（書籍の形で持っていたい場合は参考文献参照）。 語彙力を補強するために、「東大英単」（UTASシラバス「参考書」参照）より自然科学で用いられることが多い語を選び、小テストを実施する。 評価方法 予習報告状況、授業時間中の単語小テスト（UTASシラバス「授業の方法」参照）、学期末の筆記試験を20%、40%、40%ずつの割合で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50250	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	サーギル ジェームズ クリストファー	火1	103	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 Ecologies of Capital: culture, space and society 目標概要 This reading-based course provides students with an opportunity to engage in critical, cultural and geographic theory, exploring the relationship between geography, capitalism and culture through English language texts. The course will be organised around key ideas taken from the writings of Karl Marx (e.g. the commodity, fetishism, phantasmagoria), with each class used to explore a specific Marxist concept in relation to the spaces and cultures of capitalism. The course will make use of a series of interesting examples from popular culture as a basis for conducting discussions (in English) on capitalism's role in the shaping of class, gender and race. The course will introduce students to a range of thinkers from across the academic world, developing their knowledge of how and where critical and cultural theory can be applied in the analysis of contemporary capitalism. A number of short readings will provide opportunities for class discussion and will develop comprehension of the text itself. Students will be expected to read excerpts of texts and short articles in English on a weekly basis as preparation for in-class activities. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Presentation: 30% Research Paper: 50% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50251	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	河合 祥一郎	火1	E42	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 オスカー・ワイルド原作の映画『理想の結婚』を観る／理解する 目標概要 オスカー・ワイルド作『The Ideal Husband』(邦題「理想の結婚」)を授業で少しずつ観ながら原文を確認していきます。虫食いになったスクリプト(テキスト)を示すので、聞きとり穴埋め問題を行いながら、内容を確認します。自宅で予習してくる必要があるのも、映画を観る＝楽勝と誤解しないように。また、毎回授業の初めにTOEICの語彙の小テストを行い、語彙力を維持します。毎回発音指導を行い、そのための早口言葉を覚えてもらいます。 評価方法 毎回の小テストとクラスでの取り組み姿勢を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50252	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	火1	10-201	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 はじめてのニュース英語 目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 評価方法 シャドイング・授業参加・試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Seeing the World through the News 3 著者(訳者) : Timothy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0 ガイダンス 特に行わない。						
50253	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平沢 慎也	火1	151	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 英語の自律的学習者になる方法を学ぶ：アメリカのTVドラマ Full House を題材に 目標概要 アメリカのTVドラマ Full House のエピソードを2つ扱います。この講義の短期的な達成目標は、(1)自分でドラマや映画を見て出会った様々な表現について「おや、これはひょっとしてよくある言い回しでは?」と思えるようになること、(2)それが本当によくある言い回しであるかどうかを自分で調べられるようになること、(3)その言い回しを自分でも使ってみた(または使えそう)と思えるようになること、の3つです。長期的な目標として見据えているのは、「どんな英文も単語の連なりではなくフレーズの連なりに見える」というレベルに達することです。 評価方法 グループ発表(30%) + 毎週の小テスト(70%) 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50254	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	WILSON BRENDAN	火1	152	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 Reading and Listening Comprehension 目標概要 The aim of this course is to improve practical comprehension skills for reading and listening. 評価方法 At the end of the semester, there will be a test of students' reading and listening comprehension skills. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50255	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐原 彩子	火1	153	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 New Windows on America: Reading the Atlantic Articles 目標概要 The goal is to read articles in English (specifically articles from <i>The Atlantic Magazine</i>) to understand current issues of the U.S. in English. Students need to read an article a week to gain information in English and to be familiar with various issues in English. Through this course, students will improve their reading skills qualitatively as well as quantitatively through various activities in classes and at home. 評価方法 Quizzes and Class Activities (including discussions (50%)/Two Essays (50%)) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50256	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	山本 史郎	火1	157	1年 文一二(21-23) 理一(21)理二三(16)
講義題目 英語を深く読む 目標概要 哲学的議論、科学エッセイ、小説など様々のジャンルの英文を読み、そこに表現されている意味を読みつくし、contextやimplicationを探索し、レトリックを徹底的に分析する。文章に書かれていること、書かれていないことを読みつくすのが目標。 評価方法 授業への参加と定期試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50511	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	Williams David	火5	102	1年 理二三(12,14,19)
講義題目 Intermediate Reading, Thinking & Discussion 目標概要 The purpose of this class is to build students' English language reading and thinking skills beyond simple description to a more critical and analytical point. Taking a contemporary, thematic approach students will critically examine and consider authentic and semi-authentic texts in groups where texts will be revisited after in depth pre-class reading. The themes explored in class will be exclusively on contemporary British culture. At the end of this course it is expected that students will be able to critically consider and assess a wide range of contemporary topics of domestic and international significance. Students will find that the skills acquired in this class will assist in expressing themselves in other areas of their academic studies, and later in their professional lives. 評価方法 Assessment for this class will be based on evidence of completed homework reading (40%), active class participation, two forum-based presentations (30%), and a final assessment (30%). In order to gain a top grade for this course students are expected to make an original and unique contribution to each class. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50512	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	牛村 圭	火5	108	1年 理二三(12,14,19)
講義題目 <i>New York Times</i> で世界を読む 目標概要 <i>New York Times</i> に掲載された署名入り記事に注釈が付された教材を精読する。さまざまな今日の諸問題が、英語ではどのように表現されて論じられているかを知る機会とするにとどまらず、学生諸君の文理にわたる知的関心を高めることを目指したい。 評価方法 担当した訳文の発表を含めた平常点、学期中に実施の語彙力テスト、そして学期末の筆記試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューヨークタイムズの窓から 出版社 : 英宝社、2014年 ガイダンス 特に行わない。						
50513	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	藤尾 美佐	火5	10-201	1年 理二三(12,14,19)
講義題目 世界で勝つための英語プレゼンテーション 目標概要 英語コミュニケーションにおいて、プレゼンテーション(以下プレゼン)は不可欠なスキルである。また他のスキルと比べ、パフォーマンス的要素も強く、プレゼンスキルを学ぶことによって、英語の非母語話者であっても、母語話者以上のプレゼンターになることができる。本コースでは、英語のプレゼンに必要な基本的なスキル(プレゼンの構成、資料作成、英語のデリバリー、非言語コミュニケーション(ジェスチャー、アイコンタクトなど)の効果的な使い方)を学んだ後、授業内でグループ・プレゼンテーションを実施する。さらに、他のグループおよび自分自身のプレゼンのレビューを行うことにより、洞察を深めていく。授業は、英語と日本語の両方で行う(インストラクションにも極力英語を使用する予定)。 評価方法 授業への積極的な参加・提出物・プレゼンテーション・レポート 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 20ステップで学ぶ 日本人だからこそできる英語プレゼンテーション 著者(訳者): 藤尾 美佐 出版社 : DHC出版 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50514	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	新田 万里江	火5	150	1年 理二三(12,14,19)
講義題目 Reading American Cuisine and Identities 目標概要 本クラスでは、Aセメスターを通してアメリカ研究者によって書かれたアメリカの食文化に関する学術論文と詩を読解する。学術論文及び詩の講読を通して英語の語彙や論理構造等の理解を深めることで、英文の読解力を高める。アメリカの食文化に関する論考を通して、アメリカ社会そして世界の中のアメリカの様々な問題を英語で読み考える力を養う。また、関連する史料や文学・映像作品を通してアメリカ研究の主要な概念を英語で学び、自ら応用する力を身につける。 評価方法 グループディスカッション 40% ジャーナル 40% レポート 20% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50515	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	RICINSCHI Dan	火5	158	1年 理二三(12,14,19)
講義題目 English Lectures on General Physics 目標概要 This course will provide lectures on a series of Physics topics selected to ensure a balance between presentation of basic concepts and terminology, diagrams and formulas as well as proper reasoning about the underlying principles and mechanisms, using adequate English language. Although mainly intended for students interested to major in sciences, effort is made to select stand-alone content, presented so that it could be accesible to those specializing in other areas as well. The main objective is to present students with practical, stimulating opportunities to experience English as a vehicular language (lingua franca) that future graduates will use for integrating into a multidisciplinary society and contributing to its technological advancement. Students will be challenged on two fronts: (i) comprehension of the studied Physics topics and (ii) mastering the use of appropriate English language to describe them from various scientifically-valid perspectives, analyze problems, provide solutions and envision applications. 評価方法 Attendance and participation in interactive activities with instructor and classmates: 30% Individual Assignments: 70% While emphasis in evaluation will not be on the mastering of the Physics content itself, highest grades will require a good performance with respect to both (i) and (ii) objectives. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50546	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	松本 和子	水1	10-201	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 はじめてのニュース英語 目標概要 ニュース英語を繰り返し聞き、シャドイングを行うことで、ニュース番組で使われている「生の英語」の速さ・発音に慣れることを目指す。 評価方法 シャドイング・授業参加・試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Seeing the World through the News 3 著者(訳者) : Timothy Knowles et al. 出版社 : Kinseido ISBN : 978-4-7647-4015-0 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50547	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	水1	150	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 Critical Reading of Literary Texts 目標概要 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ること必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。 上記の目標を意識しながら、4篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。 最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。 評価方法 授業への貢献（出席だけでなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4本の英文エッセイ（150～250語程度）40%、定期試験 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50548	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	オデイ ジョン	水1	K303	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 Philosophy (Applied Ethics) 目標概要 This is a content-oriented course that focuses on topics in Philosophy, and Applied Ethics in particular. We will first cover some of the major philosophical approaches to ethical issues, such as virtue theory, utilitarianism, and others. With this as background, students will be presented with an ethical issue, read about it, and present the arguments in class and lead a discussion. Possible topics include: * Human Rights * Hunger and Poverty * War and Violence * Gender Roles and Morality * Racial and Ethnic Discrimination 評価方法 Weekly participation in class discussion, and one major class presentation. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50549	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	小野瀬 宗一郎	水1	152	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 20世紀の名演説を英語で読む 目標概要 <i>The Penguin Book of Twentieth-Century Speeches</i> 所収の演説を講読・朗読し、英語の読解力と発音・アーティキュレーションの向上を目指す。 評価方法 平常点（出席・授業態度）30% 小テスト 30% 最終課題 40% 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Penguin Book of Twentieth-Century Speeches 著者（訳者）: Brian MacArthur (ed.) 出版社 : Penguin ISBN : 140285008 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50550	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ダルグリーシュ プレガム	水1	115	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. reading, analysing and synthesising academic texts; 2. presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. taking part in seminars and academic discussions; 4. structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. 評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50551	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ナルト デリック	水1	103	1年 理一(7,12,33,38)
講義題目 Creative Thinking 目標概要 Albert Einstein once said that “creative imagination” is central to scientific progress. Apple Co-Founder Steve Jobs, like many business leaders nowadays, likewise stressed that creativity differentiates average individuals and companies from exceptional ones. As important as creativity as said to be in today’s competitive global economy, what the creative process requires or involves is usually left unexplained. This course, therefore, aims to familiarize participants with what creative thinking entails, why it is important, where it comes from, and how individuals can improve their critical faculties to enable them to thrive in our era of rapid technological, social, political and economic change. By the end of the course students, besides improving their English speaking, listening, and writing skills, will learn: -- how some of the greatest innovators in human history have applied creative thinking to achieve breakthroughs in the realms of science, business, and the arts -- how they can overcome thinking blocks, formulate effective questions, create the right environment for creative thinking, and turn their creative thoughts into action 評価方法 Writing assignments: 30% (10% + 20%) Presentations: (2 x 20) 40% Participation: 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50832	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	グレノン イザベル	木2	10-303	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 Professional presentation skills 目標概要 The main objective of this course is to enable students to develop the skills necessary to properly organise, articulate and support their ideas, whether presented in written or oral form. These skills include the ability to give and reply to criticism, and to make effective use of PowerPoint. Although the class assignments will focus primarily on academic presentations, the skills developed throughout this class are applicable to other domains, such as the preparation of marketing pitches, job interviews, progress reports, and so on. This class combines a variety of in-class activities and homework (e.g. preparation of the script and PowerPoint for the formal presentations). Every student will be required to speak, one way or another, at every class. 評価方法 Preparation 30% Presentations 70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50833	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木2	10-203	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 アカデミックプレゼンテーション 目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。 評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 著者(訳者) : Susan M. Reinhart 出版社 : The University of Michigan Press ISBN : 9780472035090 ガイダンス 特に行わない。						
50834	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	平賀 優子	木2	152	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 英語発音演習－発音力から聴解力へー 目標概要 この授業では英語の発音力を磨いて聴解力の向上を目指します。発音練習(音読)は、模倣からのみでなく音声学の理論(特に、IPA: International Phonetic Alphabet)やシャドーイング、オーバーラッピングの手法を用いて行います。また、英語の学習の方法も随時紹介し、自学自習ができる能力を養成します。 評価方法 定期試験、平常点 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 英語音声の基礎と聴解トレーニング 著者(訳者) : 杉森 幹彦他 出版社 : 金星堂 ガイダンス 特に行わない。						
50835	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	木2	151	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 プレゼンテーションの基礎 目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の使い方についても学んでいく。 評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50836	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリーン	木2	103	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 Reading Texts 目標概要 This presentation-based course will use British drama texts to improve students' ability to speak more effectively in English. The goal of this course is to develop intelligible pronunciation, stress and intonation patterns through the reading of texts. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register, jargon and rhythm. Texts will be utilised to provide an opportunity for reproducing authentic speech and to improve comprehension. 評価方法 Grades will be based on individual or group presentations and written commentaries. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50837	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	土屋 和代	木2	154	1年 理一(6,11,30,39) 理二三(21)
講義題目 アメリカの黒人解放運動を読む 目標概要 奴隷としての身分から解放されて以降も「二級市民」としての地位を押しつけられてきたアメリカ黒人たちが、自らの権利を求め立ち上がった運動の歴史について、米国を代表する神学者ジェームズ・H・コーンの著作を読み、学ぶ。黒人解放運動の特色を理解するとともに、1960年代の社会運動が今日のアメリカ社会にどのような影響を与えているのかを考察する。 コーンの著作を通して、語彙、成句、パラグラフの構成や展開を学び、英文読解力を向上させる。また、関連する映画、ドキュメンタリーを視聴し、リスニング力を鍛えるとともに、背景となるアメリカの黒人解放運動と神学、20世紀の米国の歴史と文化についての理解を深める。 評価方法 出席・授業への貢献20%、定期試験50%、コメント及びレポート30% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50888	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	戸谷 陽子	木3	10-203	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 アカデミックプレゼンテーション 目標概要 大学での授業をはじめ、研究会やパネルディスカッションなど、アカデミックな状況において、英語で口頭発表を行うための方法とスキルを学び、ワークショップ形式で実践することにより、実際に使える技術として身につける。 評価方法 授業時の発表と課題提出、期末発表と最終ポートフォリオを総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Giving Academic Presentations, Second Edition 2nd ed. 著者(訳者) : Susan M. Reinhart 出版社 : The University of Michigan Press ISBN : 9780472035090 ガイダンス 特に行わない。						
50889	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	アンダル ジャクリン	木3	103	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 Reading Drama Texts 目標概要 This presentation-based course will use British drama texts to improve students' ability to speak more effectively in English. The goal of this course is to develop intelligible pronunciation, stress and intonation patterns through the reading of the text. Students will be expected to assimilate a range of features linked to oral fluency in a contextualised manner. The course will help students to experiment with language in terms of tone of voice, register, jargon and rhythm. Texts will be utilised to provide an opportunity for reproducing authentic speech and to improve comprehension. 評価方法 Grades will be based on individual or group presentations and written commentaries. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50890	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	中山 匡美	木3	10-303	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 ニュース英語でインプットからアウトプットへ 目標概要 日本の出来事、あるいは日本とも関係の深い世界的な出来事についてのニュースの英文を文字と音声で正しく理解し、ニュースで頻繁に使われる語彙や表現を自分の言葉として使えるようになることを目標とする。 評価方法 3回以上欠席した学生は評価の対象とならない。授業への参加姿勢、小テスト、課題、定期試験を総合して評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 時事英語の総合演習—2018年度版— 著者(訳者) : 堀江洋文、加藤香織、小西和久、宮崎修二、内野泰子 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-15626-2 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50891	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	久世 恭子	木3	149	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 “Language Myths” と “Pygmalion” 目標概要 言語に関する「神話」について言語学者が一般向けに解説するテキストを教材とし、読解力向上を目指すだけでなく、言語神話形成の背景にある社会問題や文化への関心も養う。また、内容に関連のある戯曲Pygmalionの読み合わせや映画My Fair Ladyの視聴などを取り入れることにより、文学的な作品の特徴にも触れる。 評価方法 授業参加・発表20、小テスト20、課題10、筆記試験 50 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Language Myths 著者(訳者) : Laurie Bauer & Peter Trudgill (eds.) 出版社 : Penguin ISBN : 978-0-14-026023-6 ガイダンス 特に行わない。						
50892	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	菅原 克也	木3	150	1年 文一二(17)文三(4,8)
講義題目 英語の短篇小説を読み味わう 目標概要 キャサリン・マンスフィールドの短篇“The Garden Party”と“Bliss”をテキストとして、英語で書かれた文学作品(小説)の読み味わい方を学ぶ。英語の文章の理解や文脈の把握において、あえて日本語に訳すという手続きを取り入れる。単に「訳す」だけではなく、文学のテキストとしての意味の把握を目指す。 評価方法 平常点(毎回の授業で何らかの課題の提出を求める) 30% 試験 70% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51039	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	広瀬 友紀	金1	E38	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 読むこと聴くことによる情報収集の訓練 目標概要 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。 評価方法 授業内外の課題・クイズの積み重ね 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51040	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金1	107	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions 目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world. 評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation. 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51041	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐藤 洋一	金1	10-303	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 Bridging comprehension and practice 目標概要 本コースでは、映像教材を用いて、英語圏の言語と文化の両方の理解を深めていくことを目指します。毎回の授業で英語圏の文化の理解に必要な、様々なトピックでの単語・熟語の学習を行います。また、題材となる教材の理解に必要な単語や熟語、文法項目の理解度チェックを行い、かつ学習した項目をベースに、実際の運用を考えていきます。 評価方法 本コースの評価方法は以下の通りです。 出席 20% 授業態度 20% 発表 20% 定期試験 40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51042	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	川崎 修一	金1	151	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 「学校では扱われない英語の文法や構文」に関する文献を読む 目標概要 本授業の目標は、一義的には学術的な英文を完璧に読むための読解力の養成である。また、学校文法で扱われることのない文法や構文などの言語現象に関する様々な文献を読み、英語についての洞察を深めることを第二の目標とする。 評価方法 小テスト (40%) と定期試験 (60%) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51043	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金1	K303	1年 文一二(13)文三(18) 理一(29)理二三(6)
講義題目 Reading and Listening to <i>The New York Times</i> 目標概要 インターネット版 <i>The New York Times</i> から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。 評価方法 平常点 (出席、予習状況を含む総合的学習態度) 約25% + 小テスト他の合計約35% + 定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合 (欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算) は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者 (訳者) : The New York Times 出版社 : The New York Times 毎回予習用に通達するURLから教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rateで1月までの定期購読を強く勧めます。https://www.nytimes.com/subscriptions/innyt/edu/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR ガイダンス 特に行わない。						
51122	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	遠藤 泰生	金3	102	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 海洋文化の歴史 目標概要 世界の大陸が探検踏査の対象となり、山や河が次々と「発見」されたのとは違い、海の底は人類にとって未踏のフロンティアで長くあり続けた。海の底に何があるのか、われわれが知ったのはそれほど昔のことではない。そもそも、海岸に出掛けて潮風にあたりといった文化が生まれたのだって、ごく最近のこと。そうした海洋文化の歴史を綴った研究書を読んでみる。歴史学・科学史・地域文化研究の専門書に慣れることに授業の目的をおく。不足している知識は、随時、授業で補う。 評価方法 授業への参加と語彙小テスト、および定期試験。 教科書 プリントを配布する。 書名 : Fathoming the Ocean: The Discovery and Exploration of the Deep Sea 著者 (訳者) : Helen M. Rozwadowski 出版社 : The Belknap Press of Harvard University Press ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51123	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金3	10-303	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome 目標概要 In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work. The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome. 評価方法 Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course. 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者(訳者) : Haddon, Mark 出版社 : Vintage ガイダンス 特に行わない。						
51124	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金3	103	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 Rhetorical Criticism 目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。 評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51125	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	寺澤 盾	金3	151	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 プレゼンテーションの基礎 目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。 評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51126	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	金3	153	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 英語で提供された情報の理解と分析 目標概要 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事を比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。 評価方法 テーマごとに行う小テスト、グループ活動、課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51127	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	清水 徹郎	金3	K303	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 Reading and Listening to <i>The New York Times</i> 目標概要 インターネット版 <i>The New York Times</i> から記事とビデオを選び、リスニングとリーディングの演習を行う。リスニングでは生の英語に慣れ、大意を把握できるようになることを目標とする。リーディングでは、用語・慣用表現に加えて、レトリックと論理の組み立てについても正確に読みとれるようになることを目指す。質疑・説明・ディスカッション等は、すべて英語で行う。授業の終わりに英語で短いコメントを書いて提出。また復習を兼ねた小テストを定期的に行い、語彙力の増進を図る。 評価方法 平常点(出席、予習状況を含む総合的学習態度) 約25%+小テスト他の合計約35%+定期試験約40%をめやすとする。欠席・遅刻の多い場合(欠席3回超、なお遅刻3回で欠席1回に換算)は、上記のめやすに関わらず「不可」の評価とする。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The New York Times (Digital Subscription at the Academic Rate) 著者(訳者) : The New York Times 出版社 : The New York Times 毎回予習用に通達するURLから教材記事へのアクセスは可能ですが、関連記事を読むにはデジタル版定期購読が必要なので、Academic Rateで1月までの定期購読を強く勧めます。https://www.nytimes.com/subscriptions/innyt/edu/lp8LXQ6.html?campaignId=6Y4QR ガイダンス 特に行わない。						
51128	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金3	107	1年 文三(9,13) 理一(24)理二三(8,11)
講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions 目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world. 評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation. 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics ガイダンス 特に行わない。						
51173	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ミルズ アンソニー	金4	10-303	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 Reading, Listening and Discussion in English: Asperger Syndrome 目標概要 In this course, you will develop your ability to understand written and spoken English. You will also have the chance to take part in discussion work. The course materials concentrate on the theme of autism in society, paying particular attention to Asperger Syndrome. 評価方法 Grading will be based on a combination of scores for written work and classwork. There is no final test but you will write several short texts in class and at home, some of which will be graded. You will also write a final essay of approximately 500 words (in English) at the end of the course. 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : The Curious Incident of the Dog in the Night-Time 著者(訳者) : Haddon, Mark 出版社 : Vintage ガイダンス 特に行わない。						
51174	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	勅使河原 三保子	金4	153	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 英語で提供された情報の理解と分析 目標概要 話題性のある事柄や現代社会の諸問題をテーマとしたオンライン記事を読んだり動画を視聴したりすることにより、英語で提供された情報の理解と分析の訓練を行います。同じテーマでも異なる見解に立って書かれた記事と比較したり、主張の根拠となる資料に当たってみたりします。また、様々な訛りのある英語にも触れる機会を持ち、ある程度聞き取れるようになるよう、英語圏以外の訛りのある英語を話す話者の動画も扱います。 評価方法 テーマごとに行う小テスト、グループ活動、課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51175	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	武田 将明	金4	150	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 Critical Reading of Literary Texts 目標概要 現代の英語圏文学を批評的に読む。批評的に読むためには、作品の書かれた背景を知ること必要だが、何よりも一定の長さの英文をじっくりと読み、前後の文脈やレトリックにも注意しながら、文学作品特有の意味の広がりを理解し、感じ取ることが重要である。 上記の目標を意識しながら、4篇の特徴の異なる作品を読むことで、英文読解のセンスを磨くことができるだろう。また、各自が批評的な読みを言語化するために、4本の英文エッセイを提出してもらい、その内容に基づいた英語のディスカッションも行いたい。事前に作品について深く考えることで、話すこと自体が得意でない人も議論に参加できるようになるはずである。 最終的には、英語を用いて批評的な言葉を話し、書くことへの動機づけができれば、今後の専門的な学習にも役立つことだろう。 評価方法 授業への貢献（出席だけではなく、講師の質問への解答や、学生からの良質な質問を元に貢献度を判定する、ディスカッションでの貢献もここに含まれる）30%、4本の英文エッセイ（150～250語程度）40%、定期試験 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51176	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	ポター サイモン	金4	107	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 An Introduction to Ethics in Various Traditions 目標概要 To provide an experience similar to learning from lectures at a top university in the English-speaking world, and to provide basic information and insights into important ethical concepts from various traditions, mostly religious, in the world. 評価方法 The course grade will be determined according to the summation of scores earned on the in-class activities. The key criteria are relevant information and validity of argumentation. 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : An Interview with Pranavichara about the Subject of Ethics ガイダンス 特に行わない。						
51177	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	佐竹 晶子	金4	151	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 Reading and Discussion: National Geographic 目標概要 National Geographic が協力して編纂した教科書を使い、専門的な内容の文章を読むための基礎力をつけ、映像を使って聞き取りの練習をする。更に、教科書で得た知識や各自が調べた情報をもとに英語でディスカッションをする訓練をする。 評価方法 毎週の課題と小テスト、授業の参加度70%、レポート30% 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Reading Explorer 5 著者（訳者）: Nancy Douglas, David Bohlke, Helen Huntley, Bruce Rogers, and Paul MacIntyre 出版社 : National Geographic/Cengage Learning ISBN : 978-1-285-847000-9 ガイダンス 特に行わない。						
51178	A	英語中級 (クラス指定セメスター型)	大橋 理枝	金4	103	1年 文一二(4,6,8)文三(17)
講義題目 Rhetorical Criticism 目標概要 コミュニケーション学の分野で扱われる「レトリック批評」の理論を学ぶと共に、それを応用して実際に作品を分析してみる。 評価方法 二度のグループ発表及び授業中に行う小テストの結果で総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50210	A	英語中級	ナルト デリック	月5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 “Success”: From Aristotle to Zuckerberg 目標概要 In this course, we will study “success” principles as understood by Western thinkers and innovators ranging from philosophers in Classical Greece to contemporary business thinkers/professionals. The purpose of the course, besides being to expose students to life questions that date back to ancient times and the ideas of the most influential thought leaders of our own era, is to help participants formulate their own definition of “success,” set concrete and achievable goals, improve their levels of self-confidence and self-awareness, and become more effective in their personal, academic, and work lives. 評価方法 Writing assignment: 20% Presentations: (2 x 15%) 30% Vocabulary quizzes: (2 x 10%) 20% Participation: 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50211	A	英語中級	サーギル ジェームズ クリストファー	月5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Geographies of Horror 目標概要 This comprehension-based course will introduce students to the role of geography in cinematic and literary horror, exploring the ways in which filmmakers and writers have tried to imagine the supernatural qualities of the world that surrounds them. Starting with a short introduction to cultural geography, the classes will move on to discuss specific English language examples of gothic, monstrous and ecological horror. You will be studying the works of a range of influential writers, including; M.R. James, H.P Lovecraft and Shirley Jackson. You will consider how the supernatural entities that appear in horror (ghosts, vampires, zombies etc.) can be seen to tell us about place and environment, expressing the complex relationship between people and the landscapes they inhabit. Using cultural geography as a backdrop for the course, students will examine the impact of horror on the way we think about and describe the threat of the natural world. A number of short readings will provide opportunities for class discussion in English, and develop comprehension of the texts that accompany the course. Students will be expected to read excerpts and short stories in English on a weekly basis as preparation for in-class activities and presentations. Furthermore, this course aims to help you develop your analytical skills in working with English language texts and audio-visual materials. 評価方法 Attendance, Participation and Engagement: 20% Research Paper: 50% Presentation: 30% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50212	A	英語中級	SHOKOUHI Marjan	月5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Introduction to Literature and the Environment 目標概要 This interdisciplinary course is aimed at teaching English via content, which includes a collection of literary and critical texts that address the interconnected relationship between culture and the environment. The course is designed to improve the students' proficiency in English while promoting critical thinking and raising consciousness towards current environmental issues. Students will acquire a better understanding of general and academic English by reading and analyzing literary texts enriched with cultural and environmental concepts. Practice opportunities are offered via classroom discussions, group work, and written assignments. 評価方法 Grade evaluation is based on participation in class, homework assignments, and final essay/project submission. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50297	A	英語中級	寺澤 盾	火2	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 プレゼンテーションの基礎 目標概要 本授業では、英語によって明晰かつ説得力のあるプレゼンテーションを行うことを目標にする。そのために、まず、モデルとなるプレゼンテーションのビデオを視聴し、その後、発表原稿の作成の仕方を学んでいく。併せて、発表に関する質疑応答のスキル、発表をより効果的に行うためのハンドアウトや視覚的資料の用い方についても学んでいく。 評価方法 授業への参加度、提出課題、プレゼンテーションなどを総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50298	A	英語中級	アンダル ジャクリーン	火2	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Immigration In Japan 目標概要 This introductory course to the study of labour migration focuses on the contemporary experience of Japan. Migration scholarship has frequently portrayed Japan as an exception when compared to other highly developed countries. This course examines whether this characterisation is valid and focuses on different forms of labour migration to the country, included undocumented migrant workers, female entertainers, trainees and Japanese-Brazilians. The course will examine the experiences of labour migrants from a variety of countries, including Korea, the Philippines, Indonesia, Nepal, Ghana and China. 評価方法 Grades will be based on class participation, seminar presentations and a short essay. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50771	A	英語中級	土屋 和代	水5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アメリカの女性解放運動 目標概要 アメリカ合衆国の歴史を、ジェンダーをキーワードに学ぶ。特に第二次大戦後の女性解放運動の歴史を扱った文献を取り上げ、運動の特色とその重層的性格について学習する。英文読解力を向上させるとともに、関連する映画、ドキュメンタリー等を視聴し、背景となる20世紀米国の歴史、社会、文化についての理解を深める。 評価方法 出席・授業への貢献20%、定期試験50%、コメント及びレポート30% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50773	A	英語中級	山本 史郎	水5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 翻訳演習 目標概要 本授業では、文学テキスト、実用的な文書など様々のジャンルの英語の文章を日本語に翻訳する。言うまでもなく、翻訳は、「英文解釈」でよく行われているように、単にある言語のテキストの構文・語彙を理解して、別の言語に移すというだけの作業ではない。誰が、誰に向かって、どのような目的で書いたのかということを含めて多様な角度からテキストを読み取る能力が必要とされる。実は、それこそが外国語を、読み、理解するということに他ならない。しかし、この外国語習得において当然のことが、一朝一夕に達成できるわけではない。本授業の目標は、翻訳の実践を通じて、受講者が「高度に英語を読むとはどういうことか？」ということ学び、将来の英語運用能力、及びより一般的な言語能力獲得のための礎を身に付けることにある。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 課題の提出、出席、授業への貢献度などが30%程度、定期試験の結果が70%程度。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51069	A	英語中級	ベティート ジョシュア	金2	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Technological Hauntings 目標概要 This class will consider the relationship of the occult to modern forms of media, including photography, the telegraph, television, and film. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 In-class worksheets, midterm and final examination 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51070	A	英語中級	広瀬 友紀	金2	E38	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 読むこと聴くことによる情報収集の訓練 目標概要 さまざまな社会問題や、科学的トピックを紹介するインターネット記事やドキュメンタリー映像教材をとおして、共通のトピックを軸にした複数の情報源から内容を読んで、聴いて理解する、情報の関連性を見いだす、知識を整理する、という訓練を繰り返します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語一列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業内外の課題・クイズの積み重ね 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51217	A	英語中級	ベティート ジョシュア	金5	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Technological Hauntings 目標概要 This class with consider the relationship of the occult to modern forms of media, including photography, the telegraph, television, and film. ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、英語演習②の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 In-class worksheets, midterm and final examination 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50774	A	英語上級	ダルグリーシュ ブレガム	水5	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. Reading, analysing and synthesising academic texts; 2. Presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. Taking part in seminars and academic discussions; 4. Structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. 評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51002	A	英語上級	野沢 恵美子	木5	K201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Contemporary Issues on Gender 目標概要 This course is designed to help students understand, analyze, and discuss contemporary gender issues through active learning. Each week, students will explore relevant topics by critically engaging with small group discussions and mini presentations on the week's topic. Through these activities, students will connect concrete examples with theories introduced in reading assignments. Students will also be able to develop their discussion and presentation skills. At the end of the course, students will complete a final writing project and present it in front of the class. 評価方法 英語で講義を行います。 25% Participation 25% Final Writing Project 20% Presentations 30% Homework 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51218	A	英語上級	ダルグリーシュ プレガム	金5	120	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Ideas and Thinkers 目標概要 Thought is the means by which we elaborate who we are, assert our membership of a culture, authorise institutions within society, and make claims upon each other. Indeed, without any philosophical reflection upon society and politics, life today would have neither rationale nor articulated meaning. It is thus precisely at the cross-roads between our daily practices and taken for granted ideas that this course is situated in terms of an examination and critical analysis of a range of texts at the core of the intellectual inheritance of the West. Objectives: 1. Reading, analysing and synthesising academic texts; 2. Presenting, elaborating and defending arguments orally; 3. Taking part in seminars and academic discussions; 4. Structuring and organising ideas in a coherent and logical written form. 評価方法 Student presentation (individually or in groups, depending on student enrolment for the course) = 30%; Seminar participation = 30%; End of semester written short response paper = 40%. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

ドイツ語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 In dem Kurs werden überwiegend Grammatik- und Gespraechs-, durchgeführt, die sich an den Themen des Lehrbuchs orientieren, das auch in der ersten Reihe verwendet wird, und zwar von Lektion 12 bis 18. 一列の授業で学習する教科書のテーマ（12課～18課）に沿った文法と会話の練習をおこなう。			
成績評価方法 出席、および授業中の積極的な参加を平常点として成績評価に入れる。期末に筆記および口頭によるテストを行う（平常点30%、筆記試験35%、口頭試験35%）。			
教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ドイツ語共通教科書『Einblicke』 著者（訳者）：東京大学教養学部ドイツ語部会編			
関連ホームページ http://deutsch.c.u-tokyo.ac.jp/			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50023	月1	大石 紀一郎	10-303	1年 文科(TLP)
50061	月2	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(15)
50165	月4	オブヒュルス 鹿島	112	1年 文一二(20)
50172	月4	SCHWARZ Thomas	105	1年 文三(16)
50726	水4	ヘルマン ゴチェフスキ	学際交流 ホール	1年 文一二(22)
50904	木3	SCHWARZ Thomas	105	1年 文一二(21)
50957	木4	クリスティアン クリンク	K114	1年 文三(14)
51086	金2	石原 あえか	10-304	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50021	A	ドイツ語初級（演習）	大石 紀一郎	月1	10-303	1年 理科
講義題目 TLPドイツ語 目標概要 ドイツ語の実践的な運用能力をさまざまな練習を通じて養成することをめざす。 評価方法 TLPクラスとして適切な評価を行う。授業への積極的な参加等により平常点の評価を行い、Kaufmann先生の時間内に複数回行う予定の試験と併せて、総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Passwort Deutsch 2および3 著者（訳者）: Ulrike Albrechtほか 出版社 : Ernst Klett Sprachen 教科書の購入については授業で指示する。 ガイダンス 特に行わない。						
51085	A	ドイツ語初級（演習）	石原 あやか	金2	10-304	1年 理科
講義題目 ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要 トライリンガル・プログラム用の演習に当たる。ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のA2レベルに対応する基本的言語運用能力を養成する。 各自が指定クラス（1列・2列）で習得した文法的知識をもとに、さまざまな応用練習、読み物、会話などによって補いながら、ドイツ語能力の基礎を確実なものとする。週2回のネイティブ教員（クリンク先生）による授業と連動して、発展的な学習を進める。 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 （詳しい評価や受講上の注意等は授業で説明します）。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Passwort Deutsch 2 および 3 （Kurs- und Übungsbuch mit Audio-CD） 著者（訳者）: Ulrike Albrecht, Christian Fandrych et. al. 出版社 : Klett ISBN : 978-3-12-676413-1、978-3-12-676416-2 購入方法等は授業中に指示します。 ガイダンス 特に行わない。						
50299	A	ドイツ語初級（演習）	日名 淳裕	火2	1211	1年 理科
講義題目 ドイツ語初級（演習） 目標概要 一年理科学を対象として、ドイツ語の話す、書く、聞く、読む力をバランスよく養うことを目的とする。語彙を増やし、既習文法の確かな定着を図りつつ、その応用・実践を試みる。 評価方法 授業への積極的な参加50％、課題30％、プレゼンテーション20％で評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50800	A	ドイツ語初級（演習）	中丸 慎子	木1	515	1年 理科
講義題目 ドイツ語初級文法の復習と読解・聞き取り・発音・作文への応用 目標概要 必修の初修外国語としてドイツ語を受講している理系の1年生を対象とした授業である。共通教科書で学ぶ文法項目に準拠しながら、読解、聞き取り、発音、作文の練習を通じて、基礎力の定着とドイツ語の実践をめざす。 評価方法 平常点と授業内試験。 試験の方法や内容は授業の方法（UTASシラバス【授業の方法】記載のA. ～E. の比重、内容）によって変動するため、第1回の授業での相談内容に応じて確定する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50300	A	ドイツ語初級（会話）	SCHWARZ Thomas	火2	101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目Konversation (Grundstufe) 目標概要Im Zentrum des Kurses steht die Arbeit mit dem Lernroman „Der Auftrag“ von Hans Magnus Enzensberger (Kopien werden bereitgestellt). Die Studierenden trainieren ihr Hörverständnis und ihre kommunikative Kompetenz. Sie lernen, wie man eine Geschichte erzählt, die Handlung eines Buches wiedergibt und die eigenen Reaktionen auf das Gelesene beschreibt. 評価方法2 Tests, Hausaufgaben und mündliche Abschlussprüfung (kursintern) 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						
51003	A	ドイツ語初級（作文）	原田 晶子	木5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目ドイツ語初級（作文） 目標概要初修ドイツ語をフォローする授業です。ドイツ語を書く練習し、ドイツ語特有の文の構造に慣れることにより、より深くドイツ語の文法を学んでいきます。ネイティヴに通じるドイツ語を書くことを目指します。 評価方法平常点と定期試験で、総合的に判断します。 (2/3以上出席していない場合、定期試験は受験できません) 教科書授業中に指示をする。 ガイダンス特に行わない。						
50775	A	ドイツ語初級（表現練習）	ククリンスキ ルーベン	水5	516	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目ドイツ語初級（表現演習）、Deutsch fuer Anfaenger/innen 目標概要初めてドイツ語を学ぶ学生をめざし、日常生活における基礎的なドイツ語表現の運用能力を養う。授業の目標はドイツ語圏における認定試験“Goethe Zertifikat A1”に必要なドイツ語能力の養成にある。授業の重点は基礎的な会話にあり、練習は日常会話の実際的な口頭練習及び語彙を増やす練習を中心とする。 評価方法平常点（授業への参加・宿題・出席率）・小テスト・定期試験（口頭試験）を総合的に評価する。中でも授業への積極的な参加を高く評価する。 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス第一回授業日に行う。						
50318	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	クリスティアン クリンク	火2	K114	1年 文科 理科
50786				水5	K114	
講義題目ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrektion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA 1 レベルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、A 2 レベルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Passwort Deutsch 3 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 出版社：Klett ISBN：978-3-12-676416-2 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50319	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	火2	10-102	1年 文科 理科
51084				金2	10-102	
講義題目ドイツ語演習（TLPクラス指定科目） 目標概要In dem Kurs werden die im 1. Semester erworbenen Kompetenzen Hören, Lesen, Sprechen und Schreiben weiter ausgebaut. Der Kurs richtet sich an Lerner auf dem Niveau A1 und soll zum Niveau A2 des Gemeinsamen europäischen Referenzrahmens führen. Die Teilnehmer lernen, Alltagsgespräche zu führen, verschiedene anwendungsbezogene Textsorten zu verstehen und Texte zum Informationsaustausch zu verfassen. Die grammatischen Schwerpunkte sind Nebensätze, Deklination der Adjektive und Verbrenktion. この授業では、Sセメスターで習得した、聴く・読む・話す・書く能力をさらに発展させます。授業は、ヨーロッパ参照枠でA 1 レヴェルのドイツ語力をもつ受講生が対象で、 A 2 レヴェルに高めることが目標です。受講者は、日常会話、テキスト読解、情報交換のための文章を作成することを学習します。文法事項としては、副文、形容詞の格変化、動詞の格支配に重点を置きます。 評価方法Die Bewertung erfolgt aufgrund der aktiven Beteiligung im Kurs, sowie der Qualität regelmäßiger Hausausaufgaben und Tests. Regelmäßige Teilnahme wird vorausgesetzt. 授業への積極的な参加、宿題、試験によって総合的に評価します。やむを得ない場合を除き、授業には毎回出席することを前提とします。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Passwort Deutsch 3, 5-bändige Ausgabe 著者（訳者）：Ulrike Albrecht et al. 出版社：Klett ISBN：978-3-12-676416-2 ガイダンス特に行わない。						
50776	A	ドイツ語初級（インテンシヴ）	I・カウフマン	水5	10-102	1年 文科 理科
51219				金5	10-102	
講義題目ドイツ語初級（インテンシヴ） 目標概要一列・二列で学んだ基礎的なドイツ語の知識を実践的に練習して、読む・聴く・話す・書く能力の定着を図ります。 単位取得を希望する参加者は同一の教員が担当する2コマ(水曜5限・金曜5限)を履修してください。並行して開講される他のインテンシヴコースを履修することはできません。 30名程度を上限とし、履修希望者が多い場合は、他のコースを履修することが困難な希望者の履修を優先します。 なお、Aセメスターからの履修も可能です。教科書は教員が必要部数を取り寄せて授業中に販売します。 評価方法成績評価は平常点および試験によって行う。 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und regelmäßiger Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. 規則的、そして積極的な参加が前提とされる。 評価はゼミにおける貢献の質、宿題および規則的なテストによって行われる。 教科書次の教科書を使用する。 書名：Studio 21, Grundstufe A1: Gesamtband 著者（訳者）：Funk, Hermann et al. 出版社：Cornelsen ISBN：978-3-06-520526-9 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51004	A	ドイツ語初級（第三外国語）	クリスティアン クリンク	木5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Deutsche Grammatik / German Grammar (Anfänger / Beginner) 目標概要 Dieser Kurs ist für Studierende ohne Vorkenntnisse der deutschen Sprache konzipiert (Stufe A1 des Europäischen Referenzrahmens). Im Mittelpunkt steht die Vermittlung der grundlegenden deutschen Grammatik. Durch diverse Übungen sollen grundlegende sprachliche Fähigkeiten (Hören, Lesen, Schreiben, Sprechen) erlernt werden. This course is designated for students without any previous knowledge of German (Level A1 of the European Reference Framework). The course focuses on the foundation of the German grammar. Through various exercises, students are taught the essentials of the language (listening, reading, writing, speaking). 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Qualität der Beiträge im Seminar, den Hausaufgaben und Tests. Regelmäßige und aktive Teilnahme werden vorausgesetzt. Relevant for the evaluation are the quality of the contribution in class, homework as well as tests. Regular attendance and active participation are a prerequisite. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51220	A	ドイツ語初級（第三外国語）	山口 裕之	金5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 初級ドイツ語 目標概要 第三外国語としてドイツ語の基礎を学びたい人のための授業である。1学期間でドイツ語文法のもっとも基本的な事柄を学ぶ（ABCから接続法まで）。簡単な会話の表現にも触れる。 評価方法 平常点と定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : アプライゼ 伝え合うドイツ語 著者（訳者）：高橋亮介・川名真矢 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 9784255254067 ガイダンス 特に行わない。						
50301	A	ドイツ語中級（演習）	久保 哲司	火2	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語中級（演習） 目標概要 ドイツ語の初級文法を一通り終えた学生を対象に、実践的な力を養うための読解・発音・聞き取り・口頭表現などの練習を行います。あわせてドイツの生活のいろいろな面、とくにドイツでは当然とされているが、日本人にとっては意外な事柄に触れてみたいと思います。 評価方法 平常点と試験によって行います。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : CD付き ドイツ人の生活を知る11章 著者（訳者）：大谷弘道 出版社 : 三修社 ISBN : 978-4-384-13094-2 ガイダンス 特に行わない。						
50777	A	ドイツ語中級（会話）	SCHWARZ Thomas	水5	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Konversation (Mittelstufe) 目標概要 Im Kurs besprechen wir kontroverse Themen aus verschiedenen Bereichen wie Politik und Kultur. Sie lernen, Ihre Meinung zu erklären und zu begründen, indem Sie Vor- und Nachteile verschiedener Problematiken gegeneinander abwägen. 評価方法 2 Tests, Hausaufgaben und mündliche Abschlussprüfung (kursintern) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50213	A	ドイツ語中級（作文）	クリスティアン クリンク	月5	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語中級作文 Schreibübungen (Mittelstufe) 目標概要 様々なテーマについてドイツ語で表現する練習をする。 In diesem Seminar lernen die Studierenden, wie man Texte auf Deutsch zu verschiedenen Themen schreibt. Sie erwerben die Fähigkeit, Texte zu gliedern, Inhalte zusammenzufassen und kritisch zu erörtern. 評価方法 2度の課題提出。 2 benotete Texte. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50214	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	月5	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Deutsch als Fremdsprache (integrierter Intensivkurs) 目標概要 Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden lernen, sich auf einfache Art zu verständigen. Der Kurs vermittelt die notwendigen Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur. 評価方法 2 Tests / Hausaufgaben (Evaluation erfolgt kursintern) 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : studio 21. Grundstufe A1.2 (= Teilband 2). Das Deutschbuch 著者（訳者）: Funk, Hermann / Kuhn, Christina 出版社 : Cornelsen ISBN : 978-3-06-520532-0 ガイダンス 特に行わない。						
51005	A	ドイツ語中級（インテンシヴ）	SCHWARZ Thomas	木5	115	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Deutsch als Fremdsprache (integrierter Intensivkurs) 目標概要 Im Zentrum dieses Kurses steht die Kommunikation im Alltag auf Deutsch. Die Studierenden lernen, sich auf einfache Art zu verständigen. Der Kurs vermittelt die notwendigen Grammatikkenntnisse und thematisiert verschiedene Aspekte der deutschen Kultur. 評価方法 2 Tests / Hausaufgaben (Evaluation erfolgt kursintern) 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : studio 21. Grundstufe A1.2 (= Teilband 2). Das Deutschbuch 著者（訳者）: Funk, Hermann / Kuhn, Christina 出版社 : Cornelsen ISBN : 978-3-06-520532-0 ガイダンス 特に行わない。						
50215	A	ドイツ語上級（演習）	オブヒュルス 鹿島	月5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Übungen zur mündlichen Kommunikation (口頭表現の練習) 目標概要 Der Zweck dieses Kurses ist es, mit Hilfe von DVDs und entsprechenden Übungen dazu, die kommunikativen Fähigkeiten (Hörverständnis, Sprech- und Kommunikationsfähigkeit, Entwicklung des Vokabulars) der Teilnehmer auszubauen. 評価方法 Regelmäßige Anfertigung der Hausaufgaben und Tests. Aktive Teilnahme wird vorausgesetzt. 平常点（出席、宿題）および試験によって行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51006	A	ドイツ語上級（会話）	I・カウフマン	木5	10-102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドイツ語上級（会話） 目標概要 Der Kurs richtet sich an Studenten, die die Stufe B1 erreicht haben und ihre Fähigkeiten festigen und weiter ausbauen wollen. Obwohl alle Fertigkeiten einbezogen werden, soll der Schwerpunkt auf dem mündlichen Ausdruck liegen. 評価方法 Die Bewertung erfolgt aufgrund der Beiträge im Kurs, schriftlichen Hausaufgaben und Präsentationen. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50302	A	ドイツ語上級（読解）	香田 芳樹	火2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ユダヤ人作家Erich Friedのエッセーを読む 目標概要 ウィーン生まれのユダヤ人作家Erich Fried (1921-1988) のエッセーを講読します。フリードは抒情詩人として有名ですが、平易な言葉で書かれた詩情あふれる優れた散文を数多く残しました。ユダヤ人であったため、ナチスの迫害を逃れ、ロンドンに亡命した彼は、終生ファシズムの厳しい批判者でしたが、彼の批判精神にはウィーン人特有のウィットとアイロニーとユーモアがあふれています。ウィーンでの少年時代の思い出や、ロンドンでの亡命生活や、アウシュヴィッツ訪問記などさまざまな作品を取り上げる予定です。戦前と戦後の厳しい時代を生きた証人としての彼のエッセーを読むことで、70年後の現在に生きる私たちの立ち位置を確認することにもなるのではないのでしょうか。 評価方法 平常点（2／3以上の出席）と定期試験（筆記）により総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

フランス語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 一列・二列で文法および講読の基礎を学習していることを踏まえ、演習では発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などを行う。 この授業科目は文科生を対象としたものであるが、理科生に対しては、これに相当するものとして、国際コミュニケーション「フランス語初級（演習）」が開講されているので、積極的に参加してほしい。			
成績評価方法 平常点（宿題、出席、発言等）と定期試験で総合的に評価する。			
教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『Rythmes & communication (リズムコミ！ フランス語会話)』 著者（訳者）：アルベリック・ドリブル、ベアトリックス・ファイフ、寺田寅彦 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-225-35275-6			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50167	月4	デルヴロワ ミカエル	10-205	1年 文一二(26)
50322	火2	DE VOS PATRICK HENRI	10-202	1年 文科(TLP)
50325	火2	寺田 寅彦	105	1年 文科(TLP)
50368	火3	ビゼ	10-102	1年 文一二(23)
50484	火4	ビゼ	10-102	1年 文一二(24)
50616	水2	ファイフ ベアトリックス	10-103	1年 文一二(27)
50617	水2	アルベリック ドリブル	10-102	1年 文一二(28)
50696	水3	ファイフ ベアトリックス	10-103	1年 文一二(25)
50731	水4	アルベリック ドリブル	10-202	1年 文三(20)
51130	金3	マルティネル ルイ	10-203	1年 文三(17)
51131	金3	ビゼ	10-102	1年 文三(19)
51182	金4	アガエス ジュリアン	10-203	1年 文三(18)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ⅰ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50216	A	フランス語初級（演習）	デルヴロワ ミカエル	月5	102	1年 理科
講義題目 フランス語初級（演習） 目標概要 一列・二列での学習内容を踏まえながら、発音や作文、初歩的な会話の練習、文法や講読の応用練習などをおこないます。文科生の必修授業「フランス語初級（演習）②」に対応する授業内容を理科生に向けて開く、ということが趣旨です。 評価方法 開講時に指示する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50320	A	フランス語初級（演習）	寺田 寅彦	火2	105	1年 理科
講義題目 T L Pフランス語演習（1年次） 目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者）: Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50321	A	フランス語初級（演習）	DE VOS PATRICK HENRI	火2	10-202	1年 理科
講義題目 T L Pフランス語演習（1年次） 目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者）: Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ISBN : 978-2090386059 ガイダンス 特に行わない。						
50303	A	フランス語初級（会話）	ラタンジオ リリアンヌ	火2	10-103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語・フランス文化入門 目標概要 この授業は、フランス文化とフランス語の基礎を学ぶことを目標としています。日常生活で用いられる表現の習得と実践を通して、フランスの生活風景の一端に触れ、新たな世界を発見することを目指します。 フランス語で、挨拶や基本的な会話を繰り返し練習する。 評価方法 授業時間中の参加度による平常点と定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amicalement Plus 著者（訳者）: 澤田直、ラタンジオ リリアンヌ、黒川学 出版社 : 駿河台出版社 ISBN : 9784411011275 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51221	A	フランス語初級（作文）	斎藤 かぐみ	金5	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（作文） 目標概要 作文という方法を通じて、初級文法の確認もしながら基本知識を確立し、かつ肉づけしていきましょう。教科書の主要項目は次の通り：êtreを使う、avoirを使う、名詞と冠詞、形容詞、疑問表現、否定表現、命令表現、faire, prendreを使う、目的語の人称代名詞、中性代名詞、自動詞としても他動詞としても使う動詞、代名動詞、関係代名詞、非人称構文、過去分詞の性・数一致、比較級・最上級、論理関係を示す接続詞。 評価方法 平常点と定期試験を総合的に評価。平常点としては、授業への参加状況および宿題あるいは小テストの出来具合を考慮します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : À vous d'écrire(フランス語で書こう！) 著者（訳者）：佐藤久美子、佐藤領時 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-06121-3 ガイダンス 特に行わない。						
51007	A	フランス語初級（読解）	鈴木 順子	木5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（読解） 目標概要 受講者の中には初級文法に未修項目がある人もいることを踏まえつつ、文法の学習を並行して進めながら、授業を行う。文学作品の読解によって、語彙力、読解力のさらなる向上を図る。珠玉の名作の講読を通して、フランスの文化と社会の理解を深めていきたい。 評価方法 授業への参加状況および定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Le Petit Prince 著者（訳者）：Antoine de Saint Exupery 出版社 : Gallimard (1999/2/28)もしくはMariner Books (2001/9/4) ISBN : 978-2070408504もしくは978-0156013987 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51071	A	フランス語初級（読解）	石橋 正孝	金2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語のBD(漫画)を読む 目標概要 比較的高度なフランス語の文章に接して読解力を高めると同時に、その聞き取りができるようにする。 評価方法 平常点 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Les cigares du pharaon 著者（訳者）：Herge 出版社 : Casterman ISBN : 9782203003064 ガイダンス 特に行わない。						
50024	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	月1	10-202	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース（1年次） 目標概要 T L P（トライリンガル・プログラム）履修生のための授業。一列・二列（文法と講読）、演習（T L P用）、そしてインテンシヴ・コース（T L P用）を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者（訳者）：Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50025	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月1	10-203	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ガイダンス 特に行わない。						
51087	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	金2	10-303	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ガイダンス 特に行わない。						
51225	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	金5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 T L Pフランス語インテンシヴ・コース (1年次) 目標概要 T L P (トライリンガル・プログラム) 履修生のための授業。一列・二列 (文法と講読)、演習 (T L P用)、そしてインテンシヴ・コース (T L P用) を合わせて、集中的にフランス語の基礎を学び、レベルの高い運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、授業への参加態度などから総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Amical Niveau 2 著者 (訳者) : Sylvie Poisson-Quinton, Evelyne Sirejols 出版社 : CLE International ガイダンス 特に行わない。						
50217	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アルベリック ドリブル	月5	10-202	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 (インテンシヴコース) 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、水曜日5限の授業 (フランス語初級 (インテンシヴ)、ファイフ) も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します (学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと)。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50778	A	フランス語初級(インテンシヴ)	ファイフ ペアトリクス	水5	10-103	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（インテンシヴコース） 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、ドリブル）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 ガイダンス 特に行わない。						
50218	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	月5	10-203	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（インテンシヴコース） 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、木曜日1限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 ガイダンス 特に行わない。						
50801	A	フランス語初級(インテンシヴ)	アガエス ジュリアン	木1	10-203	1年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（インテンシヴコース） 目標概要 このクラスは全てフランス語でなされます。インテンシヴコースの枠内でおこなわれる2つの授業のうちの1つで、フランス語をより深く勉強したい学生向きに開講されています。インテンシヴコースには、オーラルがポイントとなります。ビデオを使用し、理解力と表現力、会話力を培う授業があり、さらにその授業で学習した語彙や文法構造を実際に用いる授業があります。このクラスを受講する学生は、月曜日5限の授業（フランス語初級（インテンシヴ）、アガエス）も受講しなくてはなりません。SセメスターとAセメスターを通して履修することは必修ではありませんが、年間を通して履修することが望まれます。 評価方法 履修者の規則正しい出席を前提としています。宿題、定期試験によって評価をします。 教科書 開講時に指示します（学期開始の時点ですでに教科書が販売されていても初回終了までは購入しないこと）。 ガイダンス 特に行わない。						
50219	A	フランス語初級（第三外国語）	中田 健太郎	月5	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（第三外国語） 目標概要 Sセメスターの同名の科目にひきつづき、フランス語の初級文法を理解する。フランス語の発音の規則を学び、テキストを音読できるようになる。仏和辞典の引き方を理解する。 評価方法 平常点（授業への積極的参加や小テストの結果）および定期試験によって総合的に判断する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：フランス文法要説(第3版) 著者（訳者）：石井洋二郎 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4255352589 上記教科書以外については、別途プリント配布もしくは指示する。 ガイダンス 第一回授業日に行く。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50641	A	フランス語初級（第三外国語）	須藤 佳子	水2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級（第三外国語） 目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。フランス語を正しく音読できるようにする。 評価方法 平常点（授業参加度・宿題・小テスト）と定期試験の点数を併せて評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ル・フランセ・ファシル 著者（訳者）：斎藤 昌三 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560060698 ガイダンス 特に行わない。						
50779	A	フランス語初級（第三外国語）	小野 潮	水5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語初級 目標概要 フランス語の初級文法の骨格を理解する。 フランス語のテキストを正しく音読できるようにする。 辞書を引きながら簡単なフランス語を理解できるようにする。 評価方法 定期試験 教科書 プリントを配布する。 書名 : 新・東京ーパリ、初飛行 著者（訳者）：藤田裕二、藤田知子、シルヴィー・ジレ 出版社 : 駿河台出版社 ISBN : 978-4-411-01124-4 ガイダンス 特に行わない。						
50304	A	フランス語中級（演習）	COUCHOT Herve	火2	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語既習 目標概要 フランス語中級程度の講読および会話のクラス。履修者の学力に応じた指導を行う。francophoneが担当する。 Présentation de la France et de l'Europe d'aujourd'hui à partir d'un film étudié par extraits (L'auberge espagnole de Cédric Klapisch, 2002) 評価方法 平常点（授業への参加）＋定期試験（ディスカッション） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51210	A	フランス語中級（会話）	ビゼ	金4	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Conversation 目標概要 Ce cours a en général pour thème une question liée à l'art moderne. Le thème est choisi en fonction du niveau des étudiants. 評価方法 Un examen oral en fin de semestre. 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50758	A	フランス語中級（作文）	DE VOS PATRICK HENRI	水4	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Entraînement à l'expression écrite en français 目標概要 Ce cours sera consacré à des exercices de thème proposés à partir de textes relevant de divers registres (epistolaire, dramatique, journalistique, littéraire ou théorique). L'accent sera mis sur les problèmes spécifiques que posent la traduction du japonais en français sur différents plans : lexique, syntaxe, organisation sémantique et stylistique du discours. 評価方法 L'évaluation sera faite en tenant compte de l'assiduité, de la participation au travail collectif en classe et d'un exercice final. 教科書 教科書は使用しない。 コピーを配布 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50305	A	フランス語中級（読解）	中島 ひかる	火2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス時事問題に関する新聞・雑誌記事の講読 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 フランス現代のニュース記事を取り上げ講読することで、フランス語の読解力を高めるとともに、現代の時事問題に使われている語彙や表現を知る。また、フランスやヨーロッパの文化や社会、政治・経済に対する関心を高める。フランス社会の特徴が良く現れているニュースを幅広く取り上げる予定だが、あくまで語学の授業であるため、ニュースの背景について、授業で深く分析することはしない。また、どの記事を選ぶかは、原則として受講者の自主性に委ねるので、自らの学力・関心に合わせて記事を選んでもらって構わない。 評価方法 受講者が7人程度の場合は原則試験は行わず、授業中の発表で評価する。 受講者が多い場合は授業の準備80%、レポート20%程度で評価する。 3分の1以上欠席したものは評価の対象としない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50869	A	フランス語中級（読解）	関俣 賢一	木2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 現代フランス小説読解入門 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 ジャン＝クリストフ・リュファンの短編集 <i>Sept histoires qui reviennent de loin</i> (Gallimard, 2011) を読む。 本書にはタイトル通り、7つの短編小説が収められている。文章は端正だが平易で読みやすく、中級フランス語の授業で講読するには適しているだろう。初級文法の確認、中・上級文法への導入などを行いながら、読解力の向上を目標とする。 物語はフランスのみならず、モザンビーク、キルギス、モーリシャス、スリランカなど世界各地を舞台としており、各地の政治・文化・宗教などの社会的状況が物語の肝になることもある。あくまで語学の授業であるため、社会的状況の分析に深く立ち入りはしないが、小説のみならずそうした多様な領域の文章を読むための導入としても良い機会となるだろう。 評価方法 受講者の人数によって異なるが、基本的に平常点（授業参加度）を重視する。 少人数の場合は平常点のみでの評価もありえるが、場合によっては試験やレポートを課すことがある。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51072	A	フランス語中級（読解）	増田 一夫	金2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 簡単なフランス語で読む現代フランス社会 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 フランス語テキスト分析Ⅱ として開講される。 履修者と一緒に高尚な古典に挑戦したいという願望はつねに抱いていますが、この授業ではいままで学んだ知識であまり無理なく理解できるテキストを取り上げます。 読解が中心の授業です。今年度は実践的なフランス語を重視したクラスが多いので、そのようなクラスに所属している方々は文法を学ぶ機会としても利用してください。また、文法を中心に進めてきた方々は文法的知識を確認する機会としても参加してください。 なお、音声付きの教材を用いるので、読み方、聞き取りの練習をすることもできます。 平易な構文で書かれた文章に触れることで、1年次に学習する諸要素を有機的に活用し、定着させることを授業の目標としています。 また、フランス独特の切り口で書かれているため、フランス文化を理解する助けともなるはずです。 評価方法 平常点（出席、課題、授業の参加度）、および試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50780	A	フランス語上級（演習）	デルヴロワ ミカエル	水5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 フランス語上級（演習）／ French Language (Advanced) 目標概要 このクラスでは方法論をもとにフランス語作文を簡単な作文を実現する為のコツ・技術を学ぶ。まず、それぞれのテーマに取り組む前に基礎文法のポイントを確認する：代名詞、現在・過去・未来形の活用、間接話法など。フランス語の例文を見て、その真似をすることから体系的に表現できるようになる。学生が自分の意見を表現する練習として、教師は授業中は積極的にフランス語で問いかける。Aセメスターからは宿題を中心にして作文の論拠をまとめる技術を身に付ける。 Delf A2やDelf B1・B2レベルの作文練習を用いる。自分の意見をまとめ、実際にフランス語でフォーマルな手紙・履歴書・モチベーションレター・新聞記事などのような作文を作り、フランス人とのやりとりやフランスで仕事をするのに役立つコミュニケーション技術を身に付けることを目指す。 評価方法 作文を宿題として毎週お願いする。作文の宿題で評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50199	A	フランス語上級（会話）	アガエス ジュリアン	月4	10-203	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Cours de conversation en français niveau avancé (DEL F B1/B2) 目標概要 Nous allons étudier l'actualité des pays francophones et discuter à propos de sujets variés. Nous demanderons également aux étudiants de participer à l'élaboration du programme afin d'étudier des thématiques qui les concernent et pour lesquelles ils ont un intérêt. 評価方法 Examen final, présentations, attitude et participation en classe. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50155	A	フランス語上級（読解）	今橋 映子	月3	8-319	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 【パリの写真家・ブラッサイのテキストを読むー写真論入門】 目標概要 20世紀には、パリを拠点として都市写真の新たな展開が見られた。この授業では、ハンガリー（トランシルヴァニア）出身の写真家ブラッサイ（Brassaï, 1899-1984）の文章を中心に、パリ神話がどのように醸成されていったのか、その現場を見ることにする。ブラッサイは1920年代亡命者としてパリに来て、画家や彫刻家など様々な芸術表現の中から苦しみながらも写真家の道を選んだ。ドイツ占領下の時代にはピカソやプレヴェールの良き友人であり、戦後はフランスに帰化して、フォトジャーナリズムにおける確固たる仕事を貫いた。ベンヤミンの都市論、写真集『夜のパリ』『1930年代秘密のパリ』『落書き』などの文章や、グラフ雑誌に掲載された実際の記事など、様々な角度から書かれた文章を精緻に読み解くことで、フランス語力を上げると共に、都市写真の魅力を知り、写真論の基礎を学ぶ授業としたい。 参加者は、フランス語の文法を一通り学習していること（接続法まで）を条件とする。特にブラッサイという人物や写真（学）に関する知識がなくて構わないが、この授業を通して写真を学ぶ意欲のある参加者を期待する。 評価方法 出席および発表、期末小レポートによって評価する。 教科書 初回授業に指示する（コピー製本の予定） ガイダンス 第一回授業日に行う。						

中国語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。Sセメスターの続きから始める。 ※TLPクラスは教科書が異なるため各クラスのUTASで確認をすること。			
成績評価方法 繰上げ試験と小テストなど			
教科書 次の教科書を使用する。 書名：基礎汉语 口语演习教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著			
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50049	月2	林 立梅	157	1年 文一二(16)
50164	月4	王 嵐	106	1年 文一二(18)
50249	火1	喬 志航	101	1年 文一二(15)
50724	水4	中原 裕貴	157	1年 文一二(14)
50825	木2	鄧 芳	149	1年 文一二(17)
50827	木2	賈 黎黎	121	1年 文三(10)
50828	木2	白 春花	162	1年 文三(11)
50951	木4	柴 森	107	1年 文一二(19)
50956	木4	李 雲	164	1年 文三(13)
51129	金3	張 玉萍	108	1年 文三(12)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50306	A	中国語初級（演習）	李 洵	火2	107	1年 理科
講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 定期試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 基礎汉语 口语演习教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著 ガイダンス 特に行わない。						
51008	A	中国語初級（演習）	李 雲	木5	164	1年 理科
講義題目 中国語の基礎を固めるトレーニング 目標概要 一列、二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。一年を通して基礎的な聞き取り、会話能力を身につけることを目標とするため、授業ではできるだけ中国語を使用する。 評価方法 定期試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 基礎汉语 口语演习教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会編・李佳樑著 ガイダンス 特に行わない。						
50019	A	中国語初級（会話）	林 立梅	月1	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語による会話能力をつけるトレーニング 目標概要 基礎科目として中国語を半年以上学んだ学生を対象とする。学習した基礎文法を確認しながら、初歩的な会話能力を身につけることを目標とする。 評価方法 平常点（出席、授業参加状況など）と期末発表 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50530	A	中国語初級（会話）	毛 興華	火5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語で話そう 目標概要 初級段階で学習した文法事項や語彙などを実会話で使えるようにすることを目的としている。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修中国語二列②の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 授業中のパフォーマンス、期末発表会 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 快樂学漢語・説漢語 初中級 中国語会話 著者（訳者）：江秀華、李軼倫 出版社 : 早稲田大学アカデミックソリューション ISBN : 978-4-903049-41-0 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51073	A	中国語初級（会話）	賈 黎黎	金2	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級会話 目標概要 中国語の入門段階を終えた学生を対象とした初級中国語の会話の授業です。基礎的な中国語会話の習得と、発音練習・発音矯正を行います。 評価方法 学期の終わりに定期試験を実施します。小テスト及び平常点（出席率、授業態度、宿題等）を加算して評価します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『アクション！开始！』2ーコミュニケーション中国語ー 著者（訳者）：鈴木慶夏 出版社：朝日出版社 ISBN：9784255452906 ガイダンス 特に行わない。						
50156	A	中国語初級（作文）	賈 黎黎	月3	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級作文 目標概要 半年から一年程度中国語を学習した学生を対象とした授業である。基礎語彙と文法を学び、その知識をもとに作文の訓練をする。更に履修者の作文を添削しながら解説を行うことで初歩的な中国語作文能力を身に付けることを目標とする。 評価方法 課題、小テストと定期試験によって総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : チャイニーズライティング 著者（訳者）：何彬 小野秀樹 出版社：白帝社 ISBN：4-89174-712-9 ガイダンス 特に行わない。						
50802	A	中国語初級（作文）	何 珍時	木1	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級（作文） 目標概要 中国語の基本的な仕組みを理解しながら、中国語で作文する力をつけ、自分自身のことや日常生活に必要なことを、中国語で書いて表現する能力を養成することを目標としています。 中国語の基本的な文法事項や重要な文型について、詳しく解説し、それを学習しながら、単文を中心とした練習問題を解くことによって、基礎的な作文能力をつけていきます。 評価方法 出席、予習・復習の状況、試験などで総合的に評価します。 教科書 授業中に指示をする。 書名 : チャイニーズライティング 著者（訳者）：小野秀樹 出版社：中国語研究室より入手 ガイダンス 特に行わない。						
50804	A	中国語初級（表現練習）	王 前	木1	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語ハイレベル基礎トレーニング TLP 目標概要 TLP(トライリンガル・プログラム) 履修生のための科目。中国語一列・二列で学んだ発音・文法事項を踏まえて、実践的なトレーニングを行う。 評価方法 定期試験と小テストなど 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ①『汉语纵横 精读』〇級 ② 漢語閲読教程第一冊 著者（訳者）：①马燕华 ②彭志平 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50307	A	中国語初級（インテンシヴ）	毛 興華	火2	122	1年 文科 理科
51009			毛 興華	木5	158	
50308			賈 黎黎	火2	121	
51010			賈 黎黎	木5	156	
講義題目 目標概要 中国語の実践能力を養うためのトレーニングA 基礎科目で中国語を履修している一年生を対象に、更に実践的な中国語の運用能力の養成を目指す特別コース。 火曜日2限と木曜日5限をセットで履修することを義務付ける。（参照『履修の手引き』）火曜日2限では、主に発音・会話の訓練を行う。木曜日5限では主に発音、聞き取りの訓練を行う。 実践訓練を行うため、クラス定員を30名までとする。希望者多数の場合は抽選を行うので初回授業に必ず出席すること。Sセメスター履修者を優先するが（SセメスターでC・Dクラスを履修していた学生も優先する）定員に満たない場合は新規履修者も受け入れる。各クラスの組み合わせは下記のとおり。 【A】担当教員：賈黎黎 【B】担当教員：毛興華 ★ 基本的に初修者を対象とするため、ネイティブ・ニアネイティブの受講は認めない。 評価方法 教科書 小テスト・定期試験など総合して評価する。 次の教科書を使用する。 書名：「初級インテンシヴコース 会話教材」及び「初級インテンシヴコース リスニング教材」 著者（訳者）：王雪萍・孫軍悦・小野秀樹・駒場中国語教育研究会編 ガイダンス 特に行わない。						
50026	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 佐立	月1	10-103	1年 文科 理科
50326			李 彦銘	火2	150	
50327			王 前	火2	113	
講義題目 目標概要 TLP中国語実践トレーニング この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 教科書 授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名：汉语縦横 会話 0級 第二版 著者（訳者）：盛双霞 出版社：北京語言大学出版社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50805	A	中国語初級（インテンシヴ）	白 春花	木1	162	1年 文科 理科
50806			鄧 芳	木1	154	
51088			鄧 芳	金2	154	
講義題目 目標概要 TLP中国語実践トレーニング この授業はトライリンガル・プログラム（TLP）の一環として、「教養英語」G1レベル程度に相当する高い英語のスキルを身につけた学生に対する中国語特別コースとして開講される。この授業の履修を通じて、参加学生は、日本語・英語のほかに中国語からなる3言語を自在に操る人材になることを目指す。 評価方法 教科書 授業態度・小テスト・定期試験等を総合的に評価する。 次の教科書を使用する。 書名：現代漢語基礎 初級インテンシヴコース リスニング教材 著者（訳者）：駒場中国語教育研究会 孙军悦、王雪萍、小野秀樹 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50157	A	中国語初級（第三外国語）	河野 直恵	月3	166	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語の基礎の習得 目標概要 一年間の学習を通じて中国語の基礎（発音・文法事項）を学ぶ。今学期はSセメスターの続きから始める。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 中国語二列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 小テストおよび定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 旅して学ぶ中国語 著者（訳者）：楊凱榮・張麗群 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-45184-8 ガイダンス 特に行わない。						
50309	A	中国語初級（第三外国語）	山影 統	火2	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語初級 目標概要 中国語の発音および初級文法の習得 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 中国語二列②の単位未取得者には、読替授業として開講される。 履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 出席、中間テスト、定期試験で評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 1冊目の中国語―購読クラス 著者（訳者）：劉穎、松田かの子、喜多山幸子 出版社 : 白水社 ISBN : 4560069190 ガイダンス 特に行わない。						
51074	A	中国語初級（第三外国語）	張 玉萍	金2	108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語の基礎 目標概要 この授業は直接教授法を取り入れ、基本的に中国語で中国語を教えるものである。教員の一方的な説明に終始することなく、学生とのやり取りや学生同士の様々な形の練習を通して、中国語の表現力・思考力を次第に身につけるようにする。できるだけ日本語は使わずに中国語で講義をする。SセメスターはⅠ、Aセメスターはその続きのⅡである。（G1） 評価方法 定期試験と小テスト・中国語での発表および授業参加など 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『おぼえチャイナ2』 著者（訳者）：八木章好 鄭麗媚 出版社 : 朝日出版社、2014年 ガイダンス 特に行わない。						
50084	A	中国語中級（演習）	鍾 非	月2	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語作文と和訳 目標概要 中国語作文（奇数週）と中文和訳（偶数週）を隔週で行う。前者はいろいろなレベルの中国語作文（和文中訳）。後者は近年出版された中国語の単行本（経済・政治・社会：向こうの出版社）を丁寧かつ正確に朗読した後、きちんと和訳してゆく（中文和訳）。「いろいろ」と主張しただけに、受講者に「作文に終着駅などない」ことを強く気づかせ、「和訳」である以上、みなさまに本格的な翻訳の醍醐味を存分に味わわせる。ありとあらゆるレベルの受講者に出来るだけ対応。日中両国の慣用句・ことわざ・熟語・成語を極力重視（電子辞書推奨）。 評価方法 出席＋演習の成績。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50310	A	中国語中級（演習）	秋山 珠子	火2	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語映像翻訳実習 目標概要 本授業は、中国語の映像作品（劇映画、ドキュメンタリー、ビデオアート、テレビ作品等）の字幕翻訳の実習を通して、1)言語・音声および映像が伝えるイメージを分析し、2)的確な日本語に翻訳する力を身につけ、3)映像翻訳の可能性/不可能性を実践の中で考察することを目標とする。またその過程で、字幕翻訳のルールを再検討するとともに、作品および中国の社会や文化に関する理解を深めていく。（G8－10） ※ 履修希望者多数の場合は抽選を行う。 評価方法 提出物、授業貢献度（出席状況・授業への取り組み・発表など）と最終試験の成績から総合的に判断する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50427	A	中国語中級（会話）	劉 岸麗	火3	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 使える中国語を身に着けよう 目標概要 基礎文法、文型を使って日常会話、リスニングを練習する。会話、読解両方のテキストを勉強していくうちにその違いも自然にわかってきます。中検対策のために練習問題も充実しているので、中国語の基礎がより確かなものとなるでしょう。 評価方法 中間テスト、定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名：新ブラッシュアップ中国語 著者（訳者）：関中研 出版社：朝日出版 ガイダンス 特に行わない。						
50719	A	中国語中級（会話）	毛 興華	水3	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語で話し、中国を知る 目標概要 現代中国の様々な事情を話題にした会話スキットを勉強し、初級で習得した文法事項を確認しながら「話を聞く」「質問する」「表現する」という三つの会話力を磨き上げる。中級から上級へのステップアップを意識するコースである。 評価方法 授業中のパフォーマンス（プレゼンテーションなど）、定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名：リアルスコープ現代中国事情 著者（訳者）：李貞愛 出版社：朝日出版社 ISBN：978-4-255-45231-9 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50871	A	中国語中級（会話）	姚 毅	木2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 コミュニケーション能力を高めるための実践コース 目標概要 初級段階で学習した文法項目を応用し、語彙を増やしながら、中国語のコミュニケーション能力を高めるための実践コースである。勉強、買物、趣味、仕事、交友など日常触れるさまざまな場面を話題にし、「聞く」「話す」の反復練習を通して、その場面にに関する典型的表現を覚えていく。また、習ったことを活かし、自分自身の経験、感想などについて発表してもらう。 評価方法 平常点（授業の参加・小テスト）と定期試験を吟味して評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：やさしく楽しい中級中国語 著者（訳者）：郭春貴・郭久美子・梁勤著 出版社：白帝社 ISBN：978-4-86398-269-7 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50938	A	中国語中級（作文）	柴 森	木3	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 やや高度の中級作文練習 目標概要 中国語の構文を中心にした文法事項を系統的に学習しながら、さまざまな練習問題を解いていく。自分の伝えたいことをできるだけ幅広く中国語で表現できることを目指す。 評価方法 平常点（30％）と定期試験（70％）による総合的評価。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50760	A	中国語中級（読解）	韓 燕麗	水4	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国映画人の回想録を読む 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 中国語テキスト分析Ⅱ として開講される。 中国の映画監督や俳優たちによって書かれた比較的平易な文章をピックアップして読んでいく。映画の専門用語が分からなくても中国映画史とくに戦前の大まかな流れを把握することを目標とする。 評価方法 履修者が20名以上の場合は、期末に試験を行う。履修者が20名未満の場合は、分担したテキストの翻訳結果によって決める。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50158	A	中国語上級（会話）	韓 燕麗	月3	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語で映画について語ろう 目標概要 中国映画を鑑賞し、その内容と社会的背景について討論そして意見発表することを通して、高度な中国語応用力を身につけることを目標とする。 評価方法 授業参加の積極性と口頭発表などによって総合的に評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50644	A	中国語上級（作文）	毛 興華	水2	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 意見を論理的に述べる作文力を養う 目標概要 中国語を2年以上学習した（発音、基本語彙、文法の基本事項をマスターしている）学生を対象とする作文の授業である。主として小論文を執筆する文章力の養成を目的とし、立論や論拠提示など議論を論理的に展開させるための作文力が身につくことを目指しています。 評価方法 授業中のパフォーマンス、授業課題、期末レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51075	A	中国語上級（読解）	橋本 陽介	金2	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国語小説の読解、分析 目標概要 中国語の小説を読解・翻訳する作業を通して、中国語の読解力を高めるとともに、文法を学ぶ。また、その表現特徴を把握する。 評価方法 平常点 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

ロシア語初級（演習）②	開講区分	A
目標概要 正確な発音を実につけて、簡単なテキストを読む。内容を理解した上で、テキストに関して質疑応答ができるようにする。 成績評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること		

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50947	木4	アズマイ ナジェージダ	121	1年 文一二(4)
50953	木4	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	517	1年 文三(4)
51027	金1	アズマイ ナジェージダ	149	1年 文科(TLP)

※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目Ⅰ系列 英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51011	A	ロシア語初級（演習）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	木5	517	1年 理科
講義題目 ロシア語演習② 目標概要 初級文法を学習中の学生を対象に、ロシア語の発音・イントネーションに習熟し、簡単な会話が行えるようになることを目指す。 評価方法 平常点など。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51054	A	ロシア語初級（演習）	アズマイ ナジェージダ	金1	149	1年 理科
講義題目 リスニングの力を高めるための演習です。 目標概要 TLP生対象。五つのテーマを取り入れる。テーマごとの内容と表現を多く覚えます。ビデオを見たりした後、単語とモデル表現を練習した上で、簡単な議論や、ロールプレイをします。ボイス演習もします。 評価方法 授業参加、宿題結果、発表 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月5日 ※授業は初回9月28日から行う。						
51076	A	ロシア語初級（会話）	ゴロウィナ クセーニヤ	金2	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 会話力強化コース 目標概要 ロシア語の会話力を集中的にアップします。発音を改善するだけでなく、習った文法や表現を実際のロシア人との会話の場面において正確に適用できる余裕を身につけます。また、ロシア語のメディアなどの理解力の向上にも繋がります。 評価方法 授業でのアクティビティへの積極的参加 授業への準備（宿題、復習） 定期試験＋口頭のナレッジチェック 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50311	A	ロシア語初級（作文）	毛利 公美	火2	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級作文 目標概要 作文練習（和文露訳）を通して、すでに学んだ文法事項を確認し、定着を図ります。文法書の説明だけでは体得しにくい体や移動動詞の概念についても、様々なシチュエーションを想定した作文練習でより実感的に理解することができます。 ある程度の文法知識が身についたら、次のステップアップは語彙の獲得です。作文を通して類語表現や関連語彙を理解し、よく使う語彙や構文を学ぶことで、表現力を向上させることを目指します。 作文の授業ですので、書いてもらうことが中心ですが、形容詞を含めた格変化や数詞の使い方については、口頭練習も実施し、正確に早く運用できるようになることをめざします。 評価方法 平常点（課題への取り組み）によって評価します。履修人数によっては学期末に試験を実施します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50220	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	奈倉 有里	月5	151	1年 文科 理科
講義題目 ロシア語初級（インテンシヴ） 目標概要 ロシア語の読解力を強化します。 評価方法 授業への取り組みと試験等をあわせて総合的に評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51222	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	金5	517	1年 文科 理科
講義題目ロシア語（インテンシヴ） 目標概要必修のロシア語に加えて、さらなるロシア語知識の獲得を目指す。 評価方法日常の授業、小テスト、および定期試験 教科書プリントを配布する。 ガイダンス特に行わない。						
50225	A	ロシア語初級（インテンシヴ）	グロウィナ クセーニヤ	月5	156	1年 文科 理科
51018			グロウィナ クセーニヤ	木5	151	1年 文科 理科
講義題目ロシア語初級（インテンシヴ）→TLP 目標概要TLP1年生を対象に、ロシア語の基本的能力を高度に育成する。 評価方法授業参加、宿題、ナレッジチェック、定期試験、口頭試験。 教科書プリントを配布する。 書名：Русский сезон 著者（訳者）：Нахабина, М.М., Антонова, В.Е., Жабоклицкая, И.И., Курлова, И.В., Смирнова, О.В., Толстых, А.А. 出版社：Златоуст ISBN：978-5-86547-538-5 ガイダンス特に行わない。						
50781	A	ロシア語初級（第三外国語）	丸山 由紀子	水5	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目ロシア語初級（第三外国語） 目標概要基礎的なロシア語文法を学びます。基礎文法を一通り終え、平易な文章であれば辞書を使って読めるようになること、簡単な会話が出来ようになることが目標です。 評価方法出席、小テスト（2回程度）と定期試験で総合的に評価します。 教科書次の教科書を使用する。 書名：《新版》はじめてのロシア語 著者（訳者）：桑野隆 出版社：白水社 ISBN：978-4-560-01635-0 ガイダンス特に行わない。						
50201	A	ロシア語中級（演習）	奈倉 有里	月4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目ロシア語中級（演習、購読） 目標概要これまでに学んだ文法事項を確認しながら、文学テキスト（散文・詩）や簡単な批評・論考テキストなどを読み解く力をつけることを目標とします。辞書と文法書だけではわからない文学・文化の背景知識も合わせて学ぶことで、テキストの行間を読む力を身につけます。 評価方法出席、授業への取り組み、課題提出状況などを総合的に評価します。 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50312	A	ロシア語中級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	火2	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語中級（会話） 目標概要 ロシア語での表現力の向上をめざす。1年以上、ロシア語を学習した者を対象とする。 評価方法 平常点。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51223	A	ロシア語中級（作文）	濱田 華練	金5	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語の文章表現を学ぶ 目標概要 この授業では、名詞の格変化およびそれぞれの格の用法や、動詞のアスペクト、移動の動詞といったロシア語学習者にとっての難所を、実際のロシア語のテキストに基づいて分析し、さらに自身でそれらを使いこなせるようになることを目指す。また、その過程で露和・和露辞典を活用する習慣を身につけることも目標の一つとする。 評価方法 普段の授業参加と、学期末に課されるロシア語の小レポートによって評価する。なお、レポートの分量やテーマは受講者の関心や授業の進度に応じて決定する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50761	A	ロシア語中級（読解）	丸山 由紀子	水4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 ロシア語テキスト分析Ⅱ として開講される。 講義題目 ロシア語論文購読 目標概要 ロシア語を2年以上学習した学生を対象に、学術論文の精読を通して、アカデミックな文体で書かれたテキストを正確に読む力を養う。文法事項を正確に把握し、文脈を考慮して適切な訳語を選定しながらテキストを読むことで、今後、各自が必要なロシア語文献を読むための基礎力を身につけることを目指す。 評価方法 1. 授業への貢献度、担当箇所の和訳の完成度。 2. 学期末レポート。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50493	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	火4	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語インテンシヴ（Intermediate Level） 目標概要 教科書の会話文の練習をととして、ロシア語の発音やイントネーション、会話表現の向上を目指します。 評価方法 授業にてアナウンスします。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Говорите по-русски 著者（訳者） : С.Хавронина 出版社 : М. Русский язык. 2014г. ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51012	A	ロシア語中級（インテンシヴ）	アズマイ ナジェージダ	木5	121	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 自分の考え方をロシア語で表現する実力を高める 目標概要 ロシア語短い作文,発表の訓練 評価方法 授業参加、3回発表 教科書 プリントを配布する。 書名 : Говорите по-русски 著者（訳者）: С.Хавроница 出版社 : М. Русский язык. 2014 ガイダンス 特定日に行う。 2018年10月4日 ※授業は初回9月27日から行う。						
51168	A	ロシア語上級（会話）	ゴルボフスカヤ リュボーフィ	金3	517	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語上級（会話） 目標概要 ロシア映画を素材に、ロシア語会話の独特な表現法を学ぶ。ロシア語による講義。 評価方法 平常点および定期試験 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50987	A	ロシア語上級（作文）	グロウィナ クセーニヤ	木4	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ロシア語作文の書き方・実力アップコース —文化人類学を通じてのロシア語— 目標概要 この講義では、文法の復習・実用やテキストの読解、翻訳、様々なジャンルの作文の書き方の練習を通して、ロシア語作文の実力アップを目指します。宿題は主として特定のテーマや文体のエッセーです。作文は受講者の希望に合わせて、手紙、体験記、ブログ、新聞や雑誌の記事、エッセーなどの文体を身につけた上で、最終的に学術論文の書き方を理解し、それに相当する短いものを書いてもらいます。 このコースにわたっての大きなテーマは「文化人類学/культурная антропология」です。「文化人類学」の様々な側面をテーマにした多様なジャンルのテキストを読み、作文を書く能力を身につけます。 評価方法 授業参加、宿題、中間試験、定期試験、レポート 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

スペイン語初級（演習）②		開講区分	A
目標概要 共通教科書を用い、Aセメスターでは、一列で扱う文法及び講読の進度に合わせ、発音、聞き取り、会話練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力を高めることをめざす。 成績評価方法 各担当教員に任せられている。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 ：スペイン語初級 著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 ：朝日出版社 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50047	月2	ドニャス ベレニャ アントニオ	104	1年 文一二(7)
50048	月2	ロサレス パトリシア	112	1年 文一二(12)
50162	月4	イサベル カルロス	101	1年 文一二(9)
50949	月4	ドニャス ベレニャ アントニオ	108	1年 文一二(13)
50248	火1	イサベル カルロス	106	1年 文一二(8)
50363	火3	イサベル カルロス	1214	1年 文一二(10)
50364	火3	ドニャス ベレニャ アントニオ	1213	1年 文一二(11)
50955	木4	イサベル カルロス	108	1年 文三(8)
51045	金1	ドニャス ベレニャ アントニオ	122	1年 文三(7)
51181	金4	エクトル シエラ	112	1年 文三(9)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50782	A	スペイン語初級（演習）	ルイズ ティノコ アントニオ	水5	152	1年 理科 2年 理科
講義題目 スペイン語初級（演習） 目標概要 スペイン語初級は共通教科書を用い、Aセメスターでは一列で文法を学び、二列で講読を行う。この演習は理科学限定で、教科書の進度に合わせ、発音、聞き取り、初歩的な会話の練習、文法の応用練習などを行い、スペイン語の運用能力をいっそう高めることをめざす。理科学は積極的に参加してほしい。 評価方法 授業への参加度（40％）と期末テスト（60％） 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スペイン語初級 第3版 著者（訳者）：東京大学教養学部スペイン語部会 出版社 : 朝日出版社 ガイダンス 特に行わない。						
50274	A	スペイン語初級（会話）	受田 宏之	木1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Skypeを用いたメキシコの大学生との会話 目標概要 Skypeを用いてメキシコの大学生と会話することを通じて、実践的なスペイン語力を身につけると同時に、ラテンアメリカについての理解を深めることを目標とする。 評価方法 受講者は、自分の好きなテーマについて5分程度のスペイン語ビデオを作成する。最終日にUNAM関係者に観てもらおう機会を設ける。ビデオの評点に、毎回の授業への参加状況を加えて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51013	A	スペイン語初級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木5	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語 会話 初級(A1-A2) 目標概要 それぞれの会話レベルを理解し正しい表現ができるように学習する。決まり表現、言い回しなどの使い方をその場で使えるようにする。 その他に文法、単語のレベルをDELE A2 まで引き上げていく。 評価方法 小テスト、定期試験及び口頭試験。 2, 3週間毎に約10分間のミニテストを行います。授業の評価は、ミニテストの結果と宿題で50％、終了テストの結果50％で総合評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51224	A	スペイン語初級（会話）	エクトル シエラ	金5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ¿HABLAMOS? スペイン語での基本的なコミュニケーション 目標概要 スペイン語で日常生活について話せるようになることを目指す。 自己紹介、天気や家族、好きなこと、嫌いなこと、料理の簡単な感想、町の様子、過去にしたことや近い未来にしたいことについての会話の演習を行う。 スペイン語らしい発音や自然なイントネーションの習得を目指す。また、前学期で学習した規則動詞の現在形、現在進行形や近未来の復習をした上で、不規則動詞や再帰動詞を使った会話を習得する。 評価方法 参加30％、宿題・パフォーマンス・態度・授業への貢献30％、口頭試験・作文40％ 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50783	A	スペイン語初級（作文）	渡辺 暁	水5	105	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アウトプットはもちろんインプットも大事にするスペイン語作文の授業 目標概要 スペイン語初級作文では、さまざまな表現を覚えながら作文に応用する作業を行っていきます。皆さんはもちろん、スペイン語で文章ができるようになりたい、と思ってこの授業を取って下さるわけですが、アウトプットと同様、インプットも大事です。この授業では、もちろんスペイン語で文章を書くことを最終的な目標としつつも、テキスト・映像・音楽など、さまざまなかたちでスペイン語そしてスペイン語圏についての情報をインプットしつつ、またスペイン語の文法についても適宜補足をしながら、知識をつけつつアウトプット能力を養っていきます。 評価方法 毎回少しずつ書いていく作文（および日本語での感想）と、最終レポートで単位をつける予定です。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51077	A	スペイン語初級（作文）	有田 美保	金2	104	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級（作文） 目標概要 本コースは、和文（おもに単文）から適切にスペイン語文にするための解説と演習を中心としたものである。一年生の初修外国語（文科・理科）の授業で既習あるいは学習中である文法事項を『書く』ことを通して復習するとともに、能動的な言語応用を図る諸君の積極的な学びの場となるように展開していく。初修外国語の授業でカバーされなかった語彙やフレーズ、またさまざまな話題や言語使用のシーンにふれて、本言語の運用の幅を広げていってほしい。【今セメスターは、GUSTAR型構造→再帰動詞→過去時制→未来形→完了時制→接続法と進んでいく予定である】 評価方法 授業内の30分で西訳5題を西訳してもらい、出来栄や仕上げの丁寧さによって評点を受ける（30点満点×3回＝90点満点）。これに第2週に実施する『単語テスト』（10点満点）を加えた得点から、欠席・遅刻・早退、宿題未遂行、態度不良などがある場合には減点し（最大30点めやす）、また質問・発言など積極的な態度が伺える者にのみプラス評価（最大10点めやす）を入れ、最終評価を算出する。 「特別な理由」（診断書のある疾病、立証書類で客観性の認められる就職活動・学業活動・冠婚葬祭、遅延証明のある交通機関の遅延、等）による欠席（またはそれにともなう未提出課題）については、都度教員に相談すること。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Paso Doble~Primer Paso 著者（訳者）: 有田美保 出版社 : 弘学社 改訂をおこなったので、旧版は使用できない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50221	A	スペイン語初級(インテンシヴ)	イサベル カルロス	月5	101	1年 文科 理科
51014			イサベル カルロス	木5	108	
講義題目 スペイン語初級 目標概要 必修スペイン語に加えてスペイン語を集中的に勉強したい学生のために、インテンシヴクラスを開講する。内容は会話と作文で、必修の授業の進度に合わせながら実践的な運用能力を獲得することをめざす。履修人数を制限し、週2回の授業に出席することを義務とする。2つの授業ともスペイン語ネイティブの教員（カルロス・イサベル）が担当する。 評価方法 授業初回で示される。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ¡Muy bien! Curso de español 著者（訳者）: Moyano, García, Hiroyasu 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-55094-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50020	A	スペイン語初級（第三外国語）	栗林 ゆき絵	月1	151	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語（初級）（第三外国語） 目標概要 スペイン語の骨格となる動詞の全時制形式を知り、それらが日常会話でいかに用いられているかを学ぶ。 空港・買い物・アポイント・レストラン・ホテル・タクシー等、場面別のダイアログを教材とし、片言以上の運用能力を身につけることを目標とする。 受講者の希望があれば新聞記事講読等も行う。 評価方法 平常点20%(小テスト)、定期試験80%の予定。 出席点は数値化しないが、小テスト(毎回開始時5分程度)を受けたものを出席とみなす。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : エスペランサ 著者（訳者）：栗林ゆき絵ほか 出版社 : 同学社 ISBN : 4-8102-0428-5 ガイダンス 特に行わない。						
50762	A	スペイン語初級（第三外国語）	齊藤 文子	水4	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 速習スペイン語 目標概要 1 セメスターでスペイン語文法の基礎を学びます。 評価方法 毎回の小テストと定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : スペイン語文法の要点 著者（訳者）：二宮哲 出版社 : 朝日出版社 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51078	A	スペイン語初級（第三外国語）	丸山 共恵	金2	118	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語初級 目標概要 スペイン語文法の基礎をじっくり学び、「聞く、話す、読む、書く」の4技能を磨きながら、簡単な会話・読解・作文にも取り組めるような応用力を身に付ける。文法だけではなく、スペイン語圏の文化(音楽・映画など)にも触れながら楽しく学ぶ。 評価方法 平常点40%（小テスト、出欠）定期試験60% 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 初級スペイン語文法 全音声DL版 著者（訳者）：和佐 敦子 出版社 : 朝日出版社 ISBN : 978-4-255-55077-0 ガイダンス 特に行わない。						
51079	A	スペイン語初級（第三外国語）	ドニャス ベレニャ アントニオ	金2	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Basic Spanish Grammar, direct method 目標概要 This course is designed for students with no previous experience in Spanish, and has as its main objective to help the students achieve a basic level of proficiency through the development of the four basic language skills (listening, speaking, reading and writing). 評価方法 Participation in class: 20 % Assignments: 20 % Tests: 60 % 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50222	A	スペイン語中級（演習）	ガルシア ルイス カステイージョ カルロス	月5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Habla en español 目標概要 この教科の目的は、学生がA2-B1レベル相当の学力を身につけることである。授業は主に口頭表現の習得のために構成されている。口頭表現に加え、リスニング、読解、文章表現といった基礎も学習し、学生は実際にスペイン語を使うのに必要な社会文化にも親しむ。 El objetivo del curso es que los estudiantes adquieran las competencias propias de los niveles A2-B1. La clase está planteada para practicar principalmente la expresión oral. Además de la expresión oral, practicaremos también las otras destrezas básicas (comprensión auditiva y lectora y expresión escrita) y los estudiantes se familiarizarán con los aspectos socioculturales necesarios para poder usar la lengua en contextos reales. 評価方法 40%:出席、授業中の積極性、課題 60%:試験 40% Asistencia, participación y tareas de clase. 60% Exámenes 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50990	A	スペイン語中級（会話）	FERNANDEZ HERBOSO	木4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語中級（会話） 目標概要 スペイン語圏でコミュニケーションを取るために必要とされる、言語の技能と知識を学ぶ。この授業では既習の文法的知識を強化し、また、生徒がB1レベル（ヨーロッパでの言語技能基準）に達するために必要な語彙とコミュニケーションの習得を目指す。 This course aims at providing the student with the strategies and knowledge necessary to encourage interaction and communication in the Spanish-speaking world. The purpose of the lessons is to reinforce the acquired grammatical knowledge and, particularly, to learn new vocabulary, so that the student is able to develop communication skills up to the B1 level in the Common European Framework. 評価方法 小テスト、定期試験及び口頭試験。 Mini tests, the end-of-semester exam, and the oral exam. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50313	A	スペイン語中級（作文）	藤田 護	火2	108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語中級作文 目標概要 スペイン語の学習が進んでいる学生を対象として、アウトプットを重視した作文の演習を行う。教科書を用いながら定期的なペースで進むとともに、学期中に2回、よりクリエイティブな長い作文課題を課すことを予定している。授業を履修できる対象学生としては、スペイン語の初級文法の学習が終わった2年生とともに、学習中の1年生も含める。文法の知識を確認しつつ、よりフォーマルなスペイン語に少しずつ慣れていくことを目指す。 評価方法 毎回の宿題の提出と出来、授業への参加、そして二度の長い作文課題への取り組みを総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 新訂版・スペイン語作文中級コース 著者（訳者）：木村琢也、中西智恵美 出版社 : 同学社 ISBN : 978-4-8102-0437-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50494	A	スペイン語上級（演習）	イサベル カルロス	火4	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Curso de práctica de español a nivel avanzado 目標概要 El objetivo de este curso es ayudar a los alumnos a desarrollar sus capacidades de comunicación en español, por medio de la práctica oral y escrita y el aprendizaje de nuevo vocabulario. Como material base para la práctica vamos a usar noticias breves y sencillas, extraídas de periódicos, televisión y medios digitales. Esto hará que los alumnos también aumenten su conocimiento de diversos asuntos de actualidad y reflexionen sobre ellos. Se pedirá a los alumnos que hagan breves presentaciones de noticias en español, a las que deberán añadir una valoración personal. 評価方法 Los alumnos tendrán que hacer una presentación y escribir una composición durante el curso. Al final del semestre tomarán un examen. Presentación: 20% Composición: 20% Participación en clase: 20% Examen: 40% 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50159	A	スペイン語上級（会話）	ロサレス パトリシア	月3	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Avancemos tema a tema 目標概要 Guiar a los estudiantes para mejorar su capacidad de expresión e interacción oral. Mediante diversos temas, de interés los estudiantes se ejercitarán para hablar temas de interés general y de uso frecuente. El trabajo en clase permitirá a los alumnos desarrollar el vocabulario, la fluidez, y su capacidad de interacción. Los estudiantes tienen que preparar los temas con antelación para poder participar en clase. （口頭での表現ややりとりの能力を高めます。様々なテーマを通じて、一般的に関心を持たれていることや、よく使う表現を話す練習がなされます。授業では語彙や流暢さ、会話をやりとりする能力を高めることができるでしょう。授業に参加できるよう、予習することは必須です。） 評価方法 10% Asistencia.(出席) 30% Presentación de una noticia del periódico. Oral y escrita. (口頭と筆記による新聞記事の発表) 20% Presentaciones (発表) 40% Trabajo de clase(授業での作業) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50763	A	スペイン語上級（作文）	ルイズ ティノコ アントニオ	水4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スペイン語上級（作文） Redacción de varios tipos de textos 目標概要 El objetivo de este curso es que el estudiante se acostumbre a redactar textos de una página de longitud sobre distintos temas, como descripciones, informes, opinión, etc. Durante los ejercicios se repasarán los puntos principales de la gramática y del uso adecuado del vocabulario. （この授業の目的は、学生が1ページ程度の文章を書くのに慣れることである。テーマは描写、報告、意見など。練習の合間に、主な文法事項や、語彙の的確な運用の復習も行う。） 評価方法 出席・授業参加：50% 日常的な作文：30% 学期末の作文：20% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50654	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	崔 泰源	水3	1211	1年 文一二(5)文三(5)
講義題目 韓国朝鮮語初修（文系） 目標概要 韓国朝鮮語のネイティブ教師が担当する。一列の授業で学んだ基礎知識の定着と、さらに「スピーキング」「リスニング」「リーディング」「ライティング」の諸領域におけるバランスの取れた理解・表現能力の向上を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、課題、出席など 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50994	A	韓国朝鮮語初級（演習）②	ジ ミンギョン	木4	149	1年 文科(TLP)
講義題目 韓国朝鮮語初級（演習）② TLP 目標概要 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。 ※TLP履修者は、対象クラスで「1年 文科(TLP)」と指定されている授業を履修すること。なお、総合科目L系列英語中級、英語上級の抽選登録にあたり、一度当選した科目は履修登録を削除することができないため、抽選登録を行う際は、それぞれの開講曜限に注意すること。						
50993	A	韓国朝鮮語初級（演習）	ジ ミンギョン	木4	149	1年 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級（演習）TLP 目標概要 韓国朝鮮語一列・二列で学んだ基礎知識の定着と発展のために、練習や活動を多く取り入れ、韓国朝鮮語の表現能力の向上を目指す。 評価方法 定期試験、小テスト、課題、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50645	A	韓国朝鮮語初級（会話）	李 英蘭	水2	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級（会話） 目標概要 韓国朝鮮語の初級レベルの語彙や文法、表現などを、会話練習を中心にして学習していく。 ハングルの読み方や韓国朝鮮語の基礎的な文法を半年ほど学習した人を対象とする。 本授業を通して韓国朝鮮語の基礎会話力を身につけることを目指す。 評価方法 出席、課題、小テストなどの平常点＋定期試験を総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51015	A	韓国朝鮮語初級（会話）	金 東漢	木5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語の基礎固め（その2） 目標概要 Sセメスターの続きになります。 Sセメスターで学んだ「発音のルール」とその他の発音の変化や最も基礎的な文法内容も繰り返し復習しながら、今学期も初級レベルの文法知識や自己表現などの総合的な学習を通じて、次のステップの土台を築いていきたいと思っています。 評価方法 課題などの平常点＋最終週授業日（1月10日）の小テスト 教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『改訂版 韓国語レッスン 初級 1』 著者（訳者）：金東漢・張銀英 出版社 :スリーエーネットワーク ISBN :488319-258-X ガイダンス 特に行わない。						
50223	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	崔 泰源	月5	153	1年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級（インテンシヴコース） 目標概要 Sセメスターに引き続き、必修韓国朝鮮語に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象とし、様々な応用練習を行います。「韓国朝鮮語一列」で学習する文法・語彙・表現などに基づきながら、実践的な運用能力を獲得することを目指します。 評価方法 定期試験、課題などに基づいて総合的に評価します。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50991	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	金 東 漢	木4	103	1年 文科 理科
講義題目 基礎知識の確立と定着（その2） 目標概要 基本的にはSセメスターの続きになります。下記はSセメスターのシラバスの内容なので、ご参照ください。 韓国朝鮮語のネイティブ教員が担当するこの「インテンシブ」クラスでは、文字と発音のルールをはじめ、初級レベルの文法・会話・作文などの総合練習を通じて、一列・二列の授業で学んだ知識の応用・発展と、表現力の向上及びその定着を目指す。 評価方法 課題などの平常点+最終週授業日（1月10日）の小テスト 教科書 次の教科書を使用する。 書名：『大学韓国語演習』 著者（訳者）：金東漢 出版社：白帝社 ISBN：978-4-86398-154-6 ガイダンス 特に行わない。						
50328	A	韓国朝鮮語初級(インテンシヴ)	ジ ミンギョン	火2	149	1年 文科 理科
50807			ジ ミンギョン	木1	102	
講義題目 韓国朝鮮語初級（インテンシヴ）TLP 目標概要 必修授業に加えて韓国朝鮮語を集中的に勉強したい学生を対象に、韓国朝鮮語一列・二列の学習内容に基づきながら活動中心の授業を行う。聞き取り、会話、読解、作文の全領域の連携を強化することで、実践的な運用能力の獲得を目指す。 評価方法 定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
50276	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	張 銀英	火1	8-113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級 目標概要 できるだけ日本語を使わずに授業を行う。 文字と発音を確認しながら、基本的な文法と会話などを学ぶ。 「読む」「書く」「聴く」「話す」の基本をしっかり身に付けるようにする。 通年で行う授業。AセメスターはSセメスターの続きの学習内容になる。 評価方法 「小テスト」と「定期試験」と「課題」 教科書 次の教科書を使用する。 書名：easy Korean 1 著者（訳者）：Easy Korean Academy 出版社：Hangulpark（韓国） ISBN：978-89-5518-726-7 ガイダンス 特に行わない。						
50314	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	岩井 智彦	火2	10-304	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国語初級 目標概要 Sセメスター火曜2限の初級クラスの続きで、同講義を履修した方を受講対象としています。初級後半レベルの文法項目、語彙表現を、確実に身につけることを目標とします。 評価方法 課題、小テストおよび定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名：韓国語へのとびら 著者（訳者）：吉本一他 出版社：朝日出版社 ISBN：9784255556178 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50872	A	韓国朝鮮語初級（第三外国語）	崔 泰源	木2	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語初級の文法と会話 目標概要 現代韓国朝鮮語の文字や発音から始め、基礎文法と語彙を体系的に学習し、基本的な自己紹介やレストランで簡単な注文ができる程度のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。受講に際しての予備知識は要りませんが、文字が特殊なので最初の1ヶ月は、きちんと授業を受け、予習・復習を徹底する必要があります。 評価方法 定期試験、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『根と幹（こんとかん）』 著者（訳者）：生越直樹・生越まり子・池玫京 出版社 : 朝日出版社 ガイダンス 特に行わない。						
50784	A	韓国朝鮮語中級（演習）	崔 泰源	水5	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語中級（演習） 目標概要 Sセメスターに引き続き、中級レベルの韓国朝鮮語の文法と語彙についての体系的な学習を行います。これを通じて、辞書があれば簡単な文章の読解や作文ができる程度の理解・表現能力に加えて、状況・場面に応じて適切な対応ができるコミュニケーション能力を身につけることを目指します。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 定期試験、小テスト、課題などに基づいて総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『ことばの架け橋 中級表現編』 著者（訳者）：生越直樹 出版社 : 白帝社 ガイダンス 特に行わない。						
51016	A	韓国朝鮮語中級（作文）	崔 泰源	木5	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語の作文演習(中級) 目標概要 Sセメスターに引き続き、日常生活に必要な文章が自由に書ける程度の表現能力を身につけることを目指す。メールやエッセイ作成などの課題については、教師による添削をもとに誤用の分析と解説を行う。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 課題・発表など 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50315	A	韓国朝鮮語中級（表現練習）	三ツ井 崇	火2	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 韓国朝鮮語文献の読解による中級表現練習 目標概要 韓国朝鮮語文献の講読により中級程度の表現について身につける。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法 出席および学期末レポートの完成度を総合的に判断する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51080	A	韓国朝鮮語中級（読解）	橋本 繁	金2	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
【注意】 この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 韓国朝鮮語テキスト分析Ⅱ として開講される。						
講義題目韓国朝鮮語の文章の講読 目標概要韓国朝鮮語の新聞や雑誌の記事、小説、論説など様々な種類の文章を講読していく。授業は、文法の説明とともに、日本語に訳す場合の難しさ、その背景にある日本語との違いについて確認しながら進めていく。 評価方法授業での発表 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						
50277	A	韓国朝鮮語中級(インテンシヴ)	ジ ミンギョン	火1	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50873			ジ ミンギョン	木2	102	
講義題目韓国朝鮮語中級（インテンシヴ） 目標概要韓国朝鮮語を集中的に学習したい人を対象に、「聞く」「話す」「読む」「書く」全領域における韓国朝鮮語能力の向上を目指す。初級で学んだ韓国朝鮮語の基礎内容を応用・表現する力をつけ、中級の文型や語彙を増やしていく。聞き取りや会話はもちろん、中級レベルの文章を読み、自分の考えを韓国朝鮮語でまとめられるように練習する。 評価方法定期試験、課題、小テスト、授業への参加などで総合的に評価する。 教科書授業中に指示をする。 ガイダンス特に行わない。						
50495	A	韓国朝鮮語上級（会話）	崔 泰源	火4	1312	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目韓国朝鮮語上級（会話） 目標概要Sセメスターに引き続き、状況や場面による使い分けや韓国朝鮮語らしい表現法を身につけ、コミュニケーション能力の向上を目指す。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法課題や授業参加などの平常点、期末発表 教科書授業中に指示をする。 ガイダンス特に行わない。						
50531	A	韓国朝鮮語上級（作文）	ジ ミンギョン	火5	149	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目韓国朝鮮語作文(上級) 目標概要韓国の大学や大学院への留学も想定し、専門書籍や資料の理解、レポートや論文の作成ができるように、読解力と表現力の向上を目指す。また、日本語との違いを踏まえつつ韓国朝鮮語らしい表現法を身につける。課題として提出した作文やレポートは講師による添削と誤用の分析、解説を行う。 ※この授業は、2014年度以前入学者のうち、初修 韓国朝鮮語二列④の単位未取得者には、読替授業として開講される。履修登録の方法は「【重要】履修登録について」に従うこと。 評価方法定期試験と平常点（課題、発表など） 教科書教科書は使用しない。 ガイダンス特に行わない。						

イタリア語初級（演習）②			開講区分	A
目標概要 会話、作文など、イタリア語の表現の練習を中心に行い、より実践的なコミュニケーション能力の習得と文法知識の定着をめざします。 成績評価方法 平常点と繰上げ試験（最終授業時）。 教科書 授業中に指示をする。 ※講義の詳細については、UTASも参照すること				
時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50408	火3	アンドレア チヴィーレ	K301	1年 文三(6)
51110	金3	アンドレア チヴィーレ	K302	1年 文一二(6)

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50278	A	イタリア語初級（演習）	アンドレア チヴィーレ	火1	K302	1年 理科
講義題目 イタリア語初級（演習） 目標概要 習った文法の知識を復習しながら実際のコミュニケーションに結びつけることを目指します。生きたイタリア語の材料を使いながら、ことばとして理解する力を高めながら、話したり書いたりする能力や意欲を高めることが目標です。SセメスターとAセメスターを通じて、コミュニケーション能力としての目標はUTASシラバスを参照。 評価方法 学期末筆記試験（最終授業時）と平常点だけではなく、毎回の授業に積極的に参加しているか、総合的に評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50992	A	イタリア語初級（会話）	マルコ ビオンディ	木4	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級会話 目標概要 ネイティヴスピーカーの教員とともに、イタリア語の初歩を身につけながら、基本的なコミュニケーションと、自然な会話を学びます。 評価方法 平常点と最終授業時の試験 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。						
51081	A	イタリア語初級（会話）	アンドレア チヴィーレ	金2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級 Elementary Italian 目標概要 話したり、書いたりする練習を通じてイタリア語でコミュニケーションができるようになることを目指します。PEAKの学生も履修できます。今年度Sセメスターからイタリア語を学び始めた人やイタリア語の初歩的な文法事項（冠詞、名詞、形容詞、直説法現在形）を既に学習した人を対象としたクラスです。 The aim of this course is to acquire basic communication skills in Italian through speaking and writing practices. The course is taught mainly in basic Italian and, if necessary, in English. This course is open also to the PEAK students. 評価方法 平常点と定期試験（最終授業時）。 Class participation and final exam. 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51017	A	イタリア語初級（作文）	大崎 さやの	木5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 イタリア語の初級文法を学びながら、作文の練習をします。 評価方法 平常点と定期試験（最終授業時に行います） 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : イタリア語練習問題集 著者（訳者）：ディ・ルッソ、長神、西本 出版社 : 白水社 ガイダンス 特に行わない。						
51082	A	イタリア語初級（作文）	野里 紳一郎	金2	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（作文） 目標概要 本講義では、作文演習を主目的としているが、その前提としての基礎的な文法の知識、およびその運用力は不可欠であろうから、まずその習得を目標とする。作文の演習にも配慮しつつ、現代イタリア語の基礎文法の理解をはかっていくことにしたい。 評価方法 定期試験。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : イタリア語練習問題集 著者（訳者）：マリーサ・ディ・ルッソ 長神悟 西本晃二 出版社 : 白水社 ISBN : 4-560-00739-xc3087 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50785	A	イタリア語初級（表現練習）	マルコ ビオンディ	水5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 E allora…? 目標概要 Questo corso è rivolto sia agli studenti che affrontano lo studio dell'italiano per la prima volta o con una conoscenza di base della lingua, sia a chi conosce già la grammatica ma vuole estendere la conoscenza del vocabolario e delle espressioni utili ad affrontare le situazioni più comuni della vita quotidiana. (この講義は、初めてイタリア語を勉強しようとする人も、文法の基礎はあるがよりボキャブラリーや表現を広げて、日常的な場で使えるようになりたいという人も対象です) 評価方法 Si terrà conto delle presenze, della partecipazione e interesse alle attività proposte in classe e ai risultati positivi conseguiti attraverso tali attività. 授業への参加と、クラスでのアクティビティーを考慮します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50316	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	池上 俊一	火2	162	1年 文科 理科
講義題目 初級イタリア語（初修）の応用 目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるためのコース。必修の時間にプラスして週に、読解・文法練習・作文を中心に運用能力をたかめる授業1コマと、会話聞き取りを中心に応用力をつけるネイティブの教員による授業1コマのあわせて2コマの両方を履修し、1年間のイタリア語学習によって、イタリア語の総合的な能力をしっかりと身につけて定着させ、今後さまざまな分野で用いることを確かなものとするのが目標。 評価方法 授業中の参加と定期試験とを併せて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50803	A	イタリア語初級(インテンシヴ)	マルコ ビオンディ	木1	K301	1年 文科 理科
講義題目 Bravissimo! 目標概要 Questo corso è rivolto a chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello principiante-elementare intensivo (A1).初修イタリア語・国際コミュニケーションのイタリア語科目に加えて、聞き取り・会話をより集中的に勉強したい人が対象です。 評価方法 Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. (出席点と平常点および最終試験を総合して評価します) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50087	A	イタリア語初級（第三外国語）	野里 紳一郎	月2	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語初級（第三外国語）I 目標概要 イタリア語の基本文法の理解。 評価方法 定期試験（最終授業時） 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Italiano... in partenza! イタリア語のスタート 文法と練習 著者（訳者）：東京大学イタリア語教材編集委員会編 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-01763-0 ガイダンス 特に行わない。						
50317	A	イタリア語初級（第三外国語）	宮坂 真紀	火2	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 初修イタリア語 目標概要 イタリア語共通教科書（東京大学イタリア語教材編集委員会編『Italiano... in partenza! イタリア語のスタート』）を用いて、イタリア語の基礎を勉強します。A semesterでは文字の読み方、文の組み立て方の学習から始めて、イタリア語の概要を理解するとともに初級レベルの文法の習得を目指します。 評価方法 学期中に随時提出してもらう課題と定期試験の結果をもとに評価を行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50874	A	イタリア語中級（表現練習）	マルコ ビオンディ	木2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語中級表現練習（Lingua italiana, espressioni di livello medio） 目標概要 すでにイタリア語文法の基礎的な知識の上に、ネイティヴスピーカの教員とともに、自然な発音と会話の力や作文力・語彙力をつけることをめざします。受講者の希望等にも考慮しながら、ビデオ教材なども交えて、イタリア文化をテーマに授業をすすめる予定です。通年で開講していますが、セメスターごとに独立して受講することが履修上も内容としても可能です。 評価方法 平常点と最終授業時の試験。それぞれの開講時の能力・経験を考慮し、受講を通しての達成度を評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50203	A	イタリア語中級（読解）	山崎 彩	月4	102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語中級（読解） 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目A系列 イタリア語テキスト分析Ⅱ として開講される。 イタリア語の基本的な文法を学習し終えた人を対象とします。イタリア語のテキスト（20世紀以降に書かれた小説あるいはエッセイ）を精読し、イタリア語の読解力の向上を目指します。授業で扱うテキストは受講者の興味や、どの程度イタリア語の学習経験があるのかなどを考慮して決めます。 評価方法 毎回の授業に十分予習して積極的に参加しているか、文法事項・作品の内容などをどれだけ理解しているかを、総合的に評価します。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51053	A	イタリア語中級（インテンシヴ）	マルコ ビオンディ	金1	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中級イタリア語の応用 目標概要 初修クラス受講者が集中的にさらにイタリア語能力を向上させるための中級コース。運用能力をたかめるため、読解と会話聞き取りの応用力をつけるネイティブの教員による授業。1年間の初修イタリア語学習の基礎の上に、イタリア語の総合的な能力を定着させ、さまざまな専門分野で運用するための能力を養成し、イタリア語によってイタリア文化の教養の基礎を学ぶ。 評価方法 授業中の参加と、小テストなどの学期中の課題を考慮し、定期試験とあわせて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51083	A	イタリア語上級（会話）	マルコ ビオンディ	金2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Facciamo un passo avanti! 目標概要 Questo corso è rivolto sia per chi desidera esercitarsi nell'ascolto e nella conversazione per il livello avanzato (B1).. 評価方法 Per la valutazione si terrà conto delle presenze (di almeno 3/4), della partecipazione, dell'interesse per la materia, del risultato di un minitest a metà corso e di un test scritto finale. 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50721	A	イタリア語上級（作文）	マルコ ビオンディ	水3	8-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 イタリア語上級作文（Lingua italiana- composizione di livello avanzato） 目標概要 L'obiettivo del corso è imparare come scrivere un testo accademico. Redarre un testo accademico non è una cosa facile, non lo è neanche nella propria lingua. Scriverlo in un'altra lingua porta la sfida a un nuovo livello. La scrittura accademica è piena di strutture e frasi fisse che sono probabilmente presenti anche nella tua lingua madre. 評価方法 Compiti durante il semestre e il test alla conclusione del corso 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50329	A	アラビア語初級（会話）	エベード イハープ	火2	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級（会話） 目標概要 本講義では、ネイティブ講師の指導により、Sセメスターに続き、アラビア語の基本的な文法、会話、読み書きの実践的なスキルを文化的背景とともに習得します。文法学習では、アラビア語の文字と綴り方、指示代名詞、人称代名詞や関係代名詞、名詞の性、単数・双数・複数といった基礎を習得します。また、日常会話に必須の語彙、挨拶や感謝の表現を身に付けると同時に、アラブ世界の日常生活、芸術、伝統、宗教文化について学び、アラビア語および文化に関する総合的理解を深めます。なお、本講義での使用言語はアラビア語ですが、講師との日本語でのコミュニケーションも可能です。 評価方法 ①アラビア語に関する基本的知識（体系・様式・発音）の獲得 ②アラビア語の四技能（書き取り・会話・聴解・読解）と基礎文法の習熟 The evaluation will be based on attendance and participation, as well as small tests conducted in class time. 試験:60% 評価基準 定期試験 平常点評価:40% 評価基準 出席点 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50431	A	アラビア語初級（第三外国語）	濱田 聖子	火3	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級 目標概要 1年間で、正則アラビア語（フスハー）の文法を概観する。辞書を用いて、アラビア語の文章が読解できるようになることを目指す。 評価方法 毎回の課題提出と学期最後のテストで評価します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代アラビア語入門 著者（訳者）: 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 : 大学書林 ISBN : 978-4-475-01838-8 ガイダンス 特に行わない。						
50787	A	アラビア語初級（第三外国語）	杉田 英明	水5	103	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語初級（第三外国語）Ⅱ 目標概要 アラビア文字の読み方から始めて、1年間で文語文法の構造を概観します。毎回、教科書の練習問題を割り当てますので、自宅での作業が不可欠です。 評価方法 定期試験（75%）と提出物（25%）による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代アラビア語入門 著者（訳者）: 黒柳恒男・飯森嘉助 出版社 : 大学書林 ISBN : 4-475-01838-2 ガイダンス 特に行わない。						
50764	A	アラビア語中級（第三外国語）	杉田 英明	水4	1223	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アラビア語中級（第三外国語）Ⅱ 目標概要 初級文法を一通り終えた方を対象に、文法事項を確認しながら、母音符号の付いた比較的簡単な読み物を講読します。自分で辞書を引きながら、文章の意味が取れるようになることを目標とします。これによって、母音符号のない文章が自由に読めるようになるまでの橋渡しをいたします。 評価方法 訳読の分担による。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50939	A	ヒンディー語初級(第三外国語)	藤井 毅	木3	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒンディー語（初級）：Introductory Hindi : बुनियादी हिन्दी 目標概要 インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口5億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。Aセメスターでは、指定教科書のSセメスター残り部分の10課から18課までを終えることを目標とします。 指定教科書を修了したのちは、平易な読み物を読んでみます。 評価方法 初回の授業を除き、毎回宿題が出ます。その出来を判断します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : Complete Hindi 著者（訳者）：Snell, R. and S. Weightman 出版社 : London: John Murray Learning, 2016 ISBN : 978-1444-106831 ガイダンス 特に行わない。						
50995	A	ヒンディー語中級 (第三外国語)	藤井 毅	木4	1211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒンディー語（中級）：Intermediate Hindi course : माध्यमकि हिन्दी 目標概要 インド共和国の連邦公用語であり、北インド出身のインド系移民のなかでも広く用いられ、推定話者人口5億人超を有する「共通標準ヒンディー語」を学びます。 ヒンディー語（初級）で用いたテキストの知識に基づき、実際のヒンディー語文を読むことにより、より深い知識を身につけることを目指します。 評価方法 初回の授業を除き、毎回、指定テキストの予習が不可欠になります。その出来を判断します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50940	A	インドネシア語初級 (第三外国語)	高地 薫	木3	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 インドネシア語入門2 (Indonesian language for beginners) 目標概要 インドネシア語はローマ字表記で、発音も日本人にとって比較的容易で、文法の簡易な言語である。この授業では、Sセメスターにインドネシア語を履修した学生を対象に、文章を読むために必要なインドネシア語の基本文法を完成することを目的とする。 Aセメスターでは、Sセメスターにおける授業内容を前提に授業を進める。 評価方法 出席、各回に行なう小テスト、定期試験を総合して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50996	A	インドネシア語中級 (第三外国語)	高地 薫	木4	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 インドネシア語中級 (Indonesian language for Intermediate Students) 目標概要 この授業では、インドネシア語既習者を対象に、原文の精読をする。講読するテキストは広い分野から新聞や雑誌の記事、エッセイ、短編小説などを用いる。 評価方法 演習の内容により評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51212	A	ベトナム語初級 (第三外国語)	加藤 栄	金4	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ベトナム語初級 目標概要 Sセメスターの学習をふまえ、引き続きベトナム語の初級文法を学ぶ。Aセメスターの授業では、基本文型を用いた口頭練習ばかりでなく、平易な会話文や読み物を辞書を使って読めるようになることも目標としている。 評価方法 課題の提出、小テスト、定期試験の成績をもとに総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50496	A	ベトナム語中級 (第三外国語)	大泉 さやか	火4	K112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ベトナム語文献講読 目標概要 ベトナム語文献の初歩的な読解力を身につけることを目標とする。 評価方法 授業における音読、訳読を見て、総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51170	A	広東語初級 (第三外国語)	吉川 雅之	金4	10-204	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 香港広東語の入門と初級 目標概要 広東語は香港と澳門（マカオ）で第1言語である他、中国国内では広東省・広西壮族自治区・海南省の華南3地域を覆うリング・フランカ（広域共通語）として、またベトナムやマレーシア、シンガポールを始めとする東南アジア及び世界の華僑社会では現地語や英語に次ぐ有力言語として広く使用されています。中国語の中では民族共通語（普通話）に次ぐ影響力を誇り、使用人口は全世界で約8000万人と推定されます。また文学作品・漫画・映画・歌謡曲・新聞雑誌記事などが広東語で書かれることも多く、香港を発信地とした文化的影響力が日本社会にまで及んでいることは周知の事実です。 この授業では社会的に均質で、対外的に影響力の最も大きい香港の広東語について入門から初級のレベルの習得を目指します。 評価方法 1. 定期試験と小テスト、平常点から算出します。 2. 平常点は、授業中の積極的な態度・学習姿勢を重視します。 3. 小テストは随時行います。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 香港粵語 [基礎会話] 著者 (訳者) : 吉川雅之 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-094-5 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50497	A	広東語中級 (第三外国語)	郭 文ホウ	火4	1223	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 広東語 (中級) 目標概要 本講義は広東語 (初級) を受講した学習者を対象にしたものです。スピーキングとヒアリングを中心にして、広東語の勉強を進めます。 評価方法 1) 定期試験、小テスト+平常点によって総合的に評価します。 2) 平常点は課題+学習態度によるものです。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 香港粵語[基礎会話] 著者 (訳者) : 吉川雅之 出版社 : 白帝社 ISBN : 978-4-86398-094-5 ガイダンス 特に行わない。						
50646	A	ヘブライ語初級 (第三外国語)	飯郷 友康	水2	761	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヘブライ語文法初歩 目標概要 ユダヤ文化を深く理解するために、また中東情勢の一端を把握するために、ヘブライ語の知識は欠かせない。この重要な、そして面白い言語の初歩を、なるべく実用的、実践的に習得したいと思う。ひとまずの目標は、自力で辞書を検索できるようになること——すなわち、文法の基礎を把握すること。そして、ある程度の複雑な長文を理解し得る読解力を身につけること。 評価方法 単元を終えるごとに簡単な宿題、また期末にレポートの提出を課す。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51089	A	上海語初級（第三外国語）	王 英輝	金2	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 上海語 目標概要 上海語を学習対象にし、前期で学習した発音と基礎的な文法事項をさらに発展させ、会話とリスニングを中心に練習し、簡単な日常会話ができるようになることを目的とする。 評価方法 小テストと授業への取り組みと定期試験の成績を総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレス 上海語 著者（訳者）：榎本英雄、范曉 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560085325 ガイダンス 特に行わない。						
50330	A	ペルシア語初級（第三外国語）	前田 君江	火2	K401	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ペルシア語テキスト読解 目標概要 年度前半に学習したペルシア語文法を用いて、テキスト読解を習得する。 あわせて未修の文法事項も学習する。 評価方法 授業参加の頻度による。 なお、学期末には、辞書持ち込み可の読解テストを行う。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
51226	A	セルビア・クロアチア語初級 （第三外国語）	山崎 信一	金5	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 セルビア・クロアチア語（初級） 目標概要 セルビア・クロアチア語の初等文法の基礎の学習を終えた者を対象に、読解力向上のための平易な文章の講読を行う。あわせて、文法事項の復習、簡単な会話の練習、簡単な聞き取りの練習などの機会を設ける。 評価方法 平常点による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
51019	A	ポーランド語初級(第三外国語)	小椋 彩	木5	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポーランド語初級 目標概要 引き続きポーランド語の基礎的な文法を学ぶ。簡単な会話ができ、辞書を活用できることを目標とする。 評価方法 平常点と定期試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレスポーランド語 著者（訳者）：石井哲士朗 出版社 : 白水社 ISBN : 9784560067949 ガイダンス 特に行わない。						
50647	A	タイ語初級（第三外国語）	浅見 靖仁	水2	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 タイ語初級（ภาษาไทยเบื้องต้น） 目標概要 Sセメスターからの継続。原則として、Sセメスターの授業を履修した学生のみに受講を認めますが、すでにタイ語の基礎的知識を持っている学生については、Aセメスターのみの履修も認めます。Aセメスターの前半は、テキスト第11課までを2週間に3課のペースで扱います。Aセメスター後半は、タイ語で書かれたウェブサイト上の記事や子供向けの本などを教材として用い、タイ語の読解力を向上させます。辞書を引けば、タイ語で書かれたウェブサイトなどを理解できるようになるのが目標です。 評価方法 宿題10%、定期試験90%。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレス タイ語 著者（訳者）：水野潔 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4560067819 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
51555	A	ポルトガル語初級(第三外国語)	牧野 真也	木4	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポルトガル語の基礎 目標概要 ポルトガル語を初めて学習する人を対象としており、Sセメスターの講義と併せて通年でポルトガル語の基礎的な文法を学びます。 評価方法 授業最終日の筆記試験で評価しますが、欠席1/4以上で受験資格を失いますので留意してください。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51556	A	ポルトガル語中級(第三外国語)	牧野 真也	木5	155	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ポルトガル語の基礎 目標概要 ポルトガル語の初歩的な知識を有する者を対象としており、ポルトガル語（初級）とポルトガル語（中級・Sセメスター）の履修内容を土台として読解力と聴解力を身に付けることを目指します。 評価方法 出席点5割＋平常点5割（講読の割り当て部分の発表など）で60点以上を合格とします。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50226	A	台湾語初級（第三外国語）	王 嵐	月5	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 台湾語会話 目標概要 台湾語は、もとは中国の8大方言区の中の「閩南語」であり（「閩」は古来福建省の別称）、17世紀の初頭以来、中国の福建省南部より台湾に大挙して移住してきた人々の子孫によって使われ始め、現在では、台湾「第二の公用語」とされ、60%以上の台湾人が使用している。台湾語の文法や音韻根幹は福建閩南語とほぼ同じだが、語彙の面において若干異なる。 この授業は、台湾に興味を抱く人のために、台湾語の発音や表記を学習し、名詞・動詞・形容詞等、簡単な日常会話及び基礎文法を学ぶ。 評価方法 平常点（授業への取り組み・出席状況）及び定期試験によって評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ニューエクスプレス 台湾語 著者（訳者）：村上嘉英 出版社 : 白水社 ISBN : 978-4-560-00364-0 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50331	A	モンゴル語初級（第三外国語）	荒井 幸康	火2	K303	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 モンゴル語 目標概要 初歩的な文法および語彙を習得し、辞書を引きつつ、新聞が読める程度の語学力を身につける 会話では、挨拶や簡単な質問および、自己紹介ができるようにすることを目標とする 評価方法 毎回小テストを行う予定であるので、その点数と最終テストおよび、授業での発言で評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50432	A	トルコ語初級（第三外国語）	高松 洋一	火3	1231	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 現代トルコ語初級文法入門2 目標概要 現代トルコ語の初級文法を習得する。S・A両セメスターの通年で完結するものとするため、Aセメスターは、Sセメスターの既習箇所の継続となる。最終的に新聞・雑誌等のトルコ語のテキストを辞典をひきながら読めるようになることをめざす。Aセメスターでは、受動の動詞、動詞の提案形、命令形、願望形、後置詞、可能の動詞、動名詞、副動詞、形動詞などを中心に学習し、初級文法をひととおりマスターすることを目標とする。 評価方法 原則として定期試験の成績をもとに評価するが、随時行なう課題レポートも考慮することがありうる。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : トルコ語文法 初級・中級 [改訂版] 著者（訳者）：東京外国語大学 トルコ語専攻 編 出版社 : 東京外国語大学生協同組合出版部 ISBN : 978-4-903386-18-8 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50498	A	トルコ語中級（第三外国語）	高松 洋一	火4	1231	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 トルコ語中級文献講読Ⅰ 目標概要 現代トルコ語の初級文法をいちおう習得した者を対象に、文献講読を通じて、既習・未習の文法事項を整理しつつ、語彙を増やしてトルコ語テキスト読解のスキルを身につけることを目標とする。どのようなテキストに出会っても辞典さえあれば自分で問題を解決できるようになることを目指したい。あわせて講読する文献の内容を通じて、トルコの社会・文化・歴史などに関する知識を深めることも期待したい。 評価方法 学期末に試験は行わない。毎回指名してやってもらう訳読によって評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。						
50027	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編） 目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50227	A 1	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50279	A 1	日本語上級	宇佐美 洋	火1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（準備編） 目標概要 大学では、それぞれの専門分野において、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、日本語で論文やレポートを執筆していくために必要となる、基本的な考え方のトレーニングを行います。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション（学生同士の相互評価）・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50788	A 1	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その2 目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。 評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50808	A 1	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・語彙・ライティング 目標概要 「基礎科目日本語一列 (2)」『テーマで議論する日本語 - Active Learning in JSL -』でのテーマや読解テキスト・活動と連動して、構文・語彙習得、正確な精読と要約を行いつつ、ライティングやプレゼンテーション発表を行う。一列授業と連動し、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。 評価方法 出席、授業参加度、課題、クイズ、発表 教科書 次の教科書を使用する。 書名：『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
51020	A 1	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60001	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	月1	10-201	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（実践編） 目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60012	A 2	日本語上級	大久保 雅子	月5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60013	A 2	日本語上級	宇佐美 洋	火1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 論文執筆・アカデミックライティング（実践編） 目標概要 大学では、自ら問題を設定し、情報・データを収集したうえで考察を加え、その内容を日本語で、論文やレポートとしてまとめていくことが求められます。ただしそのためには、適切な方法論に基づき、準備を行っていくことが必要です。 この授業では、自分にとって興味ある問題を見つけ、その問題について自らデータ収集を行って、実際に小論文を執筆し、相互批評を行う、というプロセスを実践します。 評価方法 授業への参加状況（出席・小課題への回答等を含む） 最終プレゼンテーション・レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60204	A 2	日本語上級	西部 由佳	水5	10-202	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文学作品を読む・味わう・まとめる・伝える その3 目標概要 目標：日本の近代から現代にかけての文学に焦点をあて、作品に親しみながら、読む力、まとめる力、伝える力を養うことを目的とする。 概要：様々な文学作品に触れることで、内容理解の力、語彙力を高める。 さらに、読んだ内容をわかりやすくまとめ、作品について話し合う活動を行う。最終的には、自分の選んだ作品の内容をまとめ、その作品の良さを伝えるレポートを作成する。 評価方法 クイズ・課題・最終レポート・発表・出席・授業への貢献度を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
60205	A 2	日本語上級	奥川 育子	木1	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』と連動する精読・ライティング・プレゼンテーション 目標概要 『基礎科目日本語一列』でのテーマや読解テキスト・活動と連動し、アクティブラーニングのプレゼンテーション・レポート執筆を行う。一列授業と連動しつつ、相互に相補的な活動を行う。それぞれの授業目的・概要や履修方法等詳細は、初回授業での説明、および、それぞれの授業シラバスを参照のこと。 評価方法 出席、授業参加度、課題、発表、レポート 教科書 次の教科書を使用する。 著者（訳者）：『テーマで考え議論する日本語 - Active Learning in JSL -』 ガイダンス 第一回授業日に行く。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
60215	A 2	日本語上級	大久保 雅子	木5	10-205	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アカデミック・プレゼンテーションのための発音／Academic presentation and pronunciation 目標概要 授業でのスピーチ、ゼミ発表、学会発表等のアカデミック・プレゼンテーションに必要な発音スキルの向上を目指す。また、ニュース等の動画を活用した発音練習により、なめらかな発音を身につける。概要は以下のとおりである。 1) ニュース等の生素材を活用し、発音練習を行う。 2) 自分の発音を音響解析し、発音上の問題点を把握する。 3) 自分や他者の発音を振り返り、問題点を改善させる。 4) 日本語の正しいアクセント・イントネーションを知る。 5) 聞き手に伝わりやすいスピーチ・プレゼンテーションの発音を身につける。 評価方法 録音課題30% スピーチ・プレゼンテーション30% 授業中の課題40% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50532	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	松浦 高志	火5	117	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語初級（後半） 目標概要 1. 目標 初級文法を1年かけて学び、古典ギリシア語で書かれた簡単な文章を読めるようにする。なお、当授業の学修に要する負担が大きく、そのために履修をためらったり、途中であきらめてしまう学生も少なくないので、今年度からはできるだけ負担を減らせるよう努力する。 2. 古典ギリシア語 ギリシア語の重要性については改めて説明するまでもないだろう。古代ギリシア文明は西洋文化の原点であり、西洋文化の根底にあるものを知ろうとすれば、必然的に古代ギリシア文明に触れることになる。古代ギリシア語を学ぶのは容易とは言えないが、これを学ぶと、古代ギリシア語が擁する哲学・歴史学・文学・科学などあらゆる分野の膨大な文献に直接触れることができ、それらがどのように西洋文明やその他の文明に影響を与えているのかを知ることができるようになる。 ギリシア語の文献は紀元前15世紀頃の線文字B粘土板にさかのぼる。使用地域はやがて東地中海地域全体、一時はさらにインド方面にまで広がった。古典ギリシア語とは、紀元前5-4世紀にアテーナイを中心とする地域で使われていたギリシア語のことを言う。これを学べばほかの時代・地域のギリシア語や新約聖書のギリシア語も容易に学び得る。文献の豊富さゆえにラテン語、サンスクリット語などとともに印欧比較言語学に豊富な資料を提供するという点でもギリシア語は重要である。 3. 負担軽減について 過去2年間の授業評価アンケートやその他のアンケートの結果を考慮すると、授業時間以外の予習・復習・課題に要する自主学習の時間が4時間を超える学生が大半を占めている。これを当授業の標準と考えられる、おおむね4時間以内に収められるよう努力する。 評価方法 「古典ギリシア語初級（前半）」(Sセメスター)とは異なり、定期試験は実施しない。小テスト（50点）、練習問題の発表状況・原典講読の訳読状況（50点）で評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『古典ギリシア語初歩』 著者（訳者）：水谷智洋 出版社 : 岩波書店 ISBN : 978-4-00-000829-7, 3,500円＋税 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50809	A	古典語初級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木1	156	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語の手ほどき（のつづき） 目標概要 古典ギリシア語で綴られた平易な文章を読解するための力を培う。 評価方法 平常点と定期試験による。平常点とは、授業時間中、教科書の問題演習をする際に、自己の予習結果を発表する事で積み上がる点の事を謂う。「出席点」なるものは存在しない。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 古典ギリシア語初歩 著者（訳者）：水谷智洋 出版社 : 岩波書店 ISBN : 4-00-000829-3 ガイダンス 特に行わない。						
50877	A	古典語中級（ギリシア語）Ⅱ	上野 慎也	木2	8-420	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 古典ギリシア語散文講読 目標概要 古典期（前五～四世紀）のアッティカ方言で綴られた散文を精読する。初級で習得した文法の運用能力を錬磨し、実際の読解に必要な作品の背景について基礎知識を蓄える。 評価方法 平常点による。毎回の訳読の首尾を以てこれに当てる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50332	A	古典語初級（ラテン語）Ⅰ	ヘルマン ゴチェフスキ	火2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語初級（Ⅰ）－名詞形容詞変化と動詞の現在形を中心に 目標概要 ラテン語は古代から近代まで広く使われた言語で、さまざまな学問分野で読まれる文献も多種多様だが、その基礎勉強を提供するこの授業は古代（紀元前後一世紀ごろ）の「古典語」の文法と基礎単語を一年間のコースで身に付けることを目標としている。 評価方法 試験（最後の授業で実施） 教科書 教科書は以下の二冊を使います。生協でお買い求め下さい。生協で手に入らない場合（過去には有った）授業で教科書を手配します。 Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Pars I: Familia Romana Focus Publishing 同書の練習問題：Hans H. Ørberg Lingua Latina per se Illustrata, Exercitia Latina IFocus Publishing ガイダンス 第一回授業日に行う。						
50028	A	古典語初級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月1	114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語初級 目標概要 辞書を使って独力でラテン語の簡単な文章が読めるように、基本的な文法事項を身につける。 評価方法 平常点と定期試験に基づいて評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	曜 限	教 室	対 象
50088	A	古典語中級（ラテン語）Ⅱ	井上 秀太郎	月2	8-416	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ラテン語散文講読 目標概要 共和政末期の散文を丁寧に読むことにより、ラテン語を読解する能力を向上させる。初級の授業で身につけた知識、特に文法的な事項を逐一確認しながら、読み進めていく。 授業では前期に引き続きキケローの法廷弁論『カエリウス弁護』を読んでいく。古来名作の誉れ高い本作を読むことで、ラテン語弁論の精華を堪能してほしい。 評価方法 平常点に基づいて評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。						
50280	A	古典語初級 （サンスクリット語）Ⅱ	高橋 晃一	火1	104	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 サンスクリット初級文法 (II) 目標概要 古典サンスクリット語の初級文法を習得し、平易なサンスクリット文を読解する運用力を養成することをめざす。 Aセメスターは、文法の後半部（動詞の変化・複合語）を扱う。 サンスクリット語は古代・中世インドで聖典に用いられ、仏教などを通してアジアの文化にも少なからぬ影響を与えた言語である。また、印欧比較言語学においては、ギリシア語・ラテン語とならぶ重要な位置を占める。サンスクリットを学ぶことは、古典教養の基礎を身につけることである。 授業は文法の解説と練習問題による演習を組み合わせる。 評価方法 授業参加状況（練習問題への取組と課題の提出を含む）と、試験（学期中に行う小テストを含む）による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 『サンスクリット語初等文法』 著者（訳者） : J.ゴンダ（鏗淳訳） 出版社 : 春秋社 ガイダンス 特に行わない。						

総合科目 A 思想・芸術

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50789	A	言語比較論	小野 秀樹	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	水5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 他言語との比較対照（日本語・英語・中国語の対照研究および言語類型論の観点など）から見る現代中国語の様相 目標概要 現代中国語（共通語）は、SVO型言語に属しているが、言語類型論や言語の対照研究に基づく観察によれば、典型的なSVO型言語とは異なる特徴をいくつも有していることが分かる。受講者にとって馴染みの深い言語である日本語と英語とを主たる比較対象とし、これらと対照することにより、中国語のさまざまな特徴を概観したうえで、ひとつひとつの現象に関して考察を加え、中国語という言語の実態を把握することを目指す。 評価方法 期末レポートを課すが、通常の授業における参加状況も考慮して総合的に成績を評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50333	A	言語応用論	加藤 恒昭	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	火2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 言語とコンピュータ 目標概要 言語（言葉）は、人間間のコミュニケーションの主たる手段であり、様々な知識を記述・記録するためにも用いられる。このような重要性のため、言語によるコミュニケーションや知識の活用を加速する目的でコンピュータを用いる自然言語処理の研究開発も盛んで、ワープロやWeb検索などが日常的に利用されている。本講義では、このような言語を、科学する立場から眺めていくとともに、そのような言語の科学を応用した自然言語処理技術の仕組みを学んでいく。言語学と言語に関する情報処理のトピックをバランスよく配置し、分野を超えた広い視野で言語を考えることを目指す。言語学、情報処理、いずれの知識も前提としない、むしろそれらに初めて接する初学者を主な受講者とした内容とする。 評価方法 学期中2~3回課す小レポート、学期末に課すレポートを半々程度に勘案して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50334	A	翻訳論	山本 史郎	教養学部(総合文化) 言語情報科学専攻	火2	157	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 翻訳論入門 目標概要 日本の文化の形成には翻訳の果たしてきた役割が大きい。そのため翻訳について論じられることが多いが、その種類や問題意識はきわめて多種多様であり、いまだに共通の議論の場が形成されているとは言いがたいのが現状である。そこで、本講義では、翻訳とはどのような行為なのかというところから始めて、「翻訳論」は何を対象にするのか？どのように論じるべきなのか？何が目標なのか？などの問題について、受講者の学生諸君と一緒に考えていきたい。 評価方法 講義への出席と議論への参加、課題の提出、最後試験の成績を総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51090	A	現代哲学	石原 孝二	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	164	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 他者を理解するための現代哲学／Contemporary Philosophical Theories for Understanding Others 目標概要 「私は他ならぬ私であって、他の誰でもない。私の思いは他人にはわからないし、他の人がどう思っているのか、私には本当のところはわからない。それでも私は私の思いを他者に伝えようとするし、私は他者の思いをある程度は理解できているようにも思える。」 私たちはなぜこのように考えるのだろうか。お互いの思いは分からないと考えるのはなぜなのだろうか。また逆に、ある程度は自分の思いを伝えることができるし、他者の思いを理解できると考えるのはなぜなのだろうか。この授業では、近現代の哲学や関連する思想や科学における様々なアプローチを手掛かりにしながら、この問題を考えていくことにしたい。 評価方法 授業への参加状況と定期試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51227	A	科学哲学	上田 知夫	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金5	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 科学哲学概論 目標概要 科学哲学についての導入的講義をおこないます。 特に、「科学的説明はなにか」と「科学的实在論について」という2つのトピックに着目して議論したいと思います。 評価方法 授業時に課す小課題と定期試験を併用します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51091	A	記号論理学Ⅰ (文科生)	鈴木 貴之	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	1101	1年 文科 2年 文科
講義題目 命題論理と述語論理を学ぶ 目標概要 ある前提から何が帰結し、何が帰結しないかを正しく見極めることは、日常生活においてもしばしば重要となることですが、かならずしも容易ではありません。記号を用いて前提と結論の関係を明確に扱えるようにしたのが、記号論理学です。この授業では、現代の記号論理学の基礎である命題論理と述語論理について、おもに真理表やタブローの方法を用いて学びます。証明の技術を身につけるだけでなく、記号を用いて論理を形式化することにはどのような意味があるのか、論理学と他の学問はどのように関係しているのかなどもできるだけ説明しながら進んでいきます。 評価方法 学期末に実施する定期試験（100％）で評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50029	A	記号論理学Ⅱ	岡本 賢吾	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月1	524	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 完全性定理から不完全性定理まで 目標概要 まず、古典一階述語論理の完全性定理を概観する。その上で、ゲーデルの不完全性定理に進み、その証明を一步步つ追る。(第一)不完全性定理とは、(I)自然数論としての最も基本的な力能 (i.e.再帰関数の表現可能性) を備え、(2)しかも、通常の意味での公理系 (i.e.再帰的に枚举可能な公理系) を成している、という2条件を満たす形式体系であれば、いかなるものであっても、それが無矛盾 (より詳しくは ω 無矛盾) である限り、必ず、証明することも反証すること (否定を証明すること) も不可能な文 (閉じた式) を含む、というものである。この定理の証明に関わる技術的な事項をできるだけ精確に説明し、この定理が持つ概念的な意義を適切に考察するための基盤を作ることを目指す。 評価方法 レポート (テーマは講義中に指示する)。なお、場合によって、数回出席を取り、この結果を肯定的な評価のためのデータとして使うことがある (否定的評価のためには使わない)。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51265	A	精神分析学	山田 広昭	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	金2	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 精神分析の歴史と基本概念 目標概要 精神分析が生まれ発展してきた歴史的状況を理解するとともに、その基本的な概念や方法論をフロイトならびにラカンの学説を中心に提示する。それによって、20世紀以降、精神分析が狭義の精神医学の世界を超えて、文学、芸術、思想、さらに人文科学全体に大きな影響を与えてきた理由を考えることが本授業の主たる目標となる。 評価方法 定期試験 (80パーセント) と授業への出席・リアクションペーパーの提出 (20パーセント) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50790	A	表象文化論	乗松 亨平	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	水5	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ドストエフスキー『悪霊』を読む 目標概要 19世紀ロシアの作家ドストエフスキーは、「近代文学」を代表する存在として読み継がれてきた。その一方で、「近代文学」はすでに終わったとも言われて久しい。ドストエフスキーの長編『悪霊』は、テロという現代的な題材を扱うとともに、ニーチェに通じる超人思想が語られたり、今日の「キャラクター小説」を思わせる側面もある。現代において「近代文学」はアクチュアリティを失ったのか、『悪霊』をさまざまな方法で読解することで考えたい。 評価方法 毎回提出のリアクションペーパーが50点、定期試験が50点。リアクションペーパーは毎回4点満点で内容を評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 悪霊 (上・下) 著者(訳者) : ドストエフスキー 出版社 : 新潮文庫 ISBN : 4102010173, 4102010181 ガイダンス 特に行わない。							
50878	A	美術論	桑田 光平	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	木2	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 「デザイン」を考える 目標概要 この講義では、産業革命後のアーツ・アンド・クラフト運動からはじまるモダンデザインの歴史を振り返り、デザインの歴史を概観することでデザインに対する歴史的視座を身につけると同時に、デザインとはいかなるもので、どのような可能性を秘めているのか、デザインの今後についても考えていく。 評価方法 平常点と期末レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51092	A	音楽論	長木 誠司	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	金2	学際交流 ホール	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 オペラを観る・オペラを知る④ 目標概要 昨年に続き、西欧の代表的な舞台音楽ジャンルであるオペラを観るためのイントロダクション的な授業である。今年度は「革命とオペラ」というテーマで作品を選んで、それらを中心とする。オペラはどのような視点で観られ・聴かれるものなのか。どのように観れば面白いのか。現在オペラ上演の最先端はどのようなになっているのか。オペラはすでに過去のジャンルなのか。以上のような疑問を持つ受講者を望むが、単なるオペラ好きも大いに歓迎する。少しでも別の観方が得られればよいと思う。 評価方法 毎回のレポート(感想文)、そして1回の実演体験によるレポート、および試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50648	A	比較文化論	今橋 映子	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	水2	8-320	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 展覧会カタログとは何か―駒場博物館資料室実習 目標概要 【展覧会カタログとは何か―駒場博物館資料室実習】 カタログは、美術および文化研究の最先端の動向や研究成果を知る、絶好の資料である。それに加え、価格や装釘、デザインなどの面においても、展覧会鑑賞者に様々な楽しみをもたらしてくれる絶好の「商品」でもある。 駒場キャンパスの美術博物館には、専ら展覧会カタログ(文学、美術、歴史等)を数千冊以上収集し続けている資料室があり、近年ではその質と量から専門家からも高く評価されている。 本授業では、以下の教科書を導入として、展覧会カタログとは一体何なのかを、多角的に検討する。本授業参加者は、通常閉架スペースであるこの資料室に入庫できる資格が与えられる。 展覧会カタログは通常、博物館や美術館がおこなう「企画展」で制作されることが多いが、そのテーマや内容は、「比較芸術」的な観点で分析すると、実に豊かな世界を形づくっていることが分かってくる。 授業参加者は、展覧会カタログの探索方法、読解法、分析及び批評方法を順次会得していくことになる。 参加者に特に予備知識は必要とされず、普段、美術(文学、歴史等)展に関心を深く持っていることが肝要となる。 また、資料室に直接立ち入る授業のため、関係する職員の方々ときちんと接することのできる参加者が期待される。 評価方法 授業参加度、小発表、学期末レポートによって、総合的に判断する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50228	A	比較文学	佐藤 光	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	K214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 比較文学研究入門 目標概要 比較文学とは、各国文学（英文学、日本文学など）の間の影響関係や対応関係を考察する学問です。この授業では比較文学の研究事例を（１）英文学と出会った日本、（２）日本と出会った英文学、（３）クロス・ジャンルの事例としてロンドンのミュージカル研究、という三つの観点から紹介します。歴史と文学をあわせて考える実証研究の事例集です。 評価方法 定期試験（持ち込み可） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50229	A	比較芸術	三浦 篤	教養学部(総合文化) 超域文化科学専攻	月5	525	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 西洋近現代絵画の見方 目標概要 19世紀、20世紀の西洋絵画の見方、考え方を学ぶ。Sセメスターの美術論「西洋伝統絵画の見方」で扱った絵画の体系が崩壊して、新しい近代のパラダイムに移行する時代が対象となる。19世紀のロマン主義にはじまり、印象派、ポスト印象派、20世紀の抽象絵画、ポップ・アートなど、現在にまでいたる歴史をたどっていくが、単純に時代順に語るのではなく、主題や造形様式や受容に関わるいくつかの重要な問題を設定して論じていく。広い意味における視覚芸術の機能、芸術と社会の関係、芸術家の意義や在り方等々、価値観が揺らぐ時代の美術を考えるためのテーマは少なくない。講義はスライドを使って、作品を具体的に分析しつつ行う。 評価方法 レポート提出 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : まなごしのレッスン ②西洋近現代絵画 著者（訳者）：三浦篤 出版社：東京大学出版会 ISBN : 978-4-13-083031-7 ガイダンス 特に行わない。							
51320	A	西洋思想史	納富 信留	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火2	1321	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 プラトン哲学とその展開 目標概要 西洋哲学の基礎を学ぶため、その原点として今日まできわめて大きな影響を与えている古代ギリシアの哲学者プラトンをとりあげ、彼の著作を読み解くことで、哲学の問題の立て方、考え方、議論の仕方を学ぶ。今学期はプラトンの代表作の中から、『ソクラテスの弁明』と『パイドン』をテキストとして、その内容と後世への影響を考察する。 評価方法 学期中に参考書を読んだの小レポートを提出してもらう（必須ではない）。最終回に授業内試験で論述式の問題に回答してもらう予定だが、最終試験については授業時に確認する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : ソクラテスの弁明 著者（訳者）：プラトン（納富信留） 出版社：光文社古典新訳文庫 ISBN : 433475256X もう一冊のテキスト『パイドン』については、授業時に紹介する ガイダンス 特に行わない。							
51443	A	経済思想史	寺川 隆一郎	教養学部(前期課程) 経済・統計	火1	1225	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 市場社会論としての経済思想 目標概要 現代の経済学では、市場は、資源を最も効率的に配分する機構として、洗練されたモデルで分析される。しかし、すべてを貨幣で評価する市場が、社会編成の中心原理になることについての思想的反省が行われることは少ない。歴史的には社会的義務が、貨幣の支払い義務に徐々に置き換えられる（例：租税の金納化）中で、全国的市場が成立し、貨幣を介した関係が中心となる市場社会が誕生した。貨幣化は社会関係を流動化、個人化することで、資源配分の効率を高めるが、同時に、その強力な遠心力は、社会関係への解体圧力として作用する。このような機構が、われわれの社会の中でどのように位置づけられるのか、またどのように位置づけるべきなのかを問うのが経済思想である。本講義では、市場と社会の緊張関係について論じた過去の重要な経済思想家たちの議論を概説することで、市場社会論の多様な視点を紹介する。 評価方法 学期末に授業内試験を実施する。討論時間での発言や、リアクションペーパーの提出は平常点として加味する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

総合科目B 国際・地域

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51093	A	国際関係論	鶴見 太郎	教養学部(前期課程) 国際関係	金2	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際社会におけるミクロとマクロ 目標概要 国際関係論の対象は国際社会（地球社会）である。地球大の、あるいは広範な地域にわたる制度や勢力、経済、法、さらには文化や記憶がテーマになることが多く、議論のスケールは壮大である一方で、どこかつかみどころのない話に感じられることもある。人々が日常的に実感できるミクロな次元とそうしたマクロな次元はいかに関わるのか。例えば、誰も望まない戦争や貧困はなぜ発生し、誰もががかわるはずの環境問題に多くの政府が後ろ向きである一方で、それなりに環境保護の流れが生まれるのはなぜか。本講義では、国際社会を複数の次元や視点から分析し、それら相互のかかわりを見出していく視座の涵養を目指す。 評価方法 授業参加度30％・最終試験70％ 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50335	A	国際関係史	酒井 哲哉	教養学部(前期課程) 国際関係	火2	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際関係史 目標概要 幕末・維新时期から、太平洋戦争終結にいたるまでの、日本外交の展開を、東アジア国際秩序の変容と関連付けながら、歴史的に概観する。 評価方法 通常の筆記試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50336	A	現代国際社会論	石井 梨紗子	教養学部(前期課程) 国際関係	月1	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際協力論序説 目標概要 本講義は、途上国の「開発」に向けた非軍事的支援の総称としての「国際協力」(International Development Cooperation)について、その担い手となる主体と活動の内容を多面的に理解することを目的としている。具体的には、各国政府による政府開発援助(ODA)を始めとした二国間支援、国際機関による多国間支援、および非政府組織(NGO)を通じた支援についてそれぞれの特徴を概観する他、企業や個人による取り組みについても扱う。 国際協力活動への評価はとくく二極化しがちであるが、本講義を通じて「国際協力」を捉える尺度の多様性を学んで欲しい。講義の中では、講師の開発コンサルタントとしての経験に基づくプロジェクト事例等も紹介していく予定である。 国際政治イシューとしての「開発」や「援助」に関心を持つ学生他、途上国の社会・文化全般に関心を持つ学生の参加も歓迎する。 評価方法 定期試験の成績と講義への参加度合いから総合的に判断する。(ただし、受講者数が少ない場合、定期試験に替えてレポートの評点とする場合もある。) 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50997	A	地域文化論Ⅱ	OPPENHEIMER Melanie	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	木4	KALS	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 Cross cultural encounters, conflict and co-existence in colonial Australia. 目標概要 This course examines Australian history, society and culture from multiple perspectives and focuses on the experiences of both Indigenous peoples and European colonisers. Using a range of sources including film, art, maps and objects as well as paper based archival documents we explore a range of questions about conflict, identity and co-existence in historical contexts. The course begins with a study of the Australian continent before the arrival of the Europeans through to the early twentieth century. Classes will also offer opportunities for students to work on improving their English reading, writing and oral skills. 評価方法 1 skills-based in-class writing assessment 1 final in-class test In-class participation activities 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51213	A	地域文化論Ⅱ	谷垣 真理子 外村 大	教養学部(総合文化) 地域文化研究専攻	金4	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 アジア共同体の形成と一帯一路 目標概要 「一帯一路」は2014年11月に中国の習近平総書記が提唱した経済圏構想である。中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパにつながる「シルクロード経済ベルト」(「一帯」)と、中国沿岸部から東南アジア、スリランカ、アラビア半島の沿岸部、アフリカ東岸を結ぶ「21世紀海上シルクロード」(「一路」)の二つの地域で、中国は当該地域のインフラストラクチャーの整備を促進し、同時に貿易関係を強化し、資金の往来を活発化させようとしている。これは中国が主導的にアジア共同体、さらにはユーラシア共同体を構築しようという試みに思える。中国が国家として主体的に関与したことで、現実の生活で交流が優先されてきたアジア共同体は急速に現実のものとなりつつある。近代にいたる以前から歴史的にはりめぐらされた華僑華人のネットワークと、1980年代からの改革・開放政策の波によって世界へと展開していった新移民の存在が、これらの動きの基盤となっているのは言うまでもない。 本講座では中国の「一帯一路」に注目することで、新たな地域秩序と地域協力がどのように形成されているのかを考察する。本講座ではアジア共同体をめぐる各地域の基礎的な知識や研究の状況を伝え、アジア共同体構築の可能性や問題点について考える契機を与える。各地域の研究者から最新の研究動向を伝えてもらうと同時に、最近の動向を各地域の歴史的文脈で位置づけてもらい、グローバルな視野で現在進行中の事象を説明してもらう。事例の中にはマカオもとりあげられ、地域的重要性が決して領域の大小、経済力の大小からだけでは判断できないことを伝える。また、中国大陆から華僑華人政策について、台湾からは中国世界の国際関係理論モデルの第一人者を招聘し、日本人研究者の分析と異なる視点を受講者に感じ取ってもらいたい。 評価方法 当該諸問題に関して毎回簡単なコメントペーパーを出してもらう。また、期末には4000字～6000字程度のレポートを提出してもらう予定である。これらのほかに、授業への出席、授業における討論への参加貢献度などを総合的に判断して成績を評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51094	A	比較地域史	渡辺 美季	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 近世日中関係史 目標概要 日本と中国は、絶え間ないヒト・モノの出入りを通じて、歴史を大きく共有してきた。本講義では、前近代の日中関係史、特に明の国際秩序の瓦解を経て日中両国の関係が再構築される16-19世紀前半(いわゆる「近世」)の両国の関係を、日本・中国双方の視点から、また琉球・朝鮮などのアジア諸地域の動きも視野に入れて、多元的に論じていく。なお単に通史として講義するのではなく、各時期を特徴づけるようなトピックを取り上げ、それに関わる史料の読み解きを通じて理解を深めることに重点を置きたい。二国の関係史を学ぶことで、それぞれの歴史を客観的に捉える視点を養ってほしい。 評価方法 授業への参加度、授業中の課題、学期末のレポートなどを加味して総合的に判断する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
51214	A	日本文化論Ⅰ	松岡 心平	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金4	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 演劇人としての世阿弥 目標概要 世界の演劇を見渡してみても、世阿弥ほどマルチな演劇人はいないだろう。この小柄な名優は座長としてプロデュース業もこなしつつ、多くの脚本を書く劇作家であった。演出家としての才能を発揮し、その鋭い批評家の視線からは多くの演劇論が生み出された。稀代のたいこもちまたは、日本有数の思想家であり教育者であった。 こうした世阿弥の生涯を、彼が生きた時代をしっかりと見つめながら、稚児期から老年期までたどってみたい。もちろん、その主著『風姿花伝』や『花鏡』における「花」の思想、あるいは「離見の見」といった世阿弥の演劇的思考の頂点を示す言葉に触れることになるだろうし、「井筒」のような主要な能にも触れることになるだろう。 評価方法 定期試験により評価 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50791	A	日本文化論Ⅱ	谷口 洋	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	水5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日本文化にとって「漢文」とは何か 目標概要 「漢文」は、高等学校で国語科の古典領域の一部として学ばれている。国語の教科書に載っているものには、日本人の作品もあるが、多くは中国のものである。外国人によって、外国語で書かれたものが、自国の古典の重要な一部分として学ばれているのである。 それだけでなく、日本の伝統を語る文脈においては、しばしば漢文に由来する語彙や文体が使われる。外来のものであったはずの漢文は、現在ではむしろ、日本の伝統を強調するものとして機能しているともいえる。 ふだん何気なく見過ごしているこれらの点を改めて考え、日本文化の一つの側面について、また古典とは、伝統とはといった問題について考える契機としたい。 評価方法 期末のレポートを主とし、授業での討論・課題等の状況を勘案する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
51095	A 1	日本語日本文学Ⅰ (理科生)	出口 智之	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	159	1年 理科 2年 理科
講義題目 鉄道と文学の明治 目標概要 明治期、日本中に急速に張りめぐらされた鉄道は、政治・経済・産業・社会生活等、様々なレベルで人々の生活に変化をもたらした。本講義では、明治中期に活躍した根岸党と呼ばれる文人たちを中心に、彼らが各鉄道路線に乗ったおりの紀行文を取上げ、描かれた鉄道という観点から、鉄道が文学に与えた影響を考える。これにより、鉄道の発展の歴史を学ぶとともに、明治の人々が新しく開通した鉄道についてどのように感じ、捉えたのか、その認識や感覚を知る。歴史上、新しいテクノロジーが文化にもたらした影響と、それを受けた人々の心情を考察することは、現代にも続く重要な視点を獲得することにつながるはずである。 評価方法 ターム終了後の筆記試験（持込み不可）によって評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 汽車に乗った明治の文人たち—明治の鉄道紀行集 著者（訳者）：出口智之 出版社 : 教育評論社 ISBN : 978-4-905706-81-6 ガイダンス 特に行わない。							
51096	A	日本語日本文学Ⅱ	小森 陽一	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金2	162	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 夏目漱石『道草』を読む 目標概要 夏目漱石の唯一の自伝小説『道草』を、「記憶」と「想起」を軸に精読する 評価方法 最後の授業で講義内容についての試験を行う 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 道草 著者（訳者）：夏目漱石 出版社 : 岩波文庫 ISBN : 4003101131 c 0193 ガイダンス 特に行わない。							
51228	A	日本語日本文学Ⅱ	矢田 勉	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	金5	107	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 平安時代の文字 目標概要 文字の本質に関する理論的洞察、また日本における文字の歴史について、平安時代の文字社会の実態とその変化を通じて考える。 漢字の受容から時を経て、独自の文字である仮名を創出し、それを実用的に活用するとともに、美的にも成熟させていった平安時代人の文字生活がどのようなものであったか、多角的に見ていきたい。 評価方法 期末レポートによる。不定期に授業で小課題を課す場合があり、それも評価に加味する（最大で30%程度）。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50230	A	東洋古典学	狩野 雄	教養学部(前期課程) 国文・漢文学	月5	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中国古典詩文の「知」と「覚」 目標概要 「詩は志を言う」という言葉を用いるとき、詩には何か殊更に難しい、あるいは堅苦しいことばかりが詠まれてきたように思われてしまうかも知れない。しかし、われわれが物を考えるときに論理だけでは用が足りないように、知覚・感覚をすっかり離れたところに詩は立ち上がらない。 また、中国古典文学、特に詩文は、その多くが知識人、過半が官僚となるいわゆる士大夫階層の手に成るものであるが、功成り名を遂げた者たちが高らかに謳う作品ばかりが立ち並ぶわけでは決してない。むしろ、思うに任せなかった者たちの、時に怨嗟にも似た、強い思いが表出されていることがしばしばある。 なぜ詩人は詩を詠じたのか。この問いには答えられないが、杜甫の「語人を驚かさずんば死すとも休まじ」（「江上値水如海勢聊短述」）という句を見れば、そこにはある種の感動を惹起するものが存在していることが知られる。古代の中国人は口腔感覚における感動を「美」と呼んだのであった。 本講義では、「知」や「敗者」「感覚」などをキーワードとし、授業計画に記した詩人・作品を取り上げて読んでゆく。時に日本の古典文学にも触れながら、中国古典詩文に現れた「美」の諸相を考えてゆくこととしたい。中国古典文学への、作品を通じた理解が深まることに加えて、本講義を通して、詩の、文学の持つ面白味的一端を共有することを目指す。 評価方法 主として期末に課すレポートで評価する。授業時に課題を課すこともある。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50792	A	歴史社会論	長谷川 まゆ帆	教養学部(前期課程) 歴史学	水5	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヨーロッパ近世史と20世紀の歴史家たち 目標概要 この授業では、ヨーロッパのとくに近世期の歴史学研究に新しい領域を切り開いてきた20世紀の歴史家たちに焦点を絞り、中世と近現代社会の間にあったヨーロッパ世界のとらえ方がどのように広がってきたかを考える。また歴史家の扱う対象や分析と歴史家が生きる同時代の課題とがどのようにに関わりあっているかを考えたい。 歴史学研究の基礎的な方法や前提についても触れることになるが、講師の専門はフランス近世史であるため、主としてフランスに関する成果が中心となる。ヨーロッパおよびフランス近世期の概説的な知識やクロノロジックな流れについてはこの授業ではとくにとりあげない。基礎的な知識については、参考書を紹介するので、独自に勉強していただきたい。 評価方法 人数によってはレポートもありうるが、履修者数が20名を超えるときは、筆記試験になる。 上記のコメントシートも評価対象となる。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50810	A	歴史社会論	亀長 洋子	教養学部(前期課程) 歴史学	木1	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 中世ジェノヴァ人の対外進出～海に生きるジェノヴァ人～ 目標概要 この講義では、イタリア海洋都市国家の中でも中世地中海・黒海世界の雄として活躍したジェノヴァ人の行動様式の個性について、対外関係の問題を中心に、具体例を挙げながら考察します。扱う分野は外交・制度・植民とネットワーク・社会生活と多岐にわたり、時期も十字軍期から、近世前半まで幅広く扱う予定です。「ジェノヴァ人、すなわち商人」という言葉に象徴される、海洋都市国家の商人達のメンタリティー、中世のグローバリゼーションのなかで展開する国家と個人との関係などを楽しんで聞き、個々の歴史的事象の持つ意味を構造的に理解していただければ幸いです。ジェノヴァ人の活動領域は北西ヨーロッパからアフリカ・アジアまで幅広いですが、特に黒海・エーゲ海世界の話に力点を置きたいと考えています。 評価方法 学期末のレポート提出が1回あります。出席はとりませんが、レポート内容は講義内容に基づくものが求められます。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51319	A	歴史社会論	高山 博	文学部	水5	518	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 国際政治・経済・社会の変容とメディア 目標概要 グローバル化と情報化が急速に進展する中、世界の構造も日本の社会やシステムも劇的に変貌しつつある。国内外で活躍する人材には、国外の情報を的確に選別・分析し、世界の中における日本の位置や、世界全体の動きを冷静に見通す能力がますます必要とされている。この授業では、国内外のメディアから出される重要な情報の取得の仕方や分析の仕方を学ぶ。変革期を乗り越え、グローバル化した世界でリーダーシップを発揮できる人材となるために必要な知識の獲得と情報分析技術の取得を目指す。 最初の授業で、受講者をヨーロッパ地域、アメリカ地域、アジア・アフリカ地域の三つのグループに分け、毎週各グループから一人ずつ、その担当する地域に関する重要な記事（日本語以外の新聞・雑誌からのもの）の報告と分析を行う。 選考を行うので、氏名、学生証番号、学年、科類、連絡先（メールアドレスなど）とともに、受講希望理由をA4サイズの紙一枚にまとめ、最初の授業に持参すること。 ※履修人数を18名に制限する。 評価方法 授業での報告・ディスカッションを基に評価する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51097	A	近現代史	外村 大	教養学部(前期課程) 歴史学	金2	152	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日本の戦後処理と戦後補償 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目B系列 近現代史Ⅱ として開講される。 1945年8月15日に日本政府がポツダム宣言受諾を発表して終結させた戦争では、戦場となった国々の人びとに多くの被害をもたらした。また、戦争遂行にあたっては、日本の植民地としていた人びとを動員していた。これらに起因する問題は、1951年締結、翌年発効のサンフランシスコ講和条約や、それ以外の二国間協定で、賠償や経済協力という形態で、ある程度の「対処」が行われてきたとも言える。しかし、日本国としての補償の額やその方法が適切であったかどうかは議論がある。また、朝鮮民主主義人民共和国とは国交すら樹立しておらず、その地に住む朝鮮民族に対してはなんらの補償も行われていないというのが現状である。さらに、被害者は物的金銭的な問題のほかに、日本の過去の加害に対して明確な謝罪を行い、反省を示すことを求めており、これについても日本政府は各種の見解を表明してきたことも事実であるが、これについても十分ではないという批判がなおいまもある。 この授業では、日本の戦後処理の施策がどのように展開されてきたのか、侵略戦争や植民地支配の被害者にどのように対応してきたのか、なお残されている課題は何であるのか、その課題の解決を求めて展開されてきた被害者やその支援者の活動はどのようであったのかを論じていく。そのうえで、今後、私たちがどのようにいまなお残る課題に向き合うかを考えていく。 評価方法 授業での受講態度や討論への参加、貢献についての評価および学期末レポートに基づいて行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51229	A	近現代史	井坂 理穂	教養学部(前期課程) 歴史学	金5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 「歴史」をめぐる語り—近現代インドの事例から— 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目B系列 近現代史Ⅱ として開講される。 この授業では、近現代インドにおける「歴史」をめぐる様々な語りを取りあげ、それらがどのような政治・社会状況と結びついているのかを明らかにしながら、「歴史」を語るという行為がもつ意味を再考する。ここでは、学校教育で語られる歴史や、歴史家たちの間での議論ばかりでなく、国家レベルや地方レベルの政治の場で示される歴史観、映画や小説、漫画などに描かれる歴史観、さまざまな社会運動のなかで語られる歴史観なども取り上げる。これらの「歴史」のなかには、「自分たち」のあり方を規定したり、「自分たち」の権利を主張するための根拠として言及されるものもあれば、「他者」に対する批判や攻撃の根拠として示されるものもある。この授業では、こうした歴史をめぐる様々な語りを紹介し、それらを背景とともに分析しながら、インド近現代史への理解を深めるとともに、歴史を語ることの意味や、異なる歴史認識をもつ人々の間の対話がどのように可能となるのかについて考えてみたい。 評価方法 定期試験による。ただし授業中に回収する課題も若干の割合で評価対象に含める。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50337	A	歴史と文化	桜井 英治	教養学部(前期課程) 歴史学	火2	1225	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日本の中世社会 目標概要 現代歴史学の流れは、1970年代前半までの戦後歴史学の時代、70年代後半から80年代の社会史の時代を経て、現在はさしずめグローバル・ヒストリーの時代にあるといえようか。この間に日本中世史研究も関心や視点、方法等をさまざまに変化させてきたが、大きくいえば、日本の中世社会を分裂的、多元的な社会とみる学説と統合的な社会とみる学説を両極として、その間を揺れ動いてきたようにみえる。この授業ではこれまでの研究成果や論争史をふまえながら、日本の中世社会の特質を日本史全体の流れのなかで、あるいは東アジア諸地域との比較において整理・究明するとともに、今後の研究の進むべき方向性についても模索してみたい。 評価方法 学期末の筆記試験で評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
51321	A	歴史と文化	守川 知子	文学部	月4	524	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 歴史の中のイスラームとその社会 目標概要 本講義では、イスラーム社会の歴史的多様性に焦点をあてることにより、「イスラーム世界」とは何かについて考える。現在、世界人口の2～3割を占める18億人がイスラーム教徒（ムスリム）と見積もられているが、その歴史をひも解くと、「イスラーム」や「ムスリム」の実態は、地域や時代によって千差万別であったことが明らかとなる。西アジア、東南アジア、中央アジアから中国、北・東アフリカ、インド、ヨーロッパなど、歴史的に見てもムスリムが暮らした地域は世界中に広がっている。このようなイスラーム社会の歴史的多様性を理解することは、将来、文学部に進学し歴史研究や思想研究を志す学生はもちろんのこと、国際社会の一員として生きるすべての学生にとって意味あることとなろう。 評価方法 定期試験にて評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 特に行わない。							
50231	A	世界史論	小田 悠生	教養学部(前期課程) 歴史学	月5	514	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 「移民の国」アメリカの形成 目標概要 今日の世界では、全人口の3.4%に相当する約2億6千万人の人々が生まれ育った国・地域の外で暮らしています。その2割が居住する国がアメリカ合衆国です。また、アメリカ合衆国に暮らす人々の15%は国外の出身であり、第二世代の子を含めると総人口に占める割合は25%となります。さて、みなさんは、これらの数を高いと感じるでしょうか。実際には、アメリカの歴史を紐解けば、また他の地域と比べ、際立って高い水準にはないと聞けば、意外に感じられるでしょうか。この授業では、今日では「移民の国」として自他ともに理解されるアメリカの成り立ちを、18世紀末以降の環大西洋世界・環太平洋世界・南北アメリカ大陸における人の移動のなかに位置づけ、理解することを目指します。 評価方法 平常点・定期課題：30% 定期試験：70% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50338	A	文化人類学Ⅰ	田辺 明生	教養学部(前期課程) 文化人類学	火2	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文化人類学入門—現代世界を問い直す 目標概要 現代世界に生きる私たちにとって、人類学的知がもつ意義と可能性について論ずる。つきつめて言うならば、「自己」と「他者」、「人間」と「非人間」、「社会」と「自然」の関係における対立・分離（二）と融和・統合（一）の両面を奥深く認識することこそが、人類学的知の要諦である。一が二であり、二が一である世界とはどのようなものか。そうした知のありかたは、現代世界にいかなる意義と可能性を持つのか。私たちが生きるアクチュアルな問題群をとりあげながら、人類学からのオルタナティブの考え方を提示したい。本授業では、人類学的思考の基礎を学んでもらい、そこから現代世界を問い直すきっかけをつかんでもらうことを目標とする。 評価方法 授業毎のリアクションペーパー（30%）、最終レポート（70%） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51098	A	文化人類学Ⅱ	箭内 匡	教養学部(前期課程) 文化人類学	金2	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 文化人類学的思考—映像／イメージを通して学ぶ— 目標概要 文化人類学（以下「人類学」と略）はもともと、世界の諸民族を研究する「民族学」を原点とする学問だった。しかし、今日の人類学はそうしたイメージから大きくかけ離れたものになっている。「未開」や「伝統」はもはや人類学の中心的テーマではなく、今日の人類学者は、例えば先端科学のラボやインターネット上の世界などもフィールドワークの対象にするようになった。そのような現代人類学は、人類学の過去の学問的遺産とどのように連結しているのか。そして、そうした伝統の上に立つ現代人類学は、どのような独自の知見を我々にもたらしてくれるのだろうか。 過去から現在そして未来の人類学へと向かう、こうした流れの全体を見通すために、映像（写真を含む）は有益な土台となってくれる。人類学者はフィールドワークという作業をつねに重視してきたが、そこで大事なのは、「言葉で表現されたもの」と同じかそれ以上に、「言葉で表現されていないもの」であって、映像は、うまく使うならば、この後者（およびその前者との関係）をダイレクトの感じ取らせてくれるのだ。それゆえこの授業では、映像的素材を見ながら、フィールドの現場を間近で想像しつつ、古典的および現代的な人類学の独特の思考方法を学んでいってほしいと思う。 かつて「文化」、「社会」は人類学の基本概念であった。しかし実は、人類学は「文化」、「社会」の概念なしでも十分にやっていけるし、そういう考え方のほうが人類学的思考の今日的な現場に接近しやすいとも考えられる。この授業でのキーワードは、従って、社会・文化を次第に離れ、イメージ・自然・身体といったものになっていくはずである。このあたりの事情は、授業全体を追うなかで、少しずつ確実に理解していってもらえると思う。 評価方法 試験（予定）。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『イメージの人類学』 著者（訳者）：箭内匡 出版社 : せりか書房 ISBN : 978-4796703734 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

総合科目C 社会・制度

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50793	A	法と社会	山元 一	教養学部(前期課程) 法・政治	水5	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 法と社会——グローバル化時代の日本国憲法 目標概要 本講義は、日本国憲法とそれを取り巻く諸問題について検討し、それを通じて、憲法の基本原理とその現代的課題についての理解を深めることを目標とします。その際の視点としては、法の歴史的考察や比較憲法にも留意しつつ、グローバル化時代の日本国憲法がいかなる役割を果たすべきなのかについて、考えていきたいと思います。 評価方法 学期末に実施される試験に基づいて成績評価を行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50811	A	法と社会	西土 彰一郎	教養学部(前期課程) 法・政治	木1	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 法理論の探求 目標概要 ある論者の言葉を借りるならば、法理論とは「法システム全体が、環境に適合しつつその首尾一貫性を保つことができているかということについての、法システム内部における法の『反省理論』である」。この講義では、この意味での法理論をともに探求することを目的としている。その際、社会学における社会システム理論など隣接分野の知見を用いつつ、法の理論的反省を企てている「教科書」を読みとくことにより、以上の目的を追究してみたい。 理論的反省の経験は、「思考の型の中で全体を推論すること」である。したがって、法の内的視点からとはいえ、反省理論を探索することは、様々な分野の学生にとっても刺激的であるように考えられる。 評価方法 定期試験および授業の参加度で評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 法理論の再興 著者(訳者): トーマス・ヴェスティン(毛利透=福井康太=川島惟=西土彰一郎・訳) 出版社 : 成文堂 ガイダンス 特に行わない。							
50339	A	日本国憲法	渋谷 秀樹	教養学部(前期課程) 法・政治	火2	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 日本国憲法 目標概要 教科書は、以下の体系に沿ってかかれている。 第1章 憲法総論 1憲法概念、2憲法の性質、3法の支配(立憲主義)、4憲法改正の限界 第2章 人権総論 5人権の根拠と限界、6人権の享有主体、7私人間効力、8新しい人権 第3章 人権各論 9法の下での平等、10思想・良心の自由、11宗教の自由、12表現の自由、13刑事手続上の権利、14財産権、15生存権、16選挙権 第4章 統治機構総論 17権力分立、18民主主義と違憲審査制、19天皇、20平和主義 第5章 統治機構各論 21立法概念、22行政概念、23司法概念、24地方自治の本旨 授業は、より体系的なものに組みなおし、また適宜時事的な問題にも触れながら、憲法の基本が理解できるようなものとする。 なお、憲法の条文を適宜参照するので、教科書のほかに『六法』を用意されたい。 評価方法 定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 憲法への招待 新版 著者(訳者): 渋谷秀樹 出版社 : 岩波書店 ISBN : 978-4-00-431470-7 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50232	A	現代社会論	丹羽 美之	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	月5	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 テレビ番組で見る戦後日本 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 マス・メディア論 として開講される。 日本でテレビの本放送が始まって60年あまり。テレビは単に戦後日本の歴史を映し出すだけでなく、戦後日本の歴史を積極的に作り出し、動かしてきた。この授業では、ドキュメンタリー、ドラマ、バラエティなど、それぞれの時代に放送されたテレビ番組を視聴しながら、テレビと戦後日本の歴史を多角的に振り返る。 評価方法 ミニレポート、学期末レポートによって総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51230	A	比較社会論	重田 園江	教養学部(前期課程) 社会・社会思想史	金5	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統治の比較社会論 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 比較社会論として開講される。 社会を比較するにはさまざまな方法があると考えられる。 最初に思い浮かぶのは、文化人類学（社会人類学）的な手法であろう。これは、「未開」と「文明」に代表されるように、異なった社会構造や文化的価値観を有する諸社会を比較対照する方法である。 本講義で採用するのは、このような方法とはかなり異なる道である。それは、ヨーロッパ近代社会の特異性について内側から考察することで、それがいかにそれまでとは異なった社会、政治制度、経済体制、そして文化的な価値観を生み出したのかを示すというものである。そしてこの特異性は、ヨーロッパの外側へとさまざまなやり方で輸出された。この輸出と伝播についても言及する。また、ある時期まで、外部からヨーロッパへの文化的技術的な輸入や、他地域との並行関係が見られる。それらの点も念頭に置きながら、近代ヨーロッパ社会の出現、その特異性を位置づけることがテーマとなる。 講義では、近代社会の生成を「国家」と「経済」の出現を中心に描く。 「国家」の出現については、近代主権国家とその正当化としての社会契約論がよく知られている。この講義ではそれらを追究するのではなく、主権と対置される「統治」あるいは社会契約と対置される国家の保全に重点を置く。これによって明らかになるのは、社会を秩序立てる「技」としての統治がもつ汎用性、普遍性（どの社会にも適用可能という意味）と、それが近代ヨーロッパにおいてとった特異な形態の双方の側面である。 「経済」の出現については、これを概念史あるいは語彙の歴史の手法を用いて考察する。経済ということばが現在ののような意味で用いられるようになったのはいつなのか。それはどのような社会的背景において、また社会構造の変化によって起こったのか。これを歴史学とくに社会史の知見を援用して明らかにする。 人々が集まって暮らすかぎり、人間には社会があり、社会があれば支配従属関係、つまり政治と統治が存在する。その意味で政治と統治はどこにでもある。ではそれは、それぞれの社会でどのように固有の発展をしてきたのか。このことを知る最初の一步として、ヨーロッパ近代が前近代あるいは非近代に対していかに特異であるかを上記の観点から明らかにすることが講義の目標である。 評価方法 定期試験（論述）。 リアクションペーパーを通じた授業への興味関心の度合いと着眼点。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
51099	A	政治経済学	丸川 知雄	教養学部(前期課程) 経済・統計	金2	514	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 マクロ・ヒストリー 目標概要 人類の歴史を巨視的にとらえるさまざまな歴史観（マクロ・ヒストリー）を紹介し、その妥当性を検討します。 マクロ・ヒストリーとは、単に歴史を記述するものではなく、歴史の動きを内在的または外在的要因によって説明しようとする試みです。もちろん歴史学とは無縁ではありませんが、むしろ思想の系譜としては、哲学や政治思想、経済思想の分野から生まれてきたものです。 マクロ・ヒストリーには、技術や生産力の成長が社会の変動をもたらす、自然環境によって社会の発展パターンが決まる、といったように客観的な条件によって人類の歴史を説明するものと、民主主義や自由、あるいは特定の宗教などの理念が歴史を動かすと説明するものがあります。 また、おのおのの社会の内在的発展を見ようとする歴史観、社会の間の相互作用を重視する歴史観、さらに世界全体を見なければ意味がないとする歴史観など、歴史を見る単位による類型化もできます。 こうしてさまざまな歴史観を対比し、関連づけ、類型化することを試みたいと思います。また、理論の紹介にとどまらず、できればデータを用いて理論を検証することも試みたいと思います。 最後に、現在は歴史の転換点か歴史の直線路にあるのかともに考えましょう。 評価方法 レポートおよび定期試験によって行います。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50340	A	計量社会科学	清水 剛	教養学部(前期課程) 経済・統計	火2	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 計量社会科学/社会統計学 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 社会統計学 として開講される。 本講義では、「数値によって社会を見ること」の問題点と基本的な統計分析の考え方を学んでいく。社会に関するさまざまなデータは客観的に存在しているようなものではなく、それ自体が社会的な条件の下で形成される。この点を踏まえて、まずデータを「読む」とはどのようなことかについて講義した上で、その上で統計分析の考え方を述べていく。なお、必ずしも高度な統計の知識を前提とするわけではないが、基礎的な数学および統計の知識を持っていることが望ましい。 評価方法 定期試験による 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51231	A	計量社会科学	小林 正人	教養学部(前期課程) 経済・統計	金5	E26	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計プログラミング環境Rを使った社会科学のデータ分析 目標概要 【注意】この授業は、2014年度以前の入学者には、総合科目C系列 計量社会科学として開講される。 この講義で行うことは、 (1)Rプログラミングの技法の解説 (2)Rを用いて社会科学のデータ分析を経験すること の二点です。 その過程において、 (a)政策効果を評価するために「因果関係」のあたらしい見方を身に着ける。 (b)統計分析の基本技術を身に着ける。 (c)Rのプログラミング技法を身に着ける。 ことができるでしょう。 下巻のデータ分析も行いたいのだが、どうしても時間的に不足するので、その可否は進行状況をみながら判断する。 評価方法 授業における貢献と試験により評価を行う。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『社会科学のためのデータ分析入門(上)』 著者(訳者):今井耕介 出版社 :岩波書店 ISBN :400061245X 下巻も使用したいのだが、講義の進行状況をみながら判断する。 ガイダンス 特に行わない。							
51021	A	経済政策	安部 竜一郎	教養学部(前期課程) 経済・統計	木5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 経済政策を問い直す 目標概要 経済政策が常に論争的となるのはなぜか。国民経済を領域とする経済政策はグローバル経済のもとでどこまで可能なのか。環境問題や男女格差、貧困の是正が課題とされているにも関わらず、現実逆行しているようにみえるのはなぜか。本講義では、こうした問いに答えるため、経済政策の基礎的な枠組みを学びつつ、通例のマクロ経済学や厚生経済学など「狭義の経済学」の枠組みを超えて、自然と人間—社会との相互作用という視点から経済政策を考える。 評価方法 定期試験90%、レスポンスシート10%。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50233	A	現代教育論	丹野 義彦 松島 公望	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	1106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 教育・学校心理学 目標概要 教育・学校心理学に関連した以下のようなテーマについて、論点や事実を具体的に整理しながら解説する。 ①「教育現場において生じる問題及びその背景」 ②「教育現場における心理社会的課題及び必要な支援」 ●公認心理師資格のための実践心理学科目「学校・教育心理学」に対応する。 ●教育学や教育心理学に関するアンケートや調査を頻繁におこない、フィードバックしていく予定。 評価方法 試験とレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50089	A	教育臨床心理学	石垣 琢磨 松島 公望 石川 亮太郎	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月2	1101	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 臨床心理学概論 目標概要 臨床心理学は、多様な個々のクライアントの具体的福祉向上をめざす、実践（心理臨床）のための「学」である。しかし、それを学問体系として、あるいは、科学として理解するためには、精神分析学や精神医学とならび、認知・発達・社会などの心理学諸分野の知識が不可欠である。本講義では、「発達」をキーワードに、「臨床心理学の成り立ち」と、それに基づく「臨床心理学の代表的な理論」と介入法、教育支援についての理解を目的とする。 評価方法 定期試験を行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50998	A	教育臨床心理学	前田 基成	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木4	900	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 臨床心理学概論 目標概要 近年、いじめや不登校の問題行動のほか、自然災害や犯罪被害に関連して心のケア、カウンセリングということが社会的に注目されている。本講義では心の健康である精神保健、適応論と不適応、中学生・高校生の青年期に見られる問題行動などについて、その心理的メカニズムを臨床心理学の基礎知識に基づいて学習する。 評価方法 定期試験による。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60234	A 2	教育実践・政策学入門	新藤 浩伸	教育学部	火2, 金2	K501	1年 文科 理科
講義題目 教育実践・政策学入門 目標概要 (目標) この授業は、教育の「現場」と「制度・政策」がそれぞれどのように動いているのか、また両者がどのように関係しているのかを理解したうえで、現代の教育課題を分析する視点を獲得し、それらの課題について自分で考えることができるようにすることが目標である。 (概要) 教育の実践や政策に関わる領域は多岐にわたる。この授業では、主に社会教育、学校教育、教育行政を専門とする3名の教員が交代で授業を担当し、それぞれの研究分野について、教育実践と制度・政策の実態、および相互の関係がどう展開しているのかについて、基本的な事項を含めながら講義を行う。 評価方法 担当者ごとにレポートまたは小テストを課す。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51323	A 1	高等教育論入門	小方 直幸	教育学部	木5	515	1年 文科 理科
講義題目 高等教育概論 目標概要 この授業は、自身の経験をを超えて大学を理解する機会を提供することで、受講生の学生生活の一助とすることに加えて、大学そのもののへの関心を深めてもらうことを目標としています。そのために、学生生活に関わるいくつかの題材を取り上げ、日本の動向だけでなく諸外国の状況も踏まえながら、大学や学生生活のあり方を受講生と一緒に考えます。 評価方法 授業への参加状況ならびに最終レポートによって評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

総合科目D 人間・環境

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51442	A	地球環境論	亀山 康子 岡 和孝 角谷 拓	教養学部(前期課程) 国際関係	金5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地球環境論～問題への学術的なアプローチ／Studies in Global Environmental Studies～interdisciplinary approach towards environmental problem 目標概要 年々顕著になる気候変動影響や生物多様性喪失など、人間活動は、地球上のさまざまな環境を改変しつつある。そして環境の劣化は、人間の生存そのもののまで脅しかねない水準にまで近づきつつある。当講義では、以下のリサーチクエスチョンを踏まえて実施する。 ・科学的にどこまで解明されているのか？ ・問題があることが科学的に示されていても、解決に至らないのはなぜか？ ・科学的に不確実性が残る問題にどのようにアプローチすればよいのか？ 環境問題の解決には、現象解明から政策立案まで理解を深めることが求められるため、当講義は文系、理系にこだわらず、両者にとって相互理解を深められる内容を目指す。 評価方法 出席、レポート提出（3回ほど） 教科書 その他。 講義前にITC-LMSに資料をアップする ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50341	A	環境物質科学	松尾 基之	教養学部(前期課程) 化学	火2	514	1年 文科 理科
講義題目 物質循環と環境化学 目標概要 環境問題は近年、高濃度汚染による局地的な被害（いわゆる公害問題）から低濃度汚染による地球規模の慢性被害へと、質的に変化を遂げてきた。環境中に排出された化学物質はどのような挙動をとり、どのような運命をたどるのであろうか。そのことを考える際、忘れてはならない事は、もともと天然においても化学物質は動いているのであり、地球上での循環・滞留を繰り返しているという事である。 本講義では、環境化学・地球化学の立場から、環境中における種々の化学物質・元素の自然の分布とそれに対する人為の影響について検討する。具体的なテーマとしては、CO ₂ による地球温暖化、フロンによるオゾン層破壊、酸性雨などについても取り上げる。 評価方法 定期試験を行う。 なお、授業中に行うミニテストも加味する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50342	A	生態学	嶋田 正和 伊藤 元己	教養学部(前期課程) 生物	火2	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生態学 目標概要 本講義の初回は生態学とはどのような学問かを紹介した後、前半は嶋田が担当し、主に動物生態の視点から、資源の選択的利用／縄張りから社会の進化／個体数変動／動物をめぐる相互作用と共進化／生物群集と多種共存／生態系の物質循環とエネルギー流を解説する。後半は伊藤が担当し、主に植物生態の視点から、生物多様性とはなにか／保全生態学／植物と動物の共進化／植物の生理生態／植物の生態分布などを解説する。 全体として、基礎科学としての生態学だけに留まらず、人間社会との接点に位置する自然環境や生物多様性の保全、そして生態系への人為的負荷と地球環境への視点など、応用的な側面も併せて講義する。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50941	A	社会環境論	梶田 真	教養学部(前期課程) 人文地理学	木3	K212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 地域開発と地域の動態 目標概要 地域的不均等発展という言葉があるように、経済成長は必ずしも全国一様の発展をもたらすわけではなく、成長地域と成長から取り残される地域を生みだすことになります。このような中で、中央政府は“均衡ある国土の発展”といった観点から、経済成長から取り残された地域の開発を推進し、後進地域自身も格差を埋めようと様々な開発事業を行ってきました。しかし、こうした政策・取り組みは意図するような成果をあげることができたのでしょうか。また、経済面以外の部分を含め、地域にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。本講義では「虫の目」の視点から、個別地域の動態を丁寧に跡づけていくことによって、これらの点について考えていきたいと思います。 評価方法 成績はレポートによって評価します。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50204	A	社会生態学	近藤 章夫	教養学部(前期課程) 人文地理学	月4	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 都市経済地理学の概論 目標概要 都市を扱った地理学、経済学の研究成果をもとにして、都市経済地理学における方法論と研究対象への接近法を通じて、日本と世界における現代都市の諸課題について議論する。 評価方法 試験。授業終了時のリアクションペーパーやレポート課題なども評価に加味する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50234	A	地域生態学	永田 淳嗣	教養学部(前期課程) 人文地理学	月5	515	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人文地理学農山漁村地域調査入門 目標概要 国内の農山漁村の特定の地域を取り上げ、ローカルな生態・社会環境の制約と可能性の下で、人々がどのように生きてきたかを考察する。細かい調査・分析技術の習得よりも、まずは現場の人々の話にしっかり耳を傾けること、そして、具体的なデータに基づく論理的な思考の訓練に重点を置く。取り上げる対象・地域に対する知識の習得、データの収集と基本的な分析、議論には、相当な自主性と忍耐が要求される。1月以降に予定している短期の野外調査への参加を前提とする。受講希望者多数の場合は選抜を行う（15名程度）。 評価方法 通常の授業における課題への取り組み、野外実習本番での取り組み、最終レポートの内容を総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日を行う。							
50343	A	地域生態学	江口 卓	教養学部(前期課程) 人文地理学	火2	1222	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ブータンヒマラヤの地誌 目標概要 地理学の視点から地域をどのようにとらえるかを理解するとともに、ヒマラヤ地域について理解を深めることを目標とする。ブータンヒマラヤを中心に、ヒマラヤ地域の自然・社会・文化の特徴について概観しながら、相互の関係について考え、ヒマラヤにおける地域の成り立ちについて理解を深める。 評価方法 成績は、授業内の小テスト（1回）・レポート（1回）・受講態度などにより評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50722	A	人間行動基礎論 (理科生)	大久保 街亜	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水3	1313	1年 理科 2年 理科
講義題目 心理学概論 目標概要 「人の心の基本的な仕組み及び働き」について知識を身につけ体系立てて説明できること、並びに「心理学の成り立ち」について理解することを目指す。現生人類はHomo sapiens と呼ばれる。これは「人間、知的なるもの」と訳される。知性が人間の基本的特徴であることが、この名称からよくわかる。人間の知性の基礎となるものが記憶である。記憶がなければ、すなわち何とを覚えていなければ、日常生活もままならない。自分の家も分からなければ、自分の名前もわからない。すなわち、あなたが誰かということもわからない。そもそもわからないということすらわからないかもしれない。このような単純な例からも記憶が知的な活動の基礎であることがわかる。この講義では記憶と認識に関する議論を糸口にして人間の知的側面について理解を深め、心理学の基礎を理解し、願わくは「人間とは何か？」という根本的な疑問を考えるきっかけとしてほしい。 評価方法 レポート（30%、学期中に何回か提出を求める）、小テスト（20%、学期中に何回か行う）、定期試験（50%）の3つから総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日を行う。							
51266	A	人間行動基礎論 (理科生)	戸張 靖子	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月1	1323	1年 理科 2年 理科
講義題目 心理学概論 目標概要 ヒトもまた地球上に存在する生物種の一つであり、進化によってもたらされた産物である。よって様々な動物の行動がどのような仕組みで生み出されたのかを探ることにより、ヒトの心や行動を理解するためのヒントを得ることができる。本講義では、「心理学の成り立ち」や「人の心の基本的な仕組み及び働き」を学ぶことに加えて、遺伝子の働きから個体間の振る舞いまでの幅広い視点から動物行動の「なぜ」を学ぶことにより、ヒトの心や行動を理解する手掛りを得ることを目指す。 評価方法 ミニレポート（計3回）とレポート試験（70%） 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日を行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50344	A	情報認知科学	鈴木 宏昭	教養学部(前期課程) 心理・教育学	火2	1313	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 知覚・認知心理学 目標概要 記憶、推論、問題解決などの高次認知における、内的資源(情報処理機構、経験的知識、生得的制約)と外的資源(状況、道具、他者)の利用、およびその間の相互作用について論じる。これらを通して、人間の知性を多様な資源の巧みな組合せによる創発として捉える可能性を提示する。 評価方法 定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての認知科学 著者(訳者) : 鈴木宏昭 出版社 : 東京大学出版会 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50235	A	認知脳科学	石金 浩史	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月5	1313	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 神経・生理心理学 目標概要 <目標> ・「脳神経系の構造及び機能」を説明することができる。 ・視覚の特性とその神経科学的基盤を説明することができる。 ・「記憶、感情等の生理学的反応の機序」を説明することができる。 ・「高次脳機能障害の概要」を説明することができる。 ・脳と心の関係を調べる実験的技法を研究に应用できる。 <概要> 本講義では様々な精神機能の実現に深く関与する「脳」を研究対象とする神経科学分野に関して、いくつかのトピックを選び、基礎的な知識から最新の知見まで紹介する。この分野は心理学・生物学をはじめとして医学・工学・物理学等が結集してその解明に突き進んでいる学際的なフロンティア領域であり、幅広くその応用が期待されている。そして、脳研究の知見は「我々がいかなる存在であるのか」ということを垣間見せてくれる。授業では「心の諸特性」とそれを司る「脳のメカニズム」がどのような実験手法で解明されてきたのかを、視聴覚教材を用いて体験しながら学ぶ。講義では、まず、脳が実現している私達人間の視覚・記憶・感情などの心的特性を学ぶ。また、脳神経系の構造及び機能を学んだ上で、視覚特性を説明する視覚系の概要や記憶・感情等の生理学的反応の機序を理解する。また、高次脳機能障害の概要を学び、そこから示唆されたことを証明した実験研究などを紹介する。さらに、心理・生物データの特性や標準的な科学的取り扱い、およびそれらに基づいた論理展開や解釈の仕方も勉強した上で、原著論文のデータを交えつつ、「ニューロンの活動」から「皮質レベルの活動」、そして「行動や意識」のレベルにいたるまでの「脳」と「心」の関係を包括的に理解することを目指す。 評価方法 定期試験成績による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50812	A	認知脳科学	山下 祐一	教養学部(前期課程) 心理・教育学	木1	1108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 神経・生理心理学 目標概要 人間のこころと行動を、脳の構造と機能から理解しようとする「脳科学」の基礎を学ぶ。脳神経系の構造及び機能の基礎、知覚、注意、学習、記憶、感情等の生理学的反応の機序を題材にした脳科学研究手法の基礎、脳機能の失調としての精神障害、高次脳機能障害の概要、を学ぶ。さらに、人工知能やロボティクス、人のこころと行動の集合としての社会現象、脳機能操作の可能性とその倫理的問題・社会へのインパクトなど、脳科学と関連する幅広い分野にも触れる。 評価方法 定期試験の成績による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50090	A	適応行動論	齋藤 慈子	教養学部(前期課程) 心理・教育学	月2	1323	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ヒトの心と行動を進化から考える 目標概要 ヒトは他の動物と同様、進化の産物である。したがって、ヒトの心と行動も進化の産物である。そのような視点から見ると、人間の心や行動の理解がより深まる。本講義では初めに進化生物学の基本的概念を説明する。次にヒトがどのように進化してきたかを理解してもらうために、ヒトを生んだ系統である霊長類の特徴、ヒトの進化史について説明する。ヒトと霊長類、その他の動物の認知機能の相違についても概観する。その後、ヒトの心理や行動（配偶、養育、協力行動など）の具体的な例について、進化的観点から解説を行っていく。人間の心や行動に関する「なぜ」について、新たな見方を獲得する。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50649	A	社会行動論	北村 英哉	教養学部(前期課程) 心理・教育学	水2	1323	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 社会・集団・家族の心理学 目標概要 本授業は主に専門領域で言えば、心理学、なかでも社会心理学領域の講義を柱とし、家族心理学を補う。社会心理学は人間関係、集団関係の心理学領域であり、三面記事的な「社会」とは異なる。人間についても、自然法則、経済法則などといった他の分野と同様、あるいは独自の形で法則性が見られ、心理学とは人間を科学的に研究・解析してその法則性を樹立する学問分野である。イメージとしては行動科学、人間科学、認知科学といった用語の方が適合するかもしれない。社会心理学分野は多岐にわたり、個人の行動分野から対人行動、自己、対人相互作用、集団過程、集合現象、家族関係など広く、本講義は全体に目配りしながら、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」、「人の態度及び行動」、「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」など、「公認心理師」の社会・集団・家族の選択科目分野が学べるような講義になっている。 人間関係は誰もが一生経験し、どのような職業についても無関係であることはなく、また家族関係が拡大していく毎にその新たな必要性は日々高まっていく「一生使える学問分野」である。その内容はしかしながら単なる「人間関係のコツ、ノウハウ」のような通俗本に取り上げられているものでは決してなく、実験や調査などの実証研究を土台とした定義された専門用語によってはじめて正確に描写、記述することができるような専門的な知識である。しかし、その専門的な知識は深めるほどに個人の独創的・創造的な応用によって深く、鋭く日常と接続し、本人の技量にしたがって一生役立てていけるものである。そして重要なのはそれは自分ためだけではなく、他者のためにもなり、またそれは結局ひいては自分のためであることを利他行動の授業回において明確に示すであろう。 心理学は題材として人間を俎上に載せ、またその人間のひとは他でもない自分自身であるだろうが、だからと言ってそれは学ばずして十分理解できるものでもなく、そのパースペクティブを獲得することがなければ場合によっては一生気づかずに過ごしてしまう実にもったいない知見を豊富に含んでいる。そもそも実証を重視する心理学にあっては、人と環境の交互作用はその知見の中心であるが、人は直観的に「交互作用効果」が理解できるように頭脳がしつらえられていない。これはきわめて現代的な進展であり、そうした学問の進展は生涯学び続けなければ、どんどん古びてしまうものである。政策でさえ、このことへの理解不十分のために全国一律に同じ扱いという融通の効きにくい対策がとられていることも多いし、集団教育という形が多数を占める教育方法もそうした問題をはらんでいる。 世間で心理学や人間について誤った言説が溢れているのは人が容易に新たな知見を学習しないからであると言っていい。受講者は一生にわたってこれらの知識を現代人として更新していったほしい。そういう意味で本講義の目標はよりよい現代人になることであり、基本的な人間の性質というものへの感受性を高め、その捉え方についてより科学的なスタンスを自分自身に確立させることを目標とする。 評価方法 90%テストによる。それ以外の学期途中の小課題の提出2回によって10%を評価する。 社会心理学のモデルを専門用語によって理解し、正確に説明できるかが求められる目標である。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 :『進化と感情から解き明かす社会心理学』 著者（訳者）：北村英哉・大坪庸介 出版社 :有斐閣 ガイダンス 第一回授業日に行く。							

スポーツ・身体運動実習		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体の管理・操作技術を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目の授業で、種目選択を行う。場所は仮設体育館（雨天の場合は9号館掲示板を参照）。 スポーツコース（テニス、サッカー等）、フィットネスコース、サイエンスコースから選択する。その曜限に開設されている種目と説明は http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp を参照のこと。 種目選択以降は、各種目に分かれて行う。 ゴルフでは、東大検見川運動場でのラウンド実習が行われ、3回分の出席となる。		
授業の方法	所定の場所で実施する。基本的には自分の身体を動かして、実習することが第一であるが、選択種目、担当教員により様々なアプローチがなされる。雨天時等で実施場所に変更がある場合等の連絡は、教務課掲示板ではなく、9号館前の掲示板に掲示する。		
成績評価方法	1 出席 スポーツ・身体運動実習の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、そのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	種目選択後のキャンセルは認めない。併せて、1つの学期に3コマ以上登録することは認めない。 種目選択後の種目変更は、特別な事情（病気、怪我等）が無い限り認めない。		
学習上のアドバイス	1コマ1単位であり、2Sセメスター終了時までに2単位、2Aセメスターに2単位、計4単位を上限として履修することができる。盗難が多いので注意する。体育館は、土足、飲食禁止。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	担当教員	対象クラス
50160	月3	実技担当	2年 文科 理科
50345	火2	実技担当	2年 文科 理科
50650	水2	実技担当	2年 文科 理科
51100	金2	実技担当	2年 文科 理科

スポーツ・身体運動実習（メディカルケア）		開講区分	A
目標概要	週1回の授業を通じて 1.身体および身体運動に関する知識を習得する。 2.自らの身体運動を対象とする実験実習や実技実習を通じて、事物の本質的理解（肌でわかる・体感する）のための基礎技術を習得する。 3.スポーツやトレーニングなどの文化的身体運動の実習による動きの改善・身体能力の向上を通じて、自己の身体管理・操作技能を習得する。 4.生涯教育としての心身の健康教育・運動習慣の基礎作りを行う。		
授業計画	第1回目 種目選択（仮設体育館、雨天の場合は9号館掲示板を参照） 月3、火2、水2、金2のどれかのスポーツ・身体運動実習に出て、自分の選択するメディカルケアコースの登録をする。 出席できない場合は、9号館1階教員控え室で登録する。 第2回目以降 各自の選択した曜限での授業		
授業の方法	各自の状況に応じて、各自に合った運動を処方して行う。 毎回目誌をつけて、自己の状況を確認する。		
成績評価方法	1 出席 この授業の意義は実際に身体を動かすことで、身体運動の科学的法則を認識するとともに、健康・体力・技能を増進し、またその方法を習得することにある。そこで出席（遅刻、早退、見学を含む）はきわめて重視される。 2 達成度 各自が選択履修している授業について、学習達成度の評価を行う。 3 その他 授業中にどのような態度で参加し、どのように自己の役割を認識し、実行しているか、学習内容をどれだけ理解しているのか、等を評価する。		
教科書	教科書は使用しない。		
履修上の注意	初回のみスポーツ・身体運動実習の授業に参加する。次回からメディカルケアコースの曜限（月1、月5、火1、水1のいずれか）に移行し、教務登録もメディカルケアコースの曜限で行う。 体育館は土足、飲食禁止。 盗難注意。		
学習上のアドバイス	基本的には健康診断等で保健センターから指示された者が受講するが、本人の申し出によりメディカルケア担当教員の判断によって指示されれば、受講できる。また学期途中でも、メディカルケアコースに移動すること、また回復により元の授業に復帰することも可能なので、担当教員とよく相談する。		
関連ホームページ	http://idaten.c.u-tokyo.ac.jp		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜 限	授 業 科 目 名	担当教員	対象クラス
50031	月1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50236	月5	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア1）	実技担当	2年 文科 理科
50281	火1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア3）	実技担当	2年 文科 理科
50571	水1	スポーツ・身体運動実習（メディカルケア2）	実技担当	2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51269	A	スポーツ・身体運動実習Ⅱ	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	集中	シラバス 参照	1年 文科 理科
講義題目 スキー実習 目標概要 スキーは、代表的な冬季スポーツである。これらの種目は、雪山という特殊な自然環境のもとで、滑走のための特別な用具を用いて行われる。そのため、安全で爽快な滑走を楽しむためには、事故防止のための知識や特殊な身体操作法の獲得が必須となる。本授業では、スキー場での学外実習により、これらの知識・技能の獲得を目指す。なお、実習のための交通・宿泊・傷害保険、リフト代の費用負担が必要となる。用具を持っていない者は、用具レンタル代が別途必要となる。 ※身体運動・健康科学実習のAセメスター第1回目に受講手続きに関する説明を行う。 評価方法 実技上達、受講態度、技術の理解、および実技実習に関するレポート 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 教養としての身体運動・健康科学 著者(訳者) : 東京大学身体運動科学研究室 出版社 : 東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。							
50572	A	身体運動科学	久保 啓太郎	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	水1	K114	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 健康増進およびパフォーマンス向上のためのスポーツ科学 目標概要 運動(トレーニング)を実践することは、現代におけるあらゆる年齢層にとって大切であることは常識になりつつある。本講義では、一般人における健康増進、競技選手におけるパフォーマンス向上のためのスポーツ科学に関する基礎的な内容から、最近の知見も交えて概説する。特に、運動(トレーニング)に伴う身体諸機能(筋機能、骨強度、呼吸循環など)の変化から、それに基づいた適切な運動処方、トレーニング方法を紹介する。 評価方法 レポート2回(中間、学期末)を80%、平常点(出欠確認を兼ねた複数回の小レポート)を20%として、総合的に評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51101	A	身体運動科学	中澤 公孝	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	金2	K213	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 身体運動科学 目標概要 授業の目標： ニューロリハビリテーションやスポーツ科学の理論基盤としての身体運動科学を学び、実用科学としての身体運動科学の意義を、臨床応用の実例を通じて理解することが目標。 授業の概要： 脊髄損傷や脳卒中など、神経系障害のリハビリテーション理論やスポーツの基礎をなす身体運動科学についての講義を系統的に行う。 評価方法 出席状況、小テスト、レポートを総合的に評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 歩行のニューロリハビリテーション 一歩行の再獲得をめざした理論と臨床一 著者(訳者) : 中澤公孝 出版社 : 杏林書院 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50091	A	健康スポーツ医学	福井 尚志	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	月2	1331	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 健康スポーツ医学 目標概要 現代生活では身体を動かす機会が少なくなったことで健康がさまざまな障害されることが多くなった。糖尿病、高血圧、高脂血症（脂質異常症）、心臓病、脳血管障害などの生活習慣病がその代表であるが、肩こりや腰痛も多くの場合運動の不足と関連している。これらの健康障害を改善しまた予防するためにスポーツがすすめられる。一方、スポーツを一生懸命に行ったことでかえって健康を害する人もいる。過度の運動から病気になり、あるいはスポーツ中に怪我や障害を負うことも多い。スポーツ障害の原因は何か、予防のために何をすればよいか、また障害が起った場合スポーツ復帰のためにどういうことをすればよいのかを考え研究するのがスポーツ医学である。本講座では駒場にいる内科、整形外科、精神科、産業医、歯科の専門家から現代人が知っておくべき健康医科学、スポーツ医学などの医学的知識および健康に関する知識を学ぶ。 評価方法 筆記試験（講義を分担する教員がそれぞれ出題する） 教員によっては出席状況も考慮して評価する場合がある。 教科書 次の教科書を使用する。 書名：教養としての身体運動・健康科学 著者（訳者）：東京大学身体運動科学研究室編 出版社：東京大学出版会 ガイダンス 特に行わない。							
50282	A	身体運動メカニクス	吉岡 伸輔	教養学部(前期課程) スポーツ・身体運動	火1	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 スポーツ動作を科学する 目標概要 身体運動メカニクスでは、身体と運動をキーワードに、特にスポーツ動作について、自然科学的な研究成果を体系的に講義する。この授業では、通常、健康であれば意識外に追いやられる「身体や運動」について再認識し、それを自然科学的観点から直視して深く考えること、そしてダイナミックなスポーツ動作の成り立ちをバイオメカニクスの観点から理解することを目的とする。 評価方法 授業への参加態度および試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名：スポーツ動作の科学 著者（訳者）：深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 出版社：東京大学出版会 ISBN：978-4-13-052705-7 C3075 ガイダンス 第一回授業日を行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50879	A	情報メディア伝達論	越塚 登	情報学環	木2	K113	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 情報メディア伝達論（オープンデータによる、オープンイノベーションとオープンガバメント） 目標概要 近年、「情報」の「メディア表現」を活用した重要な取組の一つにオープンデータ（Open Data）がある。オープンデータとは、政府自治体や公的機関、教育研究機関、場合によっては民間企業等が保有する膨大な情報を、プログラムしやすい形式でオープンにすることによって、それらの機関組織の透明化や新しいビジネスやサービスの創出、また経済対策、イノベーション政策、地方創生などの目的に資する活動をいう。ここ数年、我が国のIT戦略の中核にすえられた取組でありかつ、世界的にもG8でオープンデータ憲章が採択されるなど、非常に活発に進められている。また、このオープンデータを核として、公共性の高いデータを出す政府自治体、それを使ってソリューションを提供する民間や個人が協業する、新しい官民連携の方式、またそれを行政に取り入れた新しいオープンガバメントのあり方（Government 2.0）も扱う。これは、まさに最先端の情報技術と公共政策、ビジネスモデルのクロスオーバーした領域であり、理系的知見と文系的知見がコラボレーションすることが不可欠である。 本授業では、まずはじめに、オープンデータとは何か、また世界のオープンデータの取組、それを利用した新しい情報サービスや行政問題の解決などを、世界における実例を挙げて解説する。例えば、本講義の担当教員である越塚が実際にリードしてきた、日本政府のオープンデータカタログであるdata.go.jp、公共交通オープンデータ、東京メトロオープンデータ、横須賀市・豊島区の自治体オープンデータ、札幌観光オープンデータなどの事例を紹介する。 (例) ・ data.go.jp (日本政府、内閣官房によるオープンデータカタログ) ・ www.odpt.org (公共交通オープンデータ) ・ http://sapporo.odcity.org (札幌オープンデータ) 次に、実際に、行政や企業の前線で活躍している外部ゲスト講師をお招きし、行政におけるリアルな課題、企業における課題、そして、実際の行政は企業が保有するデータを授業の中で公開し、その「オープンデータ」を使った課題解決について授業の中で考えていく。 最後、講義の中で紹介された、実社会における様々な課題を、オープンデータを使っていかに解決するかを、履修者自らが考案し、課題発表や討論を行って理解を深めていく。 評価方法 出席、レポート提出、課題発表 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50346	A	科学技術基礎論Ⅰ	橋本 毅彦	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	火2	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 技術の歴史 目標概要 古代中世から現代に至るまでの技術とその利用についての発展の歴史を概観することによって、技術自身や技術と社会の関係について検討する。 評価方法 授業開始後に伝える。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50237	A	科学技術基礎論Ⅱ	佐野 和美	教養学部(前期課程) 哲学・科学史	月5	1214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 科学技術と社会の間を考える 目標概要 科学技術は、日々進歩し複雑化している。私たちの生活を便利かつ豊かにしてくれる反面、難解になりすぎて近寄り難いものだと思われがちである。科学は決して万能ではない。しかし、難しくなりすぎた科学技術は市民にとって遠い存在になってしまう。市民自らが科学技術の是非を判断するべきとされ科学リテラシーの必要性が叫ばれているが、科学技術と社会との距離が遠い状況では、なかなか理解が進まない。 この授業では、科学技術を楽しむ市民の立場、そして科学技術を使う科学者・技術者の立場、双方の立場にたって科学技術のあり方を考えていく。 テーマは、生命倫理に関わる問題、地球温暖化やゴミ処理などの環境問題、福島第一原子力発電所の事故関連の問題など身近な話題を中心に、受講者の興味と関心によって変える可能性がある。ディスカッションをしながら、自分事として考えていくことを期待する。 評価方法 出席状況とレポート（2回予定）での評価。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50347	A	科学技術社会論	藤垣 裕子	教養学部(前期課程) 情報・図形	火2	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 科学技術社会論入門 目標概要 現代社会において科学／技術の発展はめざましく、生活の隅々にまで浸透し、かつ社会およびその構成員一人一人の安全やリスクに直結する形です。環境、食糧、医療、災害、情報、など、さまざまな分野において、科学／技術と社会との接点の問題の調停が求められている。遺伝子組換え食品や狂牛病の危険のある牛の規制をどうするか、情報技術のグローバル化にともなう各国の法整備の問題、医療技術の発達にともなう倫理の問題など、自然科学の個別の学問領域を越えた複合領域の問題となりつつある。ところが、既成の学問は、個別の学問領域によって分割されすぎていて、このような問題群がまっすぐに扱えないでいた。気がかりではあるが、各専門領域のメインタスクからは少々ずれているために今まで体系的に扱われてこなかった領域、あるいは各分野の人々が個別に論じ、相互に枠組みを共有してこなかったがゆえに今まで見通しの悪い領域、そこに科学技術社会論の研究領域がある。これまで文系と理系双方から等閑視されてきた、膨大な境界領域の問題を扱う学問分野である。科学者の社会的責任とは何だろうか。今後の科学技術のガバナンスはどうあるべきか。専門家と市民の科学コミュニケーションはどうあるべきか。さまざまな事例をもとに考えてみよう。将来の自らの研究成果の社会への影響に関心のある理系の学生、そして自然科学の個別の学問領域を越えて、外交や国際関係、法律そして社会制度の関係する複合領域の問題（科学技術のガバナンス）に関心のある文系の学生、双方に開かれている。 評価方法 レポート 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 科学技術社会論の技法 著者（訳者）：藤垣裕子編 出版社 : 東京大学出版会 ISBN : 4-13-003204-6 ガイダンス 第一回授業日を行う。							
51309	A	現代工学概論	六川 修一	工学部	木5	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 工学概論 目標概要 工学とは、科学技術を用いて経済的・社会的価値を生み出すための学問である。対象は宇宙、地球、地域、都市、社会、産業、製品、生活から生命、分子、原子まで、多岐にわたる。生み出される価値も、地球環境の保全、経済発展、利便性、快適性、安全安心から心の豊かさまで、幅が広い。さらに2011年3月11日の東日本大震災に直面し、工学にはまだまだ研究を進め解決すべき課題が山積しており、技術と社会との関わりを一層密にしなければならないことが再認識されている。工学がさまざまな価値を生み出すためのアプローチには、目標や問題を特定し、目標達成、問題解決の手段を設計するというニーズ立脚型アプローチと、目標達成、問題解決に活かされる技術を開発するというシーズ指向型アプローチが存在する。本講義では、工学に関わる複数の課題に関する各2回程度の講義を通じて、工学の全体像を把握するとともに、工学の基底をなす基本的な方法論を理解することを目的とする。 評価方法 6つのサブテーマに関してそれぞれ課題として与えるレポートと出席により総合的に評価する。 目安は出席60%、レポート内容40%。 （但し、レポート提出がゼロの学生には、出席回数に関係なく単位を付与しない） ・レポートは各教員が指示したメールアドレス宛に送付。 ・締め切り：2回目講義の1週間後。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日を行う。							
51316	A	現代工学基礎 I	泉 聡志	工学部	月5	K011	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 四力学とデザイン入門～ワークショップで学ぶ機械のデザイン 目標概要 機械工学科で伝統的に教えられてきた四力学（ヨンリキガク）は、機械力学、材料力学、熱工学、流体力学からなり、自動車、鉄道、航空機、ガスタービン、スマートフォン、医療器械など、あらゆるものの設計に必須の知識となっている。さまざまな機械を生み出すためのいわゆるエンジニアリングには、デザインの思考と発想力が不可欠である。そしてその発想をかたちあるものにする設計の技術、これを実際にかたちづくる生産加工技術、この2つの連携が我々の生活を豊かにする様々な機械を生み出す。 講義パートでは、主に四力学の講義を行い、力学のエッセンス・面白さを学んでもらう。また、生産加工の講義として、材料の造り方、それを必要な形に仕上げる加工技術を分かりやすく紹介する。 ワークショップパートでは、発想をデザインする方法を学びながら実践する。 評価方法 出席及びレポートによる 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日を行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51304	A	現代工学基礎Ⅰ	近藤 正章	工学部	水5	162	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物理情報システム工学-あらゆる工学を計測・制御・システムで斬る- 目標概要 物理的, 人工的, 社会的, どんな対象であれ, そこに望みの機能を工学的に実現する際, 1) 対象で生じる物理現象のモデリングと解析, 2) 計測による物理現象の本質の情報化, 3) 情報処理と制御による所望の機能の最適な実現 4) 情報の認識とシステムインテグレーションによる実世界への働きかけ, が重要となる。本講義は, 駒場生にこの工学的方法論のエッセンスを講義することを目的とする。具体的には, 以下の各項目に関し, 最先端の事例を交えつつ講義する。 1)物理現象の数理モデリング 未だ科学技術の土俵にあがったことがない社会的課題が生じたとき, まずその対象の中で生じている物理現象を数式で表現し, 問題として定式化することが重要となる。これを数理モデリングという。本講義では, 音声・生物・ロボット・環境など動きや空間的变化をもつシステムを例に数理モデリングの基礎を説明する。 2)信号処理の基礎: 情報理解と実世界インテリジェントシステムへの応用 信号処理とは, 生物・社会・経済・ロボットや自動車など動きや空間的な変化をもつシステムから計測された様々な信号を数学的に加工し, 望みの情報を取り出すことや機能を実現させるための科学技術である。本講義では, 音声信号など揺らぎのあるデータの扱い・統計的モデリングを例にとり, システムモデリングに基づく情報理解(認識・識別・判定)の基礎と実世界制御について説明する。また, 人間の音声情報処理を例にとり音源分離や音声認識やバーチャル・リアリティへの応用について説明する。 3)制御の基礎: 横断的制御理論とロボット制御への応用 対象を望み通り操るために理論的に体系化された制御理論は, 機械, 情報通信, 金融, 生物などへ応用可能な横断的技術である。本講義では, 制御理論として一般的な古典制御・現代制御について概説する。続いてロボットを例として, 制御に必要な機構や力学といったモデル化, 対象を計測するセンサと状態フィードバック, およびロボットが環境とインタラクションする際に重要な位置制御と力制御について説明する。 4)情報の認識と計算システムの基礎: 人工知能技術とそれを可能にする高性能計算技術 数理モデリング, 計測工学, 信号処理などを全て統合して計算システム上で情報を認識し, その結果をもとに実世界(生物・経済・社会・経済・ロボットなど)へフィードバックすることで, 実世界で機能する知的システムの実現が可能になる。本講義では, 情報の認識を担う技術として近年急速に発展している深層学習技術の基礎とその応用例, そしてこれを実現させる高性能計算システムについて説明する。 評価方法 計測, 信号処理, 計算システム, システムインテグレーションに関するレポート課題3つで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51301	A	現代工学基礎Ⅱ	小寺 正明	工学部	木5	E25	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 化学情報とシミュレーション 目標概要 社会問題を化学の力で解決に導くための基本的なシミュレーション技術や情報処理技術を、Microsoft Excel を利用した演習を通して学ぶ。将来、プログラミング言語Pythonなどを使って高度情報処理・AI技術を実践をするための基礎をつくる。 評価方法 出席、および、演習結果とレポート。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51305	A	現代工学基礎Ⅱ	岩佐 義宏	工学部	木5	112	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物理をエンジニアリング 目標概要 物理学とエンジニアリングは互いに切っても切れない関係で発展してきました。産業革命に刺激されて発展した熱力学、電磁気学の方程式から生まれた電信技術、ドイツ鉄鋼業から生まれた量子力学、など歴史を繙くとその例には事欠きません。そして現代、その関係はどのようになっているのでしょうか？この講義では、身近だけれども不思議な現象を実際にお見せするところから始めて、その謎解きとその奥にひそむ物理を解説し、さらに現代科学技術との関係までのストーリーを下記の4つのテーマについてそれぞれ「読み切り」で示します。そして、物理がエンジニアリングに「応用される」というだけの関係ではなく、エンジニアリング自体が物理学を変革してゆく様子を皆さんにお伝えします。 1. 超伝導 - 量子の世界からエネルギー革命へ 2. ナノサイエンス - オングストロームの世界を操る 3. 光の物理学 - 光と原子の物理学—レーザーで原子を冷やす 4. 理論物理学の挑戦 - 基礎方程式の力 評価方法 成績評価は出席とレポートで行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60232	A 2	現代工学基礎Ⅱ	梅田 靖	工学部	火2, 金2	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 デザイン思考によるイノベーション入門 目標概要 イノベーションを引き起こすためには、技術的、もしくは、非技術的な新しい発想が不可欠である。ただやみくもに考えても新しい発想が出てくる訳ではなく、そこには適切な思考方法がある。本講義では、イノベーションを引き起こすことが可能な人材になるために、広い意味での工学設計の分野で注目を集めている4つの思考法（本講義では、「イノベーションのための4つの道具」と呼ぶ）を学ぶ。四つの道具とは、デザイン思考、サービス設計、体系的設計方法論、および、ロジカル思考である。この4つの道具は、2つの座標軸によって分類できる。第一の軸は、より論理性、体系性を重んじる「論理的思考」と、より思考の柔軟性、発想の豊かさを重んじる「デザイン思考」である。第二の軸は、対象を、ものを中心に考える「実物指向」と、ものだけでなくサービスを含めて考える「サービス指向」である。 本講義のメッセージは、この4つの道具を学ぶことにより、各道具を比較し、各道具の特徴と限界を知ることができ、結果としてこの4つの道具をバランス良く使い分けることで様々な新しい発想を生み出すことが可能になる、ということである。 手法は、チームによる演習を通して実践的に学習し、最終回で与えられた課題に対してイノベティブな提案を行うプレゼンテーションを行う。 演習課題は、2015年度は、「一人暮らしの大学生の健康を増進する製品/サービス」、2016年度は、「自分たちの欲しい学内ファシリティ」、2017年度は、「超スマート社会における精神的well-beingを実現するための製品やサービスの提案」であった。今年は何が出てくるか？ 評価方法 出席、演習課題、レポート、プレゼンテーション、演習への積極性を総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51306	A	社会システム工学基礎Ⅱ	羽藤 英二 柴崎 隆一	工学部	水5	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間社会と交通システム 目標概要 交通システムは、現在の経済・生活・社会において、なくてはならないものである。また、近年の増え続ける地震などの災害や度重なる事故のことを考えると、交通システムと社会のあり方は新しいステージへと向かう必要がある。本講義は、道路交通、鉄道、航空など様々な交通システムと人間・地域社会との様々な関わりやそうした交通システムを支える様々な技術について、社会基盤学、都市工学、機械工学、電気工学をはじめとする「交通」の専門家が、歴史、人、環境、インフラ、車両、動力、制御などといった切り口から、最新の技術的展望や現代の交通政策的課題を含めて包括的に講義する。 評価方法 1)課題内容：全4回のレポートの合計によって評価します(各25点)。各講義で出されるレポート課題に対して、前期(第1回-第7回)から2課題、後期(第8回-第13回)から2課題を選んで、レポートを提出してください。4回提出された場合のみ、成績評価の対象となりますので、注意してください。 2)提出方法：レポートは、原則として前期は11/21講義開始時、後期は1/23 16:50までにITC-LMS上または教務課レポートボックスに提出するものとします。 3)レポートの体裁：表紙は不要。1課題ずつ別ファイルとして提出のこと。紙で提出する場合は、左上を必ずホチキスで綴じること。レポート冒頭に対象とした講義名及び担当教員名、及び学籍番号・氏名・科類を明記すること。以上の体裁を満たしていないレポートは採点できないことがありますので、充分注意してください。念のため、レポートの控え(コピー)を必ず取っておくこと。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51300	A	社会システム工学基礎Ⅱ	小泉 秀樹	工学部	木5	531	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 TOKYO: 東京の都市計画 目標概要 さまざまな人々を惹きつけてやまない世界一の大都市TOKYO それは、どのように発展し、制御されてきたのか、そしてどこに向かおうとしているのか？本講義では、TOKYO／東京を題材として、都市の発展とその制御について、歴史、文化、環境、経済、社会制度、計画・デザイン手法など総合的・包括的観点から講義を行い、都市の諸問題について自問し、またその将来を構想することにむけて必要となる学術的パースペクティブを獲得することを目的として実施する。 評価方法 出席点およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51298	A	総合工学基礎Ⅱ	上坂 充	工学部	水5	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 核科学応用概論 目標概要 現代科学技術を構築する基礎のひとつに、原子核や放射線や光の科学がある。ここでは放射線、医療、核融合、原子核・素粒子・放射線やレーザーを用いた技術から、これらを応用したシステムである原子力安全、エネルギー政策、レジリエンス、核融合、医療装置について概説する。 評価方法 出席数とレポートの採点により評価する 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51302	A	総合工学基礎Ⅱ	寺本 進	工学部	金5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 航空宇宙工学 —社会を豊かにする総合工学— 目標概要 “重力”に逆らって空を飛ぶ飛行機や宇宙機には無駄のない極限的な設計が求められます。そこには、流体、構造・材料、飛行・制御、推進などの様々な工学分野のバランスの取れた“統合”が要求されます。 ライト兄弟が1903年に、初の動力飛行を成功させた鍵も大空への熱意と各分野の統合にありました。ライト兄弟の精神を受け継ぎ、宇宙まで飛行できる“再利用型スペースプレーン”や“小型衛星”、“惑星探査機”、“超安全航空機”、“高信頼性ロケット”など、人類のさらなる希望をかなえる航空機・宇宙機の研究に取り組んでいます。 この「バランスよく統合された最先端技術」は、皆さんの社会・暮らしを直接間接に豊かにしています。 この講義では、航空宇宙工学科で行われている研究と社会の関わりについて、理解を深めてもらうことを目的とします。 評価方法 出席および期末レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51317	A	生体医工学基礎Ⅱ	神保 泰彦	工学部	木5	1221	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生体医工学の世界－工学から見た生体物理現象と医療応用技術－ 目標概要 周囲の環境に適応しながら生命を維持し、伝えていくのが生体現象の本質であり、その過程で生じた障害への対処が医療診断・治療です。最先端の医療では、工学技術が重要な役割を果たしています。本講義では、生体現象を情報、物質、エネルギーの流れの視点から説明し、工学技術に基づく医療診断・治療の研究開発動向と今後の可能性について議論します。 評価方法 レポートで評価します（講義出席状況も考慮します）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51315	A	環境・エネルギー工学概論	村上 進亮	工学部	火2	109	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 環境・エネルギー工学概論／ Introduction to Environmental and Energy Engineering 目標概要 本講義は工学部全体として、環境・エネルギー問題を概観した上で、工学的なアプローチの理解を進めることを目的としている。内容は大きく3つのパートに分かれており、それぞれの取りまとめ担当の教員が講義を行う。よって、受講者には以下を目標とされたい。 ・現在良く議論されている環境・エネルギー問題の概観を理解すること ・それぞれの問題の特徴を技術的、社会システムの双方の視点から理解すること ・技術、社会それぞれどのようなアプローチでその解決に当たっているのかを理解すること ・これらを理解した上でどのような課題が残されており、そのために何をすべきかを考えること 評価方法 レポート（3課題、各A4で2から3枚程度を予定）＋出席点による。 出席回数が余りに少ない場合は合計点の如何に関わらず単位を認めない場合がある。 詳しくは第1回目の講義でのオリエンテーションで説明する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51299	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	松島 潤	工学部	月5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 エネルギー資源論 目標概要 本講義では、地球科学・工学、エネルギー化学・科学、資源経済・政策学の基礎学理を概観し、地球システムの理解、エネルギー資源の開発・変換・有効利用、環境の保全、エネルギー資源の安定供給といった一連の方法論を概説する。エネルギー資源を取り巻く多様な分野を多角的に概観することにより、エネルギー資源の本質を理解することを助け、複雑性を呈するエネルギー資源に係る困難な問題にどのように対処すべきかについてともに考える。 評価方法 出席状況とレポートにて成績評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51314	A	環境・エネルギー工学基礎Ⅱ	多部田 茂	工学部	月5	K301	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 海と社会概論 目標概要 人類は地球に負担をかけながら生活している。現在、世界の人口は約70億人だが、もしこの人々が日本人と同じ水準の生活をする、地球が2.5個も必要になる。有限な地球に負担をかけず、持続可能な社会を実現するためには、地球の面積の7割を占める海洋を賢く利用して行くことが必要不可欠である。これまで海洋は科学的な探査を主体とする調査の時代であったが、これからは、海洋のメカニズムを熟知した上での統制のとれた海洋利用を実現してゆくことが、カギとなる。 例えば、海洋には未だに利用されていない資源が相当量残されており、循環型社会に適したエネルギー資源の供給源となる可能性を有している。また我が国のEEZ(排他的経済水域)内には、黒潮と親潮の合流による好漁場、深層水、メタンハイドレート、鉱物資源等が存在しており、海洋資源の潜在的ポテンシャルは非常に高い。これらを利用することにより、我が国の脆弱な食料、資源・エネルギー基盤の強化や新産業の創出が期待されるとともに、海底空間の利用によってCO2の海底下地層への隔離等の環境問題の課題解決に資する可能性をも秘めている。 この講義では、食料・資源・エネルギーの安定確保と地球環境問題解決のための海洋利用技術について包括的に学び、その方向性を論じる。 評価方法 出席点(初回は除く) 40% 課題のプレゼンテーションおよびレポート 60% 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51533	A	看護学概論Ⅱ	武村 雪絵 國江 慶子	医学部	木5	159	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－ 目標概要 高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。 本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。 評価方法 出席及び毎回の小レポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60236	A 2	環境と生物資源	木南 章	農学部	木5	154	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 農業フィールドワーク論 目標概要 農業および農村におけるフィールドワークについて理解を深める 評価方法 出席とレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
60235	A 2	食糧と環境	根本 圭介	農学部	月1	K211	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 農業生産学概論 目標概要 人口爆発に伴う食糧需要、農業を取り巻く環境の悪化と自然資本の枯渇、穀物を巡る食糧需要とエネルギー需要の競合、経済のグローバル化に伴って深刻化する世界農業の構造的な問題など、今日の農業は、かつてなかったほど多くの問題を抱えている。本講義では農業の生態学的な原理を踏まえつつ、世界の農業システムはいかなる座標軸の上で多様化してきたか、そこで展開してきた技術発展の必然性とは何か、フードサプライチェーンの発達を農業をどのように変えてきたか、今日の農業が将来の世界人口を扶養できるか、といった問題を論じた上で、あらためてアジア稲作の持つ意味を考えてみたい。 評価方法 ・小課題(授業中に毎回実施する)と出席点により、総合的に評価する。原則として、出席回数が半分に達しない場合には単位は与えない。 ・定期試験は行わない。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51328	A	放射線環境科学	田野井 慶太郎	農学部	水5	1214	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 福島第一原発事故に起因した農業環境における放射能汚染の実状および調査研究により得られた知見を学ぶ 目標概要 2011年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故では多くの放射性物質が環境中に放出されました。放射性物質が降下した場の多くは農林水畜産業の場であり、事故直後から農学者により多くの調査研究がなされました。本講義では、食の安全と農業環境に焦点を当て、農業の場における放射能汚染の実態とその対策のための試験研究で得られた知見を学びます。同時に放射線や放射性物質の基礎も講義します。受講者は、本講義を通じて、農業環境における放射能汚染の実態把握と放射能汚染からみた食の安全確保への取り組みを理解することが期待されています。さらに、当該事故と同時代を生き、今後世界を舞台に活躍が期待される受講者諸君にとって、本講義が、当該事故を体験とともに語れる人材となる最初のステップとなることを期待します。 評価方法 試験により評価します。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 土壌汚染—フクシマの放射性物質のゆくえ 著者（訳者）：中西友子 出版社 : NHKブックス ISBN : ISBN-10: 4140912081、ISBN-13: 978-4140912089 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51325	A 1	住環境の科学	稲山 正弘	農学部	木5	153	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人と木と木造建築 目標概要 地球温暖化などの環境問題に対し、木材の適切な利用を核とした資源循環型社会への移行が世界的に求められています。本講義では、森林資源から木造建築に至るまでの様々な観点で「人と木と木造建築」について学んでいきます。すなわち、木材の微細構造から基礎的物性などに関する基礎知識や、未利用資源あるいはリサイクル利用に関する社会科学的な分野の基礎知識等を学び、木材を有効活用してつくられる製材・木質材料（集成材・合板・繊維板等）の特徴や、木造住宅に至るまでの生産・流通などについて学び、木造建築の設計に必要な基礎知識や様々な木造建築の事例、および居住空間等木材を使用した環境のアメニティ等について学習します。 評価方法 レポートで評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51322	A	教育心理学の世界	岡田 猛	教育学部	木5	1311	1年 文科 理科
講義題目 教育心理学の世界 目標概要 教育心理学は、心理学の手法を用いて、教育の科学的基礎を実証的に探究し、また、その知見の教育や生活場面への応用まで考える学問である。このため、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学など、人間理解にかかわる多岐にわたる内容を扱う。この授業では、教育心理学において具体的にどのような研究が行われているのかや、どのような実践が行われているのかを知ってもらうために、これまで行われてきた重要な研究から近年の新たな知見まで幅広く紹介する。各回の授業は、本学の教育心理学コースの教員や教育心理学にかかわる若手研究者が行う。これらを通じて、教育心理学とはどのような学問であるのかを知ることが主たる目的である。さらに、心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成の基礎となる、人間に関する心理学的理解や、心理学の基本的な研究手法を知ることにも目的としている。 評価方法 最終回に、理解度を確認するテストを実施して評価を行う。テストは、本授業で扱った複数の領域から出題される。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

振動・波動論		開講区分	A
目標概要	音や光は我々が生存してゆく上で決定的に重要な情報を担い、音楽、美しい景色、絵画、写真と生活に喜びを与えてくれる。		
	音と光は共に波動現象の典型例であるが、我々の知的興味を引き付ける振動・波動現象は身近なところに数多く存在する。		
	たとえば、ブランコはどうして漕げるのだろうかとか、海の波はどうして波打ち際で砕けるのだろうかなど。		
	また、建造物や製品の設計においても、振動・波動の影響は欠かせない。		
	このように我々の日常と密接に関わっている振動・波動現象を、物理学の基本法則により根本的に理解することがこの講義の目的である。		
	その内容は古典的な場の理論の初歩を含み、引き続き量子力学、場の量子論を学ぶ者にとっては必須なものでもある。		
	主な項目は以下の通りであるが、実際の内容や順序は教員によって多少の違いがあり、特に*印のついた項目は省略される場合がある。		
	1. 序論		
	2. 1自由度系の振動		
	・単振動		
・減衰振動			
・強制振動、共鳴、Q値			
*パラメーター励振			
*簡単な非線形振動			
3. 連成振動			
・2自由度系			
・基準振動、うなり			
・N自由度系			
4. 1次元の波動			
・弦、弾性体、気柱			
・縦波と横波			
・波動方程式			
・反射と透過			
*波のエネルギー			
*インピーダンス			
5. フーリエ級数、変換の方法			
・考え方、基本事項、線形性			
・波束			
・位相速度と群速度			
*不確定性関係			
*6. 2, 3次元の波			
*波動方程式			
*平面波			
*球面波			
*水の表面波			
*反射と屈折			
*干渉、回折			
成績評価方法	定期試験、レポート。		
教科書	教科書は使用しない。		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50348	火2	鈴木 康夫	533	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50349	火2	大川 祐司	1311	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50796	水5	澤井 哲	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50813	木1	堀田 知佐	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50238	A	解析力学	加藤 光裕	教養学部(前期課程) 物理	月5	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 解析力学 目標概要 解析力学は、ニュートンに始まる古典力学の最も一般的で洗練された理論形式であり、これによって保存量と対称性の関係や可積分性等の力学の構造を見通し良く理解することができるようになる。また、量子力学や統計力学を構築する上で不可欠な基礎を与えるものでもあり、現代物理学を理解する上で重要な役割を果たす。本講義では、理系1年で学ぶ力学の基礎知識をもとにして、その発展としての解析力学の理論形式や諸概念をじっくりと学ぶことを目標とする。 評価方法 主に試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50814	A	相対論	菊川 芳夫	教養学部(前期課程) 物理	木1	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 相対性理論 目標概要 特殊および一般相対性理論の基礎を、歴史的背景及び実験的検証を踏まえて解説する。相対性の概念、光の伝播の問題、ローレンツ変換とその物理的意味、時空の概念等を詳しく論じた後、テンソルを用いた共変的記述、相対論的運動学とその応用、マックスウェル方程式の相対論的構造について述べる。さらに、一般相対性理論を概説し、重力波観測の意義を議論する。 ニュートン力学および微積分の基礎知識を前提とする。またマックスウェル電磁気学の基礎知識を講義の終盤までに学習しておくことが望ましい。 評価方法 試験およびレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51232	A	量子論	菊川 芳夫	教養学部(前期課程) 物理	金5	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 量子力学入門 目標概要 量子力学における基本的な概念と理論の枠組みを、基礎的な物理系の学習を通して体験する。また、発展的な例を通して、量子論が現代物理学の中でどのように展開しているか概観する。これによって量子論の概要を正しく把握し、今後の学習の基礎付けとすることをめざす。 評価方法 定期試験とレポート。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50032	A	統計物理学	福島 孝治	教養学部(前期課程) 物理	月1	521	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計物理学 目標概要 多数の気体分子を考えたとき、初期条件としての位置と運動量のようなミクロな状態とその時間発展規則としての運動方程式が与えられると、少なくとも古典力学の意味で、ミクロな状態の時々刻々の移り変わりは予言することはできるであろう。しかしながら、その気体分子の数がアボガドロ数のように非常に大きな数の場合に、運動方程式を解くことで有益な情報は得られるとは限らない。一方で、熱力学は、温度や圧力のように驚くほど少数の変数でマクロな世界の性質を記述することに成功している。このミクロな状態からマクロな熱力学的性質を議論する理論体系を与えているのが統計力学である。講義では、統計力学の基本的な考え方や概念を古典平衡統計力学の範囲で説明し、いくつかの適用例題(気体のボイル・シャルルの法則、強磁性の相転移現象、等)を解説する。 評価方法 定期試験と数回のレポートによる総合評価 中村メソッドによるレポート点検も評価対象 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51102	A	現代物理学	押川 正毅	教養学部(前期課程) 物理	金2	532	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 トポロジと物理 目標概要 物理学において数学が重要な役割を果たすことは言うまでもないが、近年、トポロジ（位相幾何学）に基づく物理学が大きく発展している。トポロジは、空間の連続変形のもとで不変な性質を扱う数学の一分野である。たとえば、平行な2つの平面をつなぐ円柱と輪ゴムがあるとき、輪ゴムが円柱を「巻いて」いれば輪ゴムの連続変形で円柱から外すことはできない。このとき、輪ゴムと円柱の「巻きつき数」と呼ばれる整数を定義することができ、これは連続変形によって不変な「トポロジカル量子数」になっている。 物理への応用として、トポロジに基づいた結晶中の欠陥の安定性の解析や分類は1970年代までになされている。さらにその後、2次元電子系におけるホール伝導度が高精度で量子化される量子ホール効果の発見と理論的研究は、トポロジに基づく量子物性物理学の発展を導いた。最近ではトポロジカル絶縁体の発見によって、物質科学においてもトポロジの重要性が高まっている。このような発展の基礎となった理論的業績に対して、2016年度のノーベル物理学賞が授与されている。また、素粒子論においてもトポロジに基づく場の量子論の理解が大きく進展したが、これはトポロジカルな量子物性物理学とも密接に関連している。 トポロジに基づく量子物理学の進展は、古典物理にも新たな観点をもたらしている。たとえば、トポロジカル絶縁体と類似した性質を持つ、ばねや振り子からなる力学系がデザインされ実際に製作されている。また、古くから知られている地球規模の自然現象である赤道ケルビン波の安定性は、量子ホール状態やトポロジカル絶縁体にあらわれる端状態の安定性と同様に、トポロジカルな機構によって保証されることが指摘された。 本講義では、これらトポロジに基づく物理学の基礎と、いくつかの興味深いトピックを紹介する。 「現代物理学」は昨年度に引き続き押川が担当するが、昨年度の講義と内容は全く異なる。 評価方法 レポート提出による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50350	A	物理学Ⅱ (文科学)	清水 明	教養学部(前期課程) 物理	火2	1322	1年 文科 2年 文科
講義題目 時間と空間と物理学 目標概要 物理学の発展は、我々の、時間や空間に対する理解や見方までも変えてゆく。そのことを、アインシュタインの1905年の特殊相対性理論による大革命を例にとって解説し、その壮大な風景を垣間見てもらうことが本講義の目的である。 物理の考察の対象は広大だが、もっとも簡単な対象は、たった1個の粒子である。この講義では、その1個の粒子の運動を考えるだけでも、すでに、時間や空間に関する根本的な考察が必要になることを示すことから始める。 そして、時間に関して、「時間は万物にとって等しく流れる」というきわめてもっともらしい仮定をおき、それに加えていくつかの「さらにもっともらしい仮定」もおく。それらの仮定の下に、既知の実験結果を参照しながら、論理を積み重ね、様々な論理的帰結を導く。こうして、アインシュタイン以前の理論である、ニュートン力学に到達する。 一方で、少し観点を変えて、「はたして、影響や情報が遠方に伝わる速度に上限があるのだろうか？」という問いを発してみる。ニュートン力学を正しいと認めると、上限がないことが結論できる。しかし、「上限がある」というのもまた、「きわめてもっともらしい仮定」ではないか？ そこで、「影響や情報が遠方に伝わる速度には、上限がある」という仮定を出発点に据えてみる。それに加えて、ニュートン力学を導いたときと同様の、「さらにもっともらしい仮定」もおく。それらの仮定の下に、論理を積み重ね、様々な論理的帰結を導く。すると、ニュートン力学の根本的な仮定であった、「時間は万物にとって等しく流れる」という「きわめてもっともらしい仮定」が否定されてしまう！ こうなると、どちらの理論が正しいかは、実験で判断するしかない。全ての実験結果は、相対性理論を支持した。その結果、「時間は万物にとって等しく流れる」という、人類が、おそらく地球上に現れてから1905年になるまでの数百万年の間ずっと信じていたであろう常識が否定されてしまったのだ。その常識が正しいように見えていたのは、測定精度が低い、または、測定対象が限定されていたために過ぎなかったのだ。 以上のような壮大な知的冒険は、単なる「お話」レベルの講義では、味わうことは不可能である。そこで、物理学を理解するのに（現在知られている中で）最良の言語である数学を使いながら、できるだけきちんと教える。もちろん、必要な数学の知識はその場で全て教えるが、論理を何段も積み重ねて結論に達するので、真剣に学ばないと全く何も理解できないだろう。しかし、真摯に学べば、最後には、壮大な風景を垣間見てもらうことができると思う。 評価方法 定期試験 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51103	A	化学平衡と反応速度	若杉 桂輔	教養学部(前期課程) 化学	金2	522	1年 文科 理科
講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 「化学平衡と反応速度」は、あらゆる物質が関わる化学反応を理解するうえで必須の学問である。本講義では、Sセメスターに学んだ化学熱力学の基礎を踏まえ、「どのような場合に化学反応が自発的に起こるのか」「どれ位の速度で生成物ができるか」などについて基礎的事項を学習する。 評価方法 定期試験による。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51233	A	化学平衡と反応速度	豊田 太郎	教養学部(前期課程) 化学	金5	1214	1年 文科 理科
講義題目 化学平衡と反応速度 目標概要 自然現象、特に生命現象、を原子や分子の視点から理解するとき、化学平衡という自然のなりゆきと、そこへ至るまでの反応過程を反応速度によってとらえることが重要である。本講義ではこれらの視点を、適宜演習を通じて理解する。 評価方法 演習課題と学期末レポート。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
51104	A	分子システムの化学	豊田 太郎	教養学部(総合文化) 統合自然科学科	金2	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 分子が協同的に形成する形・機能・ダイナミクス 目標概要 身近にあふれる物質の様々な現象の解明、さらには最先端の高機能性材料の開発や新たな生命現象の発見は、分子の性質や反応、そして分子間の相互作用を理解し、「分子が組み合わされたシステム」という観点に立つところから始まる。これまでの講義では、原子・分子や化学反応をただ暗記していただけではなかっただろうか。もしくは、分子の形状や反応の仕組みを、物理の観点に立って理解することが、最先端の化学ということに終始していたかもしれない。否、化学本来の持ち味は「物質の多様性の理解」、「物質の設計と開発」である。本講義では、そのサイエンスの最先端を駒場の化学系教員が紹介する。基礎から体系立てて化学の最先端を解説する本講義を受講することで、分子や物質の多様性、分子システムという考え方を習得していただきたい。 評価方法 各回での復習問題（12回）の解答を総合して評価する。研究室見学会での小課題も成績評価に含まれる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51307	A	物質・生命工学概論	阿部 英司	工学部	金5	513	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 物質・生命工学概論 目標概要 本講義は、工学部が提供する工学概論4講義の一つである。 物質・材料の探究と開発は、新たな物理現象の発見につながる基礎科学として重要であるのに加え、生命工学を通じた医療分野の技術革新から環境・資源問題の解決に至るまで、幅広い分野での産業創出や新たな社会価値の創造を支える工学の基盤となっている。 本講義では、ナノサイエンス・ナノテクノロジーをベースにした物質・材料の基礎と最先端研究を紹介し、エネルギーや環境、情報通信、バイオ、医療などへの応用について理解を深めることを目的とする。 評価方法 出席およびレポート。 第2回～第13回の講義に関連して出題される課題（全6課題）のうち、3つを選択してレポートを提出。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51313	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	長汐 晃輔	工学部	月1	158	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 ナノ・機能マテリアル入門 目標概要 「古典的・量子力学的波動の振る舞いについて理解したうえで、ナノテクノロジーとその機能マテリアルへの応用について学ぶ」ことがこの講義の目標である。本学教養学部では基礎科学の普遍性を強調したアカデミックなアプローチで講義が行われることが多く、専門の決まっていない学生に対する講義としてはある種正しい。しかしながら、厳密性を重視した数学による表現が多用されると、高校までに学習した物理や化学の知識との間に大きなギャップを感じることも多いのではないかと思う。間違って捉えてはいけないのは、数学的難しさと物理的な難しさは違うという点である。この講義では、固体中の電子の挙動を表すシュレーディンガー方程式から得られる波動関数に対する物理的意味を正しく理解し、どのように我々の身の回りのテクノロジーに結実しているのかをわかりやすく解説する。 評価方法 出席及びレポートによって評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51312	A	物質・生命工学基礎Ⅱ	馬渡 和真	工学部	金2	106	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 量子計測化学序論Ⅱ -分子・錯体・固体の化学を量子化学で理解する（物性化学への橋渡し）- /Quantum chemistry for measurement II -understanding molecules, complexes, and solids by quantum chemistry 目標概要 化学では分子から固体まで幅広い物質を取り扱う。これら分子、錯体、固体の基本的な性質（分子の形、結合の手、電気伝導性など）についてはすでに高校で学んではいるが、そのメカニズムについては量子化学ではじめて理解ができる。そこで、本講義では、分子、錯体、固体という化学で取り扱う物質の基本的な性質を量子化学により理解することで、暗記する化学から理解する化学へ移行することを目指す。 In chemistry, you will use many materials from molecules to solids. Basic characteristics of molecules, complexes, and solids were taught in high school, while the mechanisms can be understood through quantum chemistry. In this lecture, you learn the mechanisms by quantum chemistry and become to understand chemistry. 評価方法 出席とレポート 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50239	A	進化学	青木 誠志郎	教養学部(前期課程) 生物	月5	1322	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 進化学 目標概要 生物/生命に見受けられる謎を進化の観点から見つめ、現代生物学において活発に研究がなされている様々な現象、例えばゲノムと形質の多様性はなぜ生まれるのか、集団が協力するためには何が必要か、生命の条件とは何か、生態系の持続には何が必要か、有性生殖はいつ起源しなぜ維持されているのかなどの不思議について、科学的興味をもつことを目標とする。また一般社会における通説的な考え方、例えば“高等と下等”といった概念を、進化学の観点から一緒に見直したい。高等学校で生物を学ばなかった方々にもわかるように、授業の早期に最低限の遺伝学・分子生物学の資料を渡し解説を行う。また最新の論文を紹介することで、教科書的にはまるで解決されてしまったかのように言われている現象の中に、まだたくさんの未解明の謎が隠れていることを紹介し、将来生物の研究を目指す方々にも楽しんでもらいたい。これらを通じ、遺伝子・個体・集団から見た生物の面白さ・楽しさについて、進化学的に理解しながら考える。 評価方法 定期試験を行う。その他、宿題の提出、質問や発言、出席などの授業への姿勢も重視する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50240	A 1	現代生命科学Ⅰ (文科生、理一生)	石丸 喜朗	教養学部(前期課程) 生物	月5	1311	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 生命科学の基礎 目標概要 21世紀以降、生命科学は飛躍的に発展しています。本授業では、生命科学の基礎知識・基本原理を幅広く習得し、科学的思考力を身に付けることを目標とします。身近な生命現象を手がかりとして、その奥にある仕組みを科学的に基本から学習します。過去の生物学の履修歴は問いません。知的好奇心に溢れ、勉学意欲に富んだ学生の参加を希望します。 評価方法 繰り上げ試験を実施 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代生命科学 著者(訳者) : 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 : 羊土社 ISBN : 978-4-7581-2053-1 ガイダンス 特に行わない。							
50033	A 1	現代生命科学Ⅱ (文科生、理一生)	池内 昌彦	教養学部(前期課程) 生物	月1	1212	1年 文科 理一 2年 文科 理一
講義題目 現代生命科学Ⅱ(文科生、理一生)／Current Biological SciencesⅡ 目標概要 生命科学を地球、人間、植物、微生物、ゲノム、遺伝子という観点から概観し、地球の生命の現状と将来を考える。 評価方法 試験 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 現代生命科学 著者(訳者) : 東京大学生命科学教科書編集委員会 出版社 : 羊土社 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51294	A	分子生命科学	飯野 雄一	理学部	木5	523	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 分子から見た生命現象 目標概要 生物の織りなすさまざまな生命現象は、すべて遺伝子DNAにコードされた遺伝情報が機能を発揮した結果であると言ってもよい。遺伝情報は、RNA、タンパク質、そしてそれが作り出す低分子有機化合物などの分子の形となり、これらの分子が相互作用しながら細胞内外で働いた結果、生き物としての不思議な性質が作り出されてくるのである。生物化学という学問分野は、このような生命現象が、分子の働きによっていかに作り出されるかを解明する研究分野である。 この授業では、この分野の代表的な教科書である『細胞の分子生物学 第5版』に沿って基本的な概念の説明と、その知識を基盤とする最先端の研究の紹介を交互に行う。基礎知識がなくとも生命科学研究のテストを味わうことができるように配慮して講義を進める。理学部生物化学科の担当教員6名により、本学科の研究と密着した、タンパクの質構造と機能、RNAによる制御、神経細胞の分化、生体リズム、味覚・嗅覚・光感覚、学習記憶などのテーマについての講義を行う予定である。 評価方法 授業への出席(50%)と毎回の授業の最後に実施する小テスト(50%)にて評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 細胞の分子生物学(第5版) 著者(訳者) : ALBERTS/JOHNSON/LEWIS/RAFF/ROBERTS/WALTER(翻訳:中村 桂子, 中塚 公子, 宮下 悦子, 松原 謙一, 羽田 裕子, 青山 聖子, 滋賀 陽子, 滝田 郁子) 出版社 : ニュートンプレス ISBN : 4-315-51867-2 C3045 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51022	A	惑星地球科学Ⅰ (理科生)	小久保 英一郎 中本 泰史	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木5	524	1年 理科 2年 理科
講義題目 惑星地球科学Ⅰ(惑星系天文学概論) 目標概要 太陽系は惑星、衛星、環、小惑星、太陽系外縁天体、彗星と、質量・組成・軌道の異なる多様な天体から構成されている。これらの天体はどのような特徴をもち、どのようにして形成されたのだろうか。また、近年、観測によって銀河系には太陽系以外にも多様な惑星系が存在することが明らかになっている。これらの惑星系は太陽系とは何が違うのだろうか。授業では惑星系の構造・起源・進化について、最新の観測・理論研究の成果を交えながら概説する。 評価方法 課題レポートによって評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51105	A	惑星地球科学Ⅱ (理科生)	小宮 剛	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1222	1年 理科 2年 理科
講義題目 地球惑星科学概論Ⅱ 目標概要 地球惑星科学Ⅰに引き続き、特に以下の点について、講義する。 地球史：固体地球進化（熱史）、大気・海洋表層環境進化（酸素と二酸化炭素）、暗い太陽のパラドックスと表層環境進化、地球生物史、全球凍結、顕生代の生命史と大量絶滅 表層環境：大気・海洋構造、炭素循環、第四紀以降（氷期間氷期サイクル）、地球温暖化、環境と人類史、鉱床の形成と成長の限界（資源、エネルギー問題） 評価方法 定期試験を行う 出席も加味 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51297	A	地球惑星環境学入門	高橋 嘉夫	理学部	木5	122	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 化学で解く地球と環境：環境地球化学入門 目標概要 地球表層での物質循環・化学過程のいくつかの例を大気圏・水圏・地圏に分けて考えると共に、関連する環境問題について取り上げる。関連して、地球の大気や海洋がどのように進化して現在の姿になったかについても知る。これらの知識を基盤とすることで、現在の地球環境問題の本質を探ることができる。また、これら地球化学・環境化学の基礎となる化学熱力学や分析手法についても解説する。 評価方法 出席、小テスト、定期試験を基に総合的に評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50034	A	宇宙科学Ⅰ (理科生)	鈴木 建	教養学部(前期課程) 宇宙地球	月1	1101	1年 理科 2年 理科
講義題目 天文学・宇宙物理学の基礎的内容 目標概要 宇宙における天体現象が、現代科学の手法を用いてどのように理解されているのかを、自ら噛み砕いて把握することが、本講義の目標である。 評価方法 定期試験（義務）＋中間レポート（希望者のみ） 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51023	A	宇宙科学Ⅱ (理科生)	清水 敏文	教養学部(前期課程) 宇宙地球	木5	K211	1年 理科 2年 理科
講義題目 母なる星「太陽」の研究最前線 目標概要 本講義は、地球にとって母なる星である「太陽」に関して基礎を解説し、太陽という星を研究する最前線に触れる内容を取り扱う。「太陽」を研究する学問は太陽物理学と呼ばれ、天文学・宇宙物理学の中でも天体プラズマの現象を理解するために重要な基礎となるものである。また、太陽系科学の中では、太陽の振る舞いが地球や惑星、また私たちの生活、に影響を与える観点で、大事な研究対象でもある。太陽観測衛星「ひので」をはじめ最新の観測装置で捉えた画像や動画も用いて、「太陽」について理解を深め、天文学・太陽系科学・宇宙プラズマ物理学に対する太陽物理学の位置付けを理解することを目標とする。 評価方法 学期末に論述式問題による試験を行う。また、授業のどこかで検討レポートを課す予定である。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
50241	A	惑星地球科学Ⅱ (文科生)	磯崎 行雄	教養学部(前期課程) 宇宙地球	月5	531	1年 文科 2年 文科
講義題目 地球科学の基礎：とくに地球表層環境の物質とその変遷史 目標概要 地球表層環境の歴史は、固体地球の歴史と密接に関連している。約40年に及ぶ地球生命および環境の歴史を、固体地球の歴史と対比しながら解説する。人類が直面する地球環境問題を考える上での基礎知識の習得を期待する。 評価方法 定期試験、および各講義ごとに行う小テストにより評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51106	A	宇宙科学Ⅰ (文科学)	土井 靖生	教養学部(前期課程) 宇宙地球	金2	1225	1年 文科 2年 文科
講義題目 天文学全般の基礎 目標概要 現代科学による宇宙像の把握・天文現象の理解がどの様に進んでいるかを理解することを目標とする。 評価方法 定期試験により評価する。また任意のレポートを課す予定。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51324	A	微生物の科学	大西 康夫	農学部	水5	1102	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 微生物の世界 目標概要 微生物の種の多様性と微生物が示す驚くべき機能の多様性は、微生物が生物学、生物化学、遺伝学、生理学、分子生物学の基本的研究対象となり、かつバイオテクノロジーの主役として活躍する基本をなしている。本講義では、まず、イントロダクションとして、微生物学の歴史、微生物取扱手法、微生物の多様性を解説する。その後、種々の微生物（あるいは微生物群）について、それぞれが示す多様な生命現象をわかりやすく紹介していくことで、受講者を「微生物の世界」にいざなう。主として「人類に役に立つ微生物」という農学的見地から微生物について解説するが、受講者には、いわゆる「応用微生物学」のエッセンスを学んでいただきたいと考えている。 評価方法 定期試験の成績に出席点を加味して評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51329	A 1	アグリバイオロジー	井澤 毅	農学部	金5	K402	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 植物の機能とその利用 目標概要 前世紀後半、世界の食料生産は「緑の革命」に代表されるような資本投入型技術の開発により大きく飛躍した。これら増産主体の農業技術は、人口爆発に伴う食糧需要をなんとか支えてきた反面、農業生態系全体の調和・持続性との間に大きな摩擦を生んできた。さらなる人口増、工業化や砂漠化による耕地面積の減少、地球規模での異常気象などによってこのジレンマが拡大の一途を辿るなかで、問題解決に向けた新たな取り組みが求められている。本講義では、農業生産の基礎となる植物の機能とその利用について最新の知見を解説し、将来の技術開発の方向性を考える。 評価方法 定期試験、授業への参加姿勢（小レポートを含む）、出席点によって総合的に評価する。試験は定期試験期間に行う。ノートおよび配付資料は持ち込み可とする（ノート・配付資料以外は持ち込み不可）。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51327	A	応用動物科学Ⅱ	堀本 泰介	農学部	月5	522	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 高等動物の比較生物学 目標概要 高等動物（主に哺乳類、鳥類）の生理、病気、感染症、診療など、加えて公衆衛生、ヒトと動物の関係などについて、獣医学専攻と応用動物科学専攻の教員が講義する。 評価方法 出席とレポートによる。 レポート：各講義で自分が理解した内容およびそれに関する意見をA4で2枚以内にまとめ、次回の講義時に提出（英文可、表紙不要、1枚目上に講義タイトルと氏名、学籍番号を記載）。 最終回の講義のレポートは平成31年1月11日までにアドミニストレーション棟1階レポートBOXに提出すること。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51326	A	海の生命科学	浅川 修一	農学部	金5	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 海の生命科学 目標概要 水温、塩分、水圧等の大きく異なる棲息環境に、バクテリア、プランクトンなどの微小な生物から、各種の無脊椎動物、魚類、大型は哺乳類に至る多種多様な生物が独自の進化・繁栄をしてきた。水圏には地球上のほぼすべての動物門が棲息しており、その多様性は陸上の比ではない。水中での生活を可能にするために、陸上生物には見られない特殊な器官やユニークな代謝経路を発達させた種も多い。しかし、陸上生物である我々ヒトにとって、水圏にはまだまだ未解明の現象が多く、そこに未知の利用可能性や新たな研究領域の発展可能性を秘めたフロンティアが存在する。われわれ人類は、様々な形で水圏生物と関わりを持っている。水圏生物に関する理解を深め、再生産可能な形で有効に利用することは、人類が真剣に取り組むべき課題である。この課題達成のために求められることは、水圏生物をよく知ることである。 本講義では、水圏生物科学専攻各講座の教員が、(1) 海洋生物の生理、(2) 海洋生物の有機化学、(3) 海洋生物のゲノム科学、(4) 海洋生物の食への利用と生理調節作用、について、その研究の概要と最新の動向について紹介する。 評価方法 授業への参加状況や理解状況（小テストなどを課す場合もある、30%）および定期試験（70%）をもとに評価する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50242	A	生物物理学	澤井 哲	教養学部(総合文化) 総合自然科学科	月5	1212	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 生物物理学 ―実験から理論まで― 目標概要 生物は物質で構成されている。したがって物理学的な立場から生命現象を理解できる。しかしながら、単に化学物質を寄せ集めただけでは生命らしさはあらわれてこない。生物物理学は、生物を分子や細胞に要素還元するとともに、それらが相互作用するシステムとして生物を捉えることで、生命現象の普遍的な理解をめざす学問であるといえる。本講義では、生物を構成する物質の最小単位であるタンパク質などの生体高分子から、それらの集合体である超分子や細胞までの各階層において生命らしさが創発する仕組みと、生命の可塑性と頑健性についての数理的な理解の方法を学ぶ。 いま、生命科学研究の最前線では生命科学と物質科学の境目があいまいとなってきた。つまり、生物を物質として捉え、物理学的な観点から見直すことで、生命現象を自然現象の一部として統一的に理解しようとする試みが盛んに行われている。さらに、物理学の立場から生物を俯瞰すると、生物は未解明の新領域でもあり、新たな物理学を開拓できる可能性を秘めている。このように、従来とは異なる観点で生物学を捉え直すことに興味がある学生や、物理学の立場から見た生命像に興味のある学生には、本講義の受講を勧める。大学の生命科学が未履修であっても構わない。 評価方法 平常点及び小テスト 場合によってレポートを課す場合もある。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

総合科目F 数理・情報

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50815	A	数理科学概論Ⅰ (文科生)	時弘 哲治	教養学部(前期課程) 数学	木1	512	1年 文科 2年 文科
講義題目 数理科学概論Ⅰ 目標概要 文科生向けに一変数関数の微分法の基本的な考え方から始めて、二変数関数の偏微分法の基礎と応用ならびに重積分に関する基礎的な内容を扱う科目である。社会科学に関連する題材を織り交ぜ、数学的な概念を把握することに重点をおいて講義する。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目を履修した後に、より進んだ内容を理科学向け総合科目「微分積分学統論」で学ぶことができるが、そのためには「数学Ⅱ」「数理科学概論Ⅱ」もあわせて履修しておくことが望ましい。 評価方法 定期試験による。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
50351	A	数理科学概論Ⅱ (文科生)	高木 俊輔	教養学部(前期課程) 数学	火2	722	1年 文科 2年 文科
講義題目 数理科学概論Ⅱ(文科生) 目標概要 文科生向けの、行列の定める線型変換（一次変換）の固有値と固有ベクトルを求める手法とその応用を扱う科目である。講義内容はおおむね授業計画に記載されている通りであるが、担当教員によって順序は異なることがある。この科目では「数学Ⅱ」で扱う内容を前提とするが、基礎科目「数学Ⅰ」で扱う内容は前提としない。ただし、項目3（UTASシラバス【授業計画】参照）においては「数学Ⅰ」の関連する内容を理解しておくことが望ましい。 評価方法 定期試験による。小テストやレポートを課した場合、それらも加味する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 特に行わない。							
51311	A	数理工学入門	平井 広志	工学部	木5	150	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 最適化の数理 目標概要 産業経済活動に現れる生産計画，配送計画，スケジューリング，投資計画を始めとする多くの重要な問題は、大規模な最適化問題として捉えられる。本講義では、現実問題からどのように数理的な構造をとり出し、最適化問題として定式化するかを学ぶとともに、モデル化された最適化問題を効率的に解くアルゴリズムを設計し、解析するための考え方を学ぶ。 評価方法 出席と2回のレポート課題 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							
50352	A	統計データ解析Ⅰ	小池 祐太	教養学部(前期課程) 数学	火2	E41	1年 文科 理科 2年 文科 理科
50797			小池 祐太		水5	E41	
51024			吉田 朋広		木5	E41	
講義題目 データサイエンス入門 目標概要 ビッグデータの時代と言われている。近年、データの計測およびストレージ技術の発達とともに、大規模データから適切に情報抽出し、それを意思決定に活用することが必須のリテラシーとなっている。いっぽうデータの形式と対応する解析法の変化は著しく、新しい方法を正しく利用するために、普遍的な統計科学の原理を理解することが重要である。基礎となる統計数理とともに、具体的な統計解析手法とその運用を、統計ソフトウェアによるデータ解析実習を通じて習得する。 統計データ解析Ⅰでは、受講者が統計ソフトウェアを用いた実験によって確率的現象に慣れ、統計推測法の意味を理解し、データ解析の方法を実習する。統計ソフトウェアRの使い方を学んだあと、シミュレーションによってランダムネスと極限定理を体験する。後で必要になる確率分布を学び、基本的な記述統計量と標本分布に関する基礎事項を学習する。推測統計における基礎的な推定・検定法、および分散分析、回帰分析の方法を、データ処理を通じて実習する。 評価方法 出席および課題の発表あるいはレポートによる（各授業のUTASシラバスを参照）。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行く。							

図形科学 A		開講区分	A
目標概要 3次元立体形状の図的表現および形状処理について、C A D（計算機援用設計）／C G（コンピュータ・グラフィックス）ソフトの実習を通して学び、立体形状の把握・伝達・構想能力を養う。主な学習項目は以下のとおり。 1. 2Dモデリング（線分，円，多角形，スプライン曲線） 2. 3Dモデリング（押し出し・回転，空間幾何課題の解法） 3. アセンブリ・正投影図面 4. パースペクティブビュー（透視投影） 5. レンダリング（色彩，マッピング，陰影） 6. アニメーション（動的表示，ウォークスルー） 成績評価方法 出席、レポート（実習課題）、および、定期試験によって評価する。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 3D-CAD/CG入門[第3版]～Inventorと3dsMaxで学ぶ図形科学 著者（訳者）：鈴木賢次郎，横山ゆりか，金井崇，館知宏 共著 出版社 : サイエンス社 発行日：2016年9月 ISBN : 978-4-7819-1389-6 ※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50072	月2	館 知宏 柏原 賢二	E31	1年 文科 理一(14,17,23,29,39) 2年 文科 理科
50107	月3	柏原 賢二 館 知宏	E31	1年 文科 理一(19-21,36) 2年 文科 理科
50286	火2	吉岡 陽介 福田 玄明	E31	1年 文科 理二三(1-14) 2年 文科 理科
50410	火3	福田 玄明 吉岡 陽介	E31	1年 文科 理一(15-16,26,32-33) 2年 文科 理科
50700	水3	金井 崇 奈尾 信英	E31	1年 文科 理一(5,9-11,37) 2年 文科 理科
50733	水4	奈尾 信英 金井 崇	E31	1年 文科 理一(12,24,27-28,30) 2年 文科 理科
50799	木1	横山 ゆりか 早川 大地	E21	1年 文科 理二三(15-24) 2年 文科 理科
50842	木2	早川 大地 横山 ゆりか	E21	1年 文科 理一(13,18,34,38) 2年 文科 理科
51139	金3	田中 一郎 山下 典理男	E31	1年 文科 理一(22,25,35) 2年 文科 理科
51183	金4	山下 典理男 田中 一郎	E31	1年 文科 理一(1-4,6-8,31) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
50243	A	基礎統計	佐藤 俊樹	教養学部(前期課程) 経済・統計	月5	1108	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 基礎統計 目標概要 統計学の考え方の基礎にあたる部分を解説する。 範囲としては、分布をとらえる基本的な指標、確率分布の基礎知識、確率モデルの基本的な考え方、検定や推定などの統計的推測の初歩であるが、技法を詳しく説明するよりも、その背後にある考え方（いわば統計学はどういう風に世界を見ようとしたのか）に焦点をあてて進めていく。初心者にとって最大の障壁はそこが理解できないことであり、その結果として、具体的な数式や論理が「ブラックボックス」化するからである。 評価方法 試験。 成績評価は理系と文系で分けて採点し、Aの比率はほぼ同じくらいにする。参考資料として、第一回目のガイダンスのときに、昨年度の成績分布を示す。試験の詳細もそのときに説明する。 教科書 授業中に指示をする。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
50816	A	基礎統計	丸山 祐造	教養学部(前期課程) 経済・統計	木1	743	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 統計学入門 目標概要 統計学は、近年注目されているデータサイエンスにおいて、数学・計算機科学と並んで基盤となる学問の一つである。データサイエンスを含め、人工知能、機械学習、ビッグデータといったバズワードで語られる分野で、将来一旗揚げたいと考える野心的な学生においては、統計学は学部前期課程のうちに身につけるべき素養であろう。また統計学の基礎的素養は、そのような野心的学生だけでなく、文科系を含むいかなる分野に進む学生にとっても必要であると考えられる。なぜならデータとともに思考する能力が、どんな分野においてもますます重要性を増しているからである。例えば中央官庁に進む場合、データや実証結果に基づく政策形成（Evidence Based Policy Making）への理解が不可欠である。法学、政治学、経済学といった伝統的に重視されてきた学問への素養だけではなく、統計学、データ解析に精通していることが期待されている。 本講義では、東大入試二次試験の文系数学の出題範囲レベルを前提に、統計学の基本事項を解説する。統計学的なデータの見方、また統計学の手法を用いるとどんなことが出来るかを具体的に示し統計学の動機づけを重視する。 評価方法 定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : 入門統計解析 著者（訳者）：倉田博史・星野崇宏 出版社 : 新世社 ISBN : 978-4-88384-140-0 ガイダンス 特に行わない。							
50244	A	統計分析	倉田 博史	教養学部(前期課程) 経済・統計	月5	511	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 回帰分析のより進んだ扱い 目標概要 基礎統計などの入門講義で学んだ回帰分析のより発展的な内容について扱う。経済の実証的分析を例に取りながら解説するが、経済学に関する知識は要求しない。 評価方法 定期試験による。 教科書 次の教科書を使用する。 書名 : コア・テキスト 計量経済学 著者（訳者）：大森裕浩 出版社 : 新世社 ISBN : 978-4-88384-264-3 ガイダンス 特に行わない。							

アルゴリズム入門		開講区分	A
目標概要	コンピュータやインターネットに代表される情報処理・情報通信技術は、現代社会の基盤となっています。このような技術の基盤となっているのが「アルゴリズム」と呼ばれる概念です。アルゴリズムは、観測データからの気象予測や、文章からの執筆年代予測など、あらゆる分野での問題解決の基礎となるものです。 本科目の目的は、アルゴリズムの基本概念や、アルゴリズムを作るための考え方を、Python言語によるプログラミングを通して習得することです。		
成績評価方法	試験および演習課題の成績によって評価します。 試験は基本的な事項の確認を中心とした問題になります。出題範囲などについては授業中に知らせます。		
教科書	教科書は使用しない。		
※講義の詳細については、UTASも参照すること			

時間割コード	曜限	担当教員	教室	対象クラス
50017	月1	山口 泰	E21	1年 文科 理二三(1-10) 2年 文科 理科
50073	月2	山口 文彦	E21	1年 文科 理一(18,24,27-28) 2年 文科 理科
50173	月4	山口 和紀	E21	1年 文科 理一(4,11,15) 2年 文科 理科
50206	月5	伊知地 宏	E21	1年 文科 理二三(11-17) 2年 文科 理科
50285	火2	千葉 滋	E21	1年 文科 理一(6,14,20,26,32) 2年 文科 理科
50622	水2	中山 英樹	E26	1年 文科 理一(9,23,25,29) 2年 文科 理科
50732	水4	田中 哲朗	E21	1年 文科 理一(1-3,5,7-8,10) 2年 文科 理科
50841	木2	地引 昌弘	E31	1年 文科 理一(12,16-17,37) 2年 文科 理科
51046	金1	松島 慎	E21	1年 文科 理一(13,22,30,36,39) 2年 文科 理科
51062	金2	対馬 かなえ	E21	1年 文科 理二三(18-24) 2年 文科 理科
51138	金3	森畑 明昌	E26	1年 文科 理一(21,31,33,38) 2年 文科 理科
51189	金4	羽山 博	E26	1年 文科 理一(19,34-35) 2年 文科 理科

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51295	A	計算機プログラミング	萩谷 昌己	理学部	金2	E26	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 プログラミング技法 目標概要 プログラミングが簡潔で速く、正確になることは、情報科学の知識や数学的能力だけでは不十分であり、技法としてのプログラミングを身に着け、訓練を経ることが必須である。本講義では、簡単なプログラム作成が出来ることを前提として、より速く、より正確、より大規模なプログラムを作成する技術的側面について講義し、実際の課題を通してプログラミング技法を錬成する。 評価方法 期末までに、数回課題レポートを科し、その結果により成績評価を行う 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51296	A	計算機システム概論	小林 克志	理学部	水5	E42	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 計算機システム概論 目標概要 コンピュータシステムを利用した情報サービスの知識はあらゆる分野で求められている。本講義では、情報サービスの提供に必要な知識・スキルに加えてそれらの獲得方法を学ぶ。具体的には、Web サービスの提供を想定し、その実現に必要な知識・技術を解説する。併せて、具体的なサービス構築を通じ知識・技術の活用に加え、それらの獲得方法を実践的に体得する。課題発表の時間に学生が設計・構築したサービスのデモをおこなう。 評価方法 講義への参加意欲・小テスト・課題の成績を総合して評価する。 教科書 プリントを配布する。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51536	A	計算の理論	小林 浩二	理学部	火3	E21	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 非専門家のためのアルゴリズムとデータ構造 目標概要 アルゴリズムとは、「問題」を解くための手順であり、データ構造は計算機（コンピュータ）上においてデータを保持するための方法である。これらは計算機科学の基礎をなす学問分野である一方、計算機科学とは全く異なる分野においても陰に陽に重要な役割を果たしていることが少なくない。 そこで本授業では、文理問わず後期課程進学後に計算機科学「以外」の学問を修める学生を対象とし、進学後に出会うであろうアルゴリズムとデータ構造に関する事柄について学ぶ。具体的には、実際にこれらが他分野（例えば、言語学、生物学など）において関わってくる場面を例示しつつ、それらの機能や仕組みについて学ぶ。 そのため、本授業は後期課程進学後に計算機科学とそれに直接関わる分野を専攻することを検討している学生の履修は推奨されない。 評価方法 主に定期試験の成績による。授業中に適宜、演習課題を課すことがある。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
51310	A	情報・システム工学概論	峯松 信明	工学部	月5	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 情報・システム工学概論 目標概要 近年情報技術の対象は、個数、金額、品番など、数値として管理するのが適切であることが一見してわかるものから、人間の言葉、動作、社会的行動など、単純な数値化による情報技術の適用が容易でないものに広がってきている。本講では、こうした対象に情報技術を適用するのに必要となる技術を概観し、具体的な適用例の紹介を通じてその理解を深める。 評価方法 出席数と、講義内容に関して出題される課題に対してレポートの採点を組み合わせて行う。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							

時間割コード	開講	授 業 科 目 名	担 当 教 員	所 属	曜 限	教 室	対 象
51303	A	情報システム基礎Ⅱ	三田 吉郎	工学部	月1	512	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 わかる電子回路 目標概要 電子回路は、自動車から玩具に至るまで、世の中のありとあらゆる分野で使われている、普遍的な技術である。と同時に、電気電子工学のしっかりした理論体系を持っているので、基礎理論を一たび学ぶだけで、驚くほど多くの分野に応用することができる。工学の基礎ともいえるこの電子回路理論を、実演も含めながらわかりやすく講義する。学習の応用として実用的な回路を設計し、学生の意欲により自作演習と発表会を計画する。 評価方法 出席、中間レポートならびに最終課題(学生の創意工夫を伸ばす自由課題)によって総合的に判断する。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							
51308	A	情報システム基礎Ⅱ	國吉 康夫	工学部	金5	721	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 人間とロボットの科学 目標概要 ロボットのルーツは、人間や動物の知的行動を工学的に再現しようとする試みにある。身体、知覚、行動、知能を数理的、科学的に定式化し、適切な工学的実現を行うことで、様々なロボットができる。それは、人間や動物を科学的に理解することであると同時に、人間に有用なロボット技術を構築することでもある。さらには、人間の能力を補い、拡張する技術、人間に新たな体験を提供する技術にもつながる。 本講義では、人間のための技術としての仮想現実や生活支援ロボット、人間を理解する手段としての認知発達ロボティクス、ヒューマノイドロボットやサイボーグ技術など、最先端のロボティクスを俯瞰すると共に、その実現に向けた基礎知識を学ぶ。高校～大学1年程度の数学および物理学を使って、人間とロボットに共通の機能定式化を具体的に学び、工学的実現方法も見ていく。これらを統合すると、知能ロボット機能の一つの全貌が理解できるはずである。 評価方法 出席、小テスト、レポートによる。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 第一回授業日に行う。							
60233	A 2	モデリングとシミュレーション基礎Ⅱ	鳥海 不二夫	工学部	集中	シラバス参照	1年 文科 理科 2年 文科 理科
講義題目 経済物理・金融情報学・計算社会科学 目標概要 現代の社会における現象は複雑系に特徴的な特性を示し、新古典経済理論や金融工学、社会学では説明の付かない現象が数多く観察される。それに対して理工系の知見を適用して、社会現象を実証的に解明し解析しようとする学問がいくつも存在する。この講義では、そのような学問の中で経済物理・金融情報・計算社会科学の考え方や手法を学習するとともに、社会現象・人間行動に関係する複雑な現象にどのように取り組むかを考える。 ※履修人数制限 20人 ※講義は集中講義にて行う（現在のところ11月13日(火)、12月28日(金)を予定）。 ※受講希望者は10月10日までに100字程度の希望理由を添えてで申し込むこと https://goo.gl/forms/IGGUSrUvEkFJlkwl2 評価方法 講義後に行われる試験によって評価。 教科書 教科書は使用しない。 ガイダンス 特に行わない。							